

2025年版

露出型弾性固定柱脚工法
角形鋼管用 非保有耐力接合タイプ

アイエス
ISベース

SH-H
SH-HG

工法: (一財)日本建築センター評定 / BCI評定-ST0282-04
材料: 国土交通大臣認定



技術で「信頼」を創り出す

アイエスケー株式会社

サイズバリエーションがさらに進化。
柱脚の設計が容易、
高い柱脚耐力で安心・安全。
多様化する設計ニーズに応えます。

アイエス ISベース 柱脚工法

“ISベース”は、進化し続ける露出型式の柱脚工法。
独自の素材と形状を備えたアンカーボルトや
BOP方式のベースプレートの採用で、
伸びや曲げ、せん断などの応力に対する強度や剛性が向上。
確かな品質性能で柱脚工法の信頼性を築きあげました。
そして2000年1月の本格発売以来、製造から販売、
施工に至るまで、首尾一貫した万全の品質管理により、
着実に採用実績を伸ばすと共に、
製品バリエーションの幅を大きく広げ続けてきました。
“ISベース”は、保有耐力接合タイプと
非保有耐力接合タイプ(CFTにも対応)の
2通りのラインナップを用意し、
さらなる設計ニーズにお応えしていきます。



SH-H

SH-HG※ シリーズ 角形鋼管用 非保有耐力接合タイプ

※Gシリーズは、ベースプレートにめっき施工用の貫通孔を加工した柱脚です。

適用柱サイズ

□150 □175 □200 □250 □300 □350 □400 □450 □500 □550 □600 □650 □700 □750 □800

ISベースご使用に当たって

- 1 本カタログは、建築設計事務所、建築施工会社、鉄骨加工会社において、ISベースを用いた建築物の設計・施工及び現場監理を、スムーズに問題なく行うためのものです。
設計・施工に当たっては、別冊の「設計ハンドブック」・「配筋検討参考資料」・「施工マニュアル」と合わせてご参照ください。
- 2 ISベース柱脚工法は、国土交通大臣認定のISベース専用材を使用し、日本建築センターの一般評定を取得した工法です。「設計ハンドブック」及び「施工マニュアル」などISベース標準書に記載された内容に反した設計・施工や、不適切な使用により生じた不具合については、責任を負いかねます。
- 3 ISベースの施工（アンカーボルトの据付、ベースモルタルの充填）は、当社「ISベース技術委員会」の審査により、認定した施工者が行います。

設計・施工上の注意事項

- 基礎コンクリートの破壊検討（剥落・割裂）及びアンカーボルトの定着検討は、標準の柱形幅の範囲内であれば、検討は不要です。標準外の大きさや柱形と柱芯が偏心する場合は、当社にて検討を行います。（設計ハンドブックP42参照）
- 柱形の立上り寸法は、250mm以下を標準としますが、250mmを超える場合は、当社にて立上り部の曲げ検討を行います。（設計ハンドブックP16参照）
- アンカーボルトのナット部分が土間コンクリート等で被覆される場合は、シングルナットを標準としています。土間コンクリート等で被覆されない場合は、ダブルナット又は六角リングで戻り止めが必要となります。
- 標準形状図の最低基礎高さは、杭基礎を考慮していない寸法となります。杭基礎の場合は杭出寸法を、最低基礎高さに加算して基礎深さを決定してください。
- 標準形状図のモルタル厚さは、30mmを標準として表記していますが、30～50mmの範囲内で使用できます。
- 地中梁下端筋とアンカーボルトの定着板やナットとの、干渉を避けるために注意を要する梁成範囲及び梁主筋径・本数別による最低梁幅寸法（参考）については、別冊「配筋検討参考資料」を参照してください。
- 柱形に使用する異形鉄筋の材質について、D16以下はSD295、D19～D25はSD345、D29以上はSD390を使用してください。
- 基礎コンクリートの設計基準強度は、 $F_c=21\text{N/mm}^2$ 以上としています。角形・円形鋼管のサイズが600mm以上については、 $F_c=24\text{N/mm}^2$ 以上としてください。
- ISベース取付けの角形鋼管柱材をめっき施工する場合は、溶融亜鉛めっき対応品（ベースプレートにめっき施工用の貫通孔を加工した柱脚）のGシリーズを使用できます。その他の柱材をめっき施工する場合は、当社にお問い合わせください。
- アンカーボルトの据付において、アンカーボルト位置（柱芯、高さ）の指示及び据付後の精度確認は、現場工事管理者をお願いしております。
- ISベースの対応柱材の鋼種は、設計ハンドブックをご参照ください。

設計ハンドブック



配筋検討参考資料



施工マニュアル



SH-H
SH-HG

SH-H・SH-HG※角形鋼管用 非保有耐力接合タイプ ラインナップ

柱脚記号 (SH-H・SH-HG※)	鋼管 サイズ mm	適用鋼管				アンカー ボルト 本数－呼径	ベースプレート 幅×長さ×板厚 mm	
		F値=235	F値=275	F値=295	F値=325			
		mm	mm	mm	mm			
SH151H	□ 150	t=12	*	8≦t≦12	9≦t≦12	4-M24	290×290×25	
SH171H	□ 175	9≦t≦12	*	6≦t≦12	6≦t≦12	4-M24	310×310×25	
SH172H	□ 175	t=12	*	t=12	9≦t≦12	4-M30	320×320×32	
SH201H	□ 200	8≦t≦16	6≦t≦16	6≦t≦16	6≦t≦16	4-M24	340×340×25	
SH202H	□ 200	12≦t≦16	9≦t≦16	8≦t≦16	8≦t≦16	4-M30	350×350×32	
SH203H	□ 200	t=16	12≦t≦16	12≦t≦16	12≦t≦16	4-M36	360×360×36	
SH204H	□ 200	*	t=16	t=16	t=16	8-M30	390×390×36	
SH251H	□ 250	6≦t≦19	6≦t≦16	6≦t≦19	6≦t≦12	4-M24	390×390×25	
SH252H	□ 250	8≦t≦19	9≦t≦16	6≦t≦19	6≦t≦19	4-M30	400×400×28	
SH253H	□ 250	12≦t≦19	9≦t≦16	9≦t≦19	9≦t≦19	4-M36	420×420×32	
SH254H	□ 250	16≦t≦19	12≦t≦16	12≦t≦19	12≦t≦19	8-M30	450×450×36	
SH255H	□ 250	*	*	16≦t≦19	16≦t≦19	8-M36	460×460×40	
SH301H	□ 300	6≦t≦19	9≦t≦19	6≦t≦22	6≦t≦16	4-M30	450×450×28	
SH302H	□ 300	9≦t≦19	9≦t≦19	8≦t≦22	8≦t≦19	4-M36	460×460×32	
SH303H	□ 300	12≦t≦19	12≦t≦19	9≦t≦22	9≦t≦19	8-M30	490×490×36	
SH304H	□ 300	t=19	16≦t≦19	14≦t≦22	16≦t≦19	8-M36	500×500×40	
SH305H	□ 300	*	t=19	19≦t≦22	*	8-M42	550×550×50	
SH351H	□ 350	9≦t≦22	9≦t≦19	9≦t≦19	9≦t≦16	4-M30	500×500×28	
SH352H	□ 350	12≦t≦22	9≦t≦22	9≦t≦25	9≦t≦22	8-M30	550×550×36	
SH353H	□ 350	16≦t≦22	12≦t≦22	12≦t≦25	12≦t≦22	8-M36	570×570×40	
SH354H	□ 350	t=22	16≦t≦22	16≦t≦25	16≦t≦22	8-M42	590×590×45	
SH355H	□ 350	*	t=22	22≦t≦25	t=22	8-M48	630×630×55	
SH356H	□ 350	*	t=22	22≦t≦25	t=22	8-M48	630×630×70	
SH401H	□ 400	9≦t≦25	12≦t≦22	9≦t≦22	9≦t≦19	4-M36	570×570×32	
SH402H	□ 400	9≦t≦25	12≦t≦25	9≦t≦25	9≦t≦22	8-M30	600×600×36	
SH403H	□ 400	16≦t≦25	12≦t≦25	12≦t≦25	12≦t≦25	8-M36	620×620×40	
SH404H	□ 400	19≦t≦25	16≦t≦25	14≦t≦25	16≦t≦25	8-M42	640×640×45	
SH405H	□ 400	t=25	19≦t≦25	19≦t≦25	19≦t≦25	8-M48	680×680×55	
SH406H	□ 400	*	t=25	t=25	t=25	8-M48	810×810×70	
SH451H	□ 450	9≦t≦25	12≦t≦22	9≦t≦22	9≦t≦16	4-M36	620×620×32	
SH452H	□ 450	9≦t≦32	12≦t≦28	9≦t≦25	9≦t≦22	8-M30	650×650×36	
SH453H	□ 450	12≦t≦32	12≦t≦32	9≦t≦28	9≦t≦28	8-M36	670×670×40	
SH454H	□ 450	16≦t≦32	12≦t≦32	12≦t≦28	12≦t≦32	8-M42	690×690×45	
SH455H	□ 450	22≦t≦32	16≦t≦32	16≦t≦28	16≦t≦32	8-M48	730×730×55	
SH456H	□ 450	28≦t≦32	22≦t≦32	19≦t≦28	19≦t≦32	12-M48	730×730×80	
SH501H	□ 500	12≦t≦38	12≦t≦32	9≦t≦28	9≦t≦25	8-M36	720×720×40	
SH502H	□ 500	16≦t≦38	12≦t≦36	12≦t≦28	12≦t≦32	8-M42	740×740×45	

SH-H・SH-HG※ シリーズ

	最小 コンクリート 強度 N/mm ²	柱形			柱形補強鉄筋				回転剛性※ kN・m/rad	柱脚記号 (SH-H・SH-HG [®])	頁
		幅×幅		高さ 最小 mm	主筋			帯筋			
		最小 mm	最大 mm		下記の中から選択できます						
	21	500×500	530×530	550	12-D16	8-D19	8-D22	D13@150	10,000	SH151H	7
	21	520×520	530×530	550	12-D16	8-D19	8-D22	D13@150	13,000	SH171H	8
	21	540×540	620×620	650	12-D19	8-D22	8-D25	D13@150	14,000	SH172H	9
	21	550×550	650×650	550	12-D19	12-D22	8-D25	D13@150	18,000	SH201H	10
	21	570×570	650×650	650	12-D19	12-D22	12-D25	D13@150	20,000	SH202H	11
	21	580×580	750×750	650	16-D19	16-D22	12-D25	D13@150	23,000	SH203H	12
	21	600×600	750×750	750	16-D19	12-D22	12-D25	D13@150	27,000	SH204H	13
	21	600×600	750×750	550	16-D19	16-D22	12-D25	D13@150	30,000	SH251H	14
	21	620×620	750×750	650	16-D19	16-D22	12-D25	D13@150	32,000	SH252H	15
	21	630×630	840×840	700	20-D19	16-D22	16-D25	D13@150	36,000	SH253H	16
	21	650×650	840×840	750	20-D19	16-D22	16-D25	D13@150	44,000	SH254H	17
	21	660×660	840×840	750	24-D19	20-D22	16-D25	D13@150	51,000	SH255H	18
	21	670×670	750×750	750	16-D19	12-D22	12-D25	D13@100	41,000	SH301H	19
	21	680×680	840×840	700	20-D19	16-D22	16-D25	D13@100	51,000	SH302H	20
	21	700×700	840×840	750	20-D19	20-D22	16-D25	D13@100	62,000	SH303H	21
	21	710×710	980×980	850	*	20-D22	16-D25	D13@100	62,000	SH304H	22
	21	760×760	1070×1070	850	*	24-D22	20-D25	D13@100	89,000	SH305H	23
	21	720×720	840×840	750	20-D19	16-D22	12-D25	D13@100	62,000	SH351H	24
	21	760×760	1000×1000	750	28-D19	24-D22	20-D25	D13@100	95,000	SH352H	25
	21	780×780	1070×1070	850	*	24-D22	20-D25	D13@100	99,000	SH353H	26
	21	810×810	1160×1160	850	28-D22	24-D25	20-D29	D13@100	122,000	SH354H	27
	21	910×910	1240×1240	900	32-D22	28-D25	24-D29	D13@100	152,000	SH355H	28
	21	910×910	1240×1240	900	32-D22	28-D25	24-D29	D13@100	149,000	SH356H	29
	21	800×800	920×920	850	24-D19	20-D22	16-D25	D13@100	91,000	SH401H	30
	21	810×810	1000×1000	750	28-D19	24-D22	24-D25	D13@100	130,000	SH402H	31
	21	840×840	1120×1120	850	28-D22	20-D25	20-D29	D13@100	135,000	SH403H	32
	21	860×860	1230×1230	950	32-D22	24-D25	20-D29	D13@100	145,000	SH404H	33
	21	940×940	1260×1260	1000	36-D22	28-D25	24-D29	D13@100	179,000	SH405H	34
	21	1060×1060	1260×1260	1000	*	36-D25	32-D29	D13@100	286,000	SH406H	35
	21	850×850	980×980	850	28-D19	20-D22	16-D25	D13@100	125,000	SH451H	36
	21	870×870	1110×1110	750	28-D22	24-D25	24-D29	D13@100	174,000	SH452H	37
	21	890×890	1160×1160	850	28-D22	24-D25	20-D29	D13@100	178,000	SH453H	38
	21	910×910	1240×1240	950	32-D22	28-D25	20-D29	D13@100	190,000	SH454H	39
	21	960×960	1260×1260	1000	32-D25	28-D29	24-D32	D13@100	231,000	SH455H	40
	21	1020×1020	1260×1260	900	36-D25	32-D29	28-D32	D13@100	282,000	SH456H	41
	21	940×940	1240×1240	850	32-D22	28-D25	24-D29	D13@100	234,000	SH501H	42
	21	970×970	1260×1260	950	28-D25	24-D29	20-D32	D13@100	247,000	SH502H	43

※Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

SH-H・SH-HG※角形鋼管用 非保有耐力接合タイプ ラインナップ

柱脚記号 (SH-H・SH-HG※)	鋼管 サイズ mm	適用鋼管				アンカー ボルト 本数－呼径	ベースプレート 幅×長さ×板厚 mm	
		F値=235	F値=275	F値=295	F値=325			
		mm	mm	mm	mm			
SH503H	□500	22≦t≦38	19≦t≦36	16≦t≦28	19≦t≦38	8-M52	800×800×55	
SH504H	□500	32≦t≦38	25≦t≦36	25≦t≦28	25≦t≦38	8-M60	870×870×65	
SH505H	□500	*	32≦t≦36	t=28	28≦t≦38	8-M60	960×960×80	
SH506H	□500	*	t=36	*	36≦t≦38	8-M68	960×960×90	
SH551H	□550	12≦t≦40	16≦t≦36	12≦t≦28	9≦t≦28	8-M42	790×790×45	
SH552H	□550	16≦t≦40	16≦t≦40	12≦t≦28	12≦t≦38	8-M48	830×830×50	
SH553H	□550	25≦t≦40	19≦t≦40	19≦t≦28	19≦t≦40	8-M56	880×880×60	
SH554H	□550	32≦t≦40	25≦t≦40	25≦t≦28	25≦t≦40	8-M64	920×920×70	
SH555H	□550	36≦t≦40	25≦t≦40	25≦t≦28	25≦t≦40	8-M60	1010×1010×80	
SH556H	□550	t=40	28≦t≦40	t=28	28≦t≦40	8-M68	980×980×90	
SH601H	□600	12≦t≦40	16≦t≦40	*	9≦t≦32	8-M42	840×840×45	
SH602H	□600	19≦t≦40	16≦t≦40	*	16≦t≦40	8-M52	900×900×55	
SH603H	□600	25≦t≦40	19≦t≦40	*	19≦t≦40	8-M60	940×940×65	
SH604H	□600	32≦t≦40	25≦t≦40	*	25≦t≦40	8-M68	970×970×70	
SH605H	□600	38≦t≦40	32≦t≦40	*	28≦t≦40	8-M68	1060×1060×85	
SH606H	□600	*	32≦t≦40	*	32≦t≦40	8-M72	1060×1060×95	
SH651H	□650	16≦t≦40	16≦t≦40	*	12≦t≦38	8-M48	930×930×55	
SH652H	□650	19≦t≦40	16≦t≦40	*	16≦t≦40	8-M56	970×970×60	
SH653H	□650	25≦t≦40	22≦t≦40	*	19≦t≦40	8-M64	1000×1000×65	
SH654H	□650	32≦t≦40	25≦t≦40	*	22≦t≦40	8-M68	1020×1020×70	
SH655H	□650	36≦t≦40	28≦t≦40	*	25≦t≦40	8-M68	1120×1120×85	
SH656H	□650	36≦t≦40	28≦t≦40	*	28≦t≦40	8-M72	1120×1120×95	
SH701H	□700	12≦t≦40	16≦t≦40	*	12≦t≦36	8-M48	980×980×55	
SH702H	□700	16≦t≦40	16≦t≦40	*	12≦t≦40	8-M52	1000×1000×55	
SH703H	□700	22≦t≦40	16≦t≦40	*	16≦t≦40	8-M60	1040×1040×65	
SH704H	□700	28≦t≦40	22≦t≦40	*	22≦t≦40	8-M68	1070×1070×70	
SH705H	□700	32≦t≦40	25≦t≦40	*	22≦t≦40	8-M68	1160×1160×85	
SH706H	□700	36≦t≦40	28≦t≦40	*	28≦t≦40	8-M76	1170×1170×90	
SH751H	□750	16≦t≦40	16≦t≦40	*	16≦t≦40	8-M52	1050×1050×55	
SH752H	□750	22≦t≦40	19≦t≦40	*	16≦t≦40	8-M64	1100×1100×65	
SH753H	□750	28≦t≦40	22≦t≦40	*	22≦t≦40	8-M72	1140×1140×70	
SH754H	□750	28≦t≦40	22≦t≦40	*	22≦t≦40	8-M68	1220×1220×85	
SH755H	□750	36≦t≦40	28≦t≦40	*	28≦t≦40	8-M76	1250×1250×100	
SH801H	□800	16≦t≦40	16≦t≦40	*	16≦t≦40	8-M56	1120×1120×60	
SH802H	□800	22≦t≦40	19≦t≦40	*	19≦t≦40	8-M68	1170×1170×70	
SH803H	□800	28≦t≦40	25≦t≦40	*	22≦t≦40	8-M76	1200×1200×75	
SH804H	□800	28≦t≦40	22≦t≦40	*	22≦t≦40	8-M72	1270×1270×85	
SH805H	□800	32≦t≦40	25≦t≦40	*	25≦t≦40	8-M76	1300×1300×100	

5 ※ベースプレートにめっき施工用貫通孔を加工した柱脚(Gシリーズ)の仕様及び形状寸法は、回転剛性を除き全て標準型式と同じです。

SH-H・SH-HG※ シリーズ

	最小 コンクリート 強度 N/mm ²	柱形			柱形補強鉄筋				回転剛性※ kN・m/rad	柱脚記号 (SH-H・SH-HG [®])	頁
		幅×幅		高さ 最小 mm	主筋			帯筋			
		最小 mm	最大 mm		下記の中から選択できます						
	21	1050×1050	1260×1260	1050	40-D25	32-D29	28-D32	D13@100	316,000	SH503H	44
	21	1140×1140	1260×1260	1150	44-D25	36-D29	28-D32	D13@100	380,000	SH504H	45
	21	1280×1280	1790×1790	1150	52-D25	40-D29	36-D32	D16@100	516,000	SH505H	46
	21	1310×1310	1730×1730	1300	48-D25	40-D29	32-D32	D16@100	476,000	SH506H	47
	21	1040×1040	1260×1260	950	40-D22	32-D25	28-D29	D13@100	316,000	SH551H	48
	21	1090×1090	1260×1260	1000	40-D25	32-D29	28-D32	D13@100	369,000	SH552H	49
	21	1150×1150	1260×1260	1100	*	36-D29	28-D32	D13@100	427,000	SH553H	50
	21	1280×1280	1740×1740	1100	48-D25	40-D29	36-D32	D16@100	526,000	SH554H	51
	21	1360×1360	1790×1790	1150	52-D25	40-D29	36-D32	D16@100	621,000	SH555H	52
	21	1350×1350	1740×1740	1200	52-D25	44-D29	36-D32	D16@100	586,000	SH556H	53
	★24	1100×1100	1240×1240	950	36-D25	28-D29	24-D32	D13@100	435,000	SH601H	54
	★24	1180×1180	1780×1780	1050	*	40-D29	32-D32	D16@100	528,000	SH602H	55
	★24	1230×1230	1790×1790	1050	*	40-D29	36-D32	D16@100	630,000	SH603H	56
	★24	1330×1330	1870×1870	1200	*	44-D29	36-D32	D16@100	680,000	SH604H	57
	★24	1460×1460	1960×1960	1200	*	52-D29	44-D32	D16@100	875,000	SH605H	58
	★24	1460×1460	1960×1960	1250	*	52-D29	44-D32	D16@100	808,000	SH606H	59
	★24	1220×1220	1780×1780	1000	*	40-D29	32-D32	D16@100	612,000	SH651H	60
	★24	1270×1270	1780×1780	1100	*	40-D29	32-D32	D16@100	662,000	SH652H	61
	★24	1380×1380	1870×1870	1100	*	44-D29	40-D32	D16@100	778,000	SH653H	62
	★24	1440×1440	1940×1940	1200	60-D25	48-D29	40-D32	D16@100	816,000	SH654H	63
	★24	1570×1570	1940×1940	1300	*	52-D29	44-D32	D16@100	979,000	SH655H	64
	★24	1560×1560	1890×1890	1250	*	56-D29	44-D32	D16@100	978,000	SH656H	65
	★24	1280×1280	1600×1600	1000	*	40-D29	32-D32	D16@100	736,000	SH701H	66
	★24	1310×1310	1790×1790	1050	*	40-D29	36-D32	D16@100	773,000	SH702H	67
	★24	1390×1390	1550×1550	1050	*	44-D29	40-D32	D16@100	905,000	SH703H	68
	★24	1520×1520	1780×1780	1200	*	48-D29	40-D32	D16@100	966,000	SH704H	69
	★24	1630×1630	1860×1860	1200	*	56-D29	48-D32	D16@100	1,205,000	SH705H	70
	★24	1700×1700	1950×1950	1300	*	56-D29	48-D32	D16@100	1,174,000	SH706H	71
	★24	1370×1370	1580×1580	1050	*	44-D29	36-D32	D16@100	932,000	SH751H	72
	★24	1530×1530	1940×1940	1200	64-D25	52-D29	40-D32	D16@100	1,000,000	SH752H	73
	★24	1650×1650	1940×1940	1250	68-D25	56-D29	44-D32	D16@100	1,178,000	SH753H	74
	★24	1720×1720	1940×1940	1300	*	60-D29	48-D32	D16@100	1,326,000	SH754H	75
	★24	1820×1820	1940×1940	1300	*	64-D29	52-D32	D16@100	1,443,000	SH755H	76
	★24	1470×1470	1820×1820	1100	*	52-D29	40-D32	D16@100	1,108,000	SH801H	77
	★24	1680×1680	1940×1940	1300	68-D25	56-D29	44-D32	D16@100	1,218,000	SH802H	78
	★24	1790×1790	2130×2130	1300	72-D25	60-D29	48-D32	D16@75	1,386,000	SH803H	79
	★24	1840×1840	1950×1950	1250	*	64-D29	52-D32	D16@75	1,638,000	SH804H	80
	★24	1900×1900	2270×2270	1300	*	68-D29	56-D32	D16@75	1,656,000	SH805H	81

※Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工用の貫通孔を加工した柱脚です。

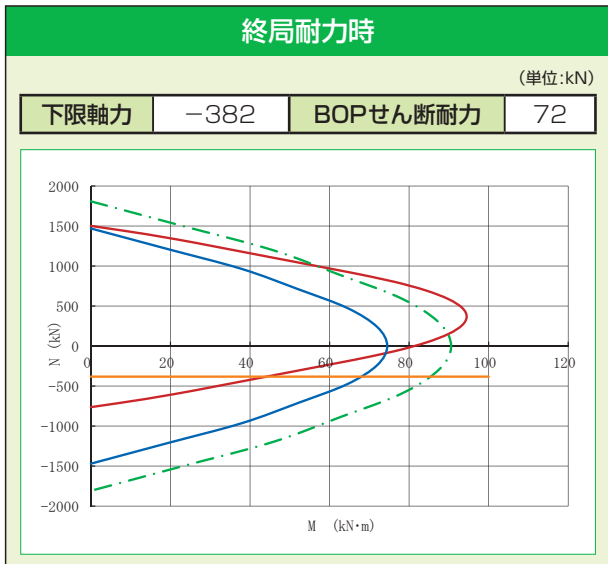
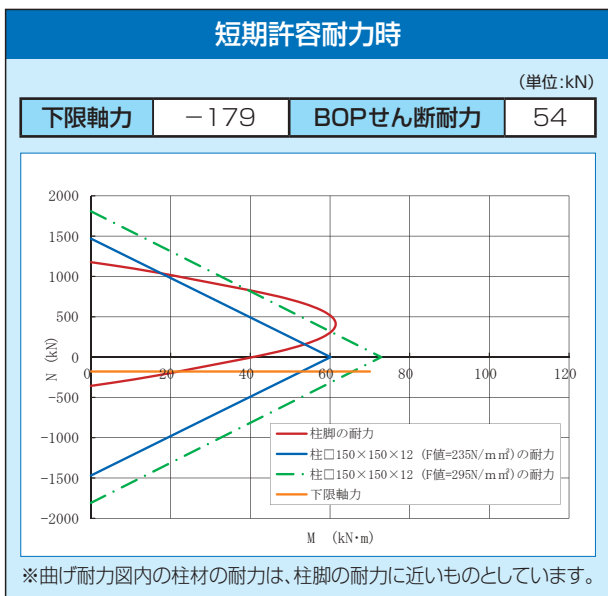
鋼管サイズ	□ 150		
適用鋼管	F値=235	t=12	
	F値=275	*	
	F値=295	8≤t≤12	
	F値=325	9≤t≤12	
アンカーボルト	4-M24		
ベースプレート	290×290×25		
柱形断面	500×500 (530×530)※ ¹		
主 筋※ ²	12-D16	8-D19	8-D22
帯 筋	D13@150		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	10,000kN・m/rad※ ³		

※¹：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※²：主筋に記載の本数一径の中から選択できます。

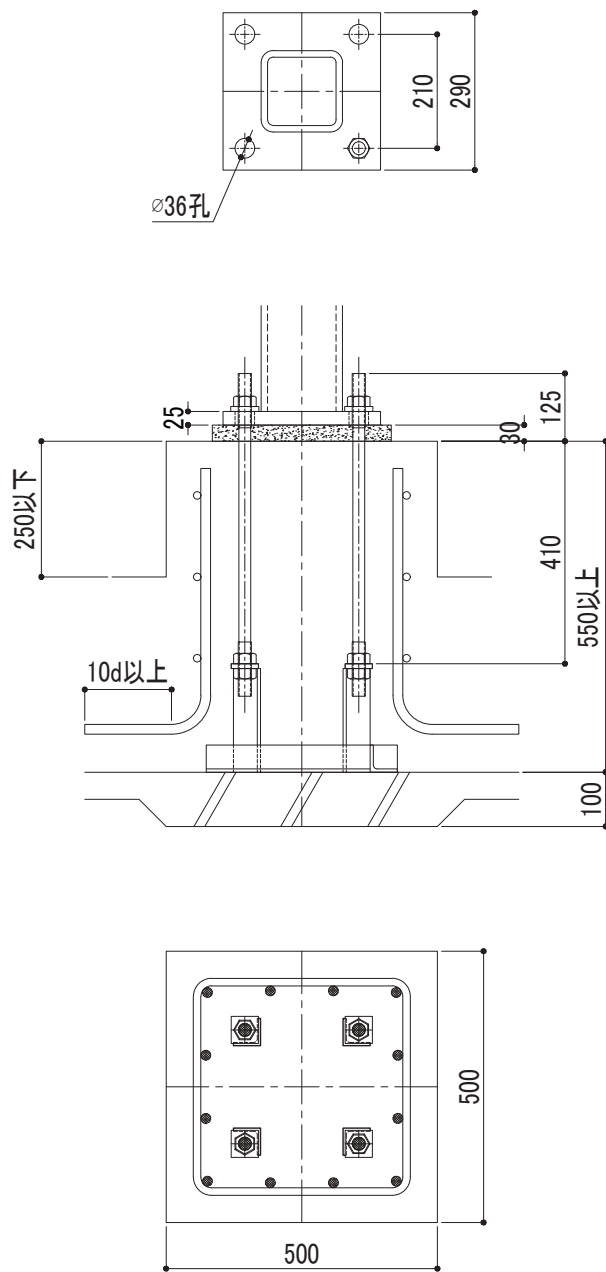
※³：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、12-D16の場合を示す。

注意事項

- 杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- 下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- 柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 175		
適用鋼管	F値=235	9≦t≦12	
	F値=275	*	
	F値=295	6≦t≦12	
	F値=325	6≦t≦12	
アンカーボルト	4-M24		
ベースプレート	310×310×25		
柱形断面	520×520 (530×530)※ ¹		
主 筋※ ²	12-D16	8-D19	8-D22
帯 筋	D13@150		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	13,000kN・m/rad※ ³		

※1：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※2：主筋に記載の本数－径の中から選択できます。

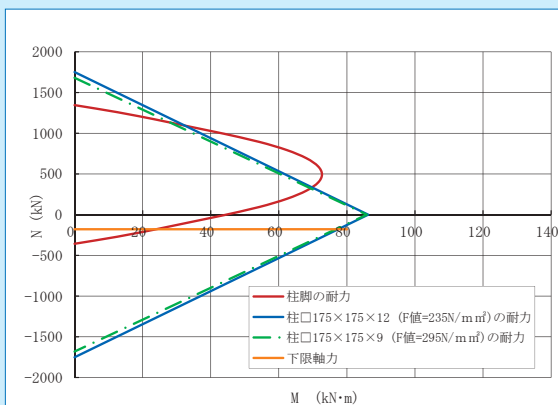
※3：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-179	BOPせん断耐力	64
------	------	----------	----

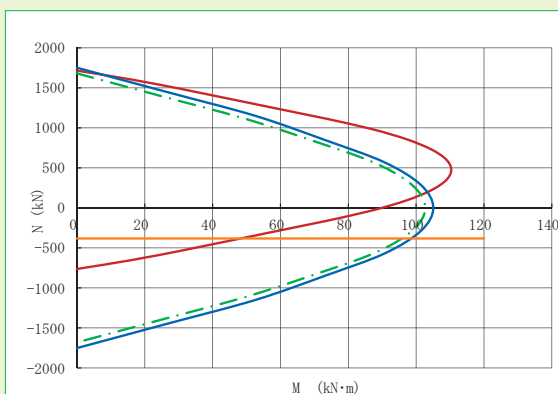


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

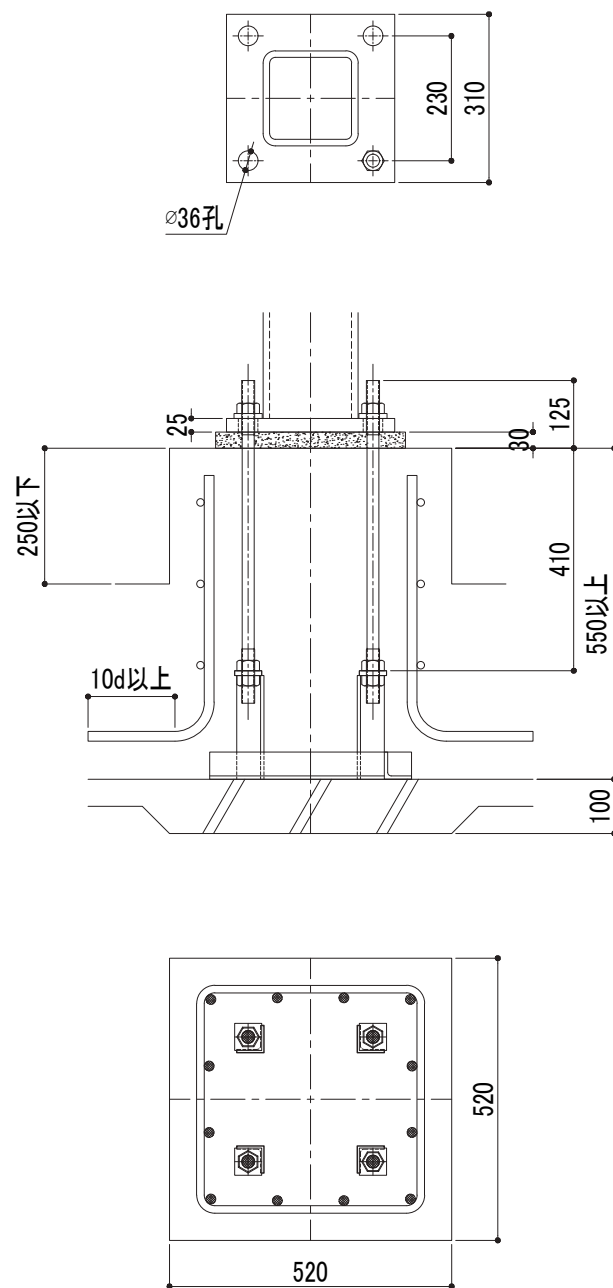
(単位:kN)

下限軸力	-382	BOPせん断耐力	86
------	------	----------	----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、12-D16の場合を示す。

注意事項

- 杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- 下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- 柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工用の貫通孔を加工した柱脚です。

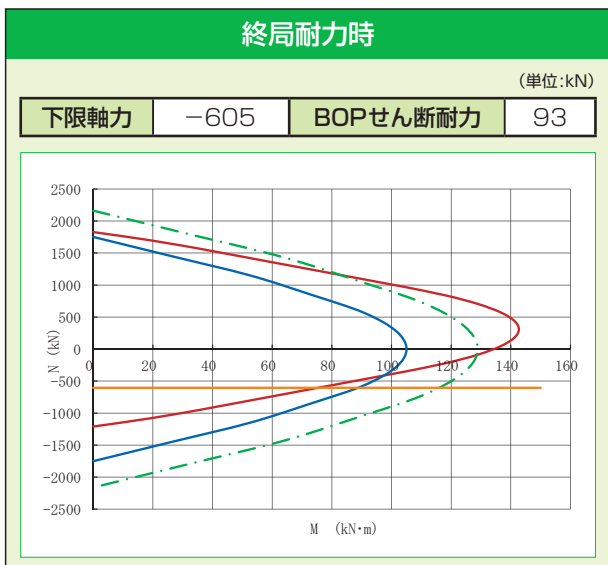
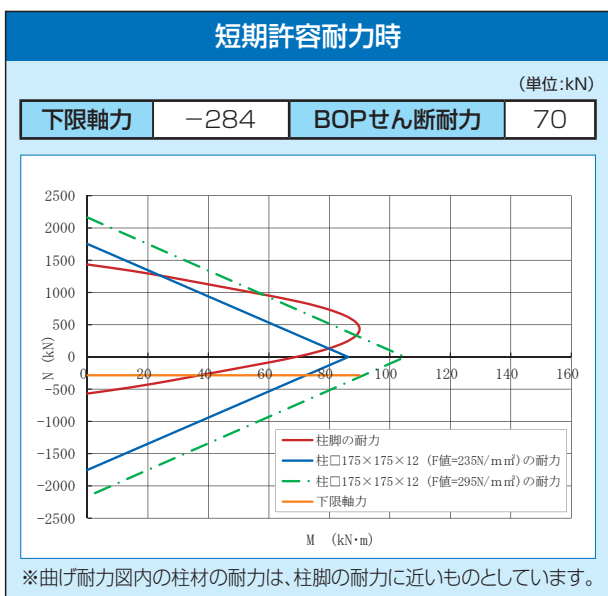
鋼管サイズ	□ 175		
適用鋼管	F値=235	t=12	
	F値=275	*	
	F値=295	t=12	
	F値=325	9≤t≤12	
アンカーボルト	4-M30		
ベースプレート	320×320×32		
柱形断面	540×540 (620×620)※ ¹		
主 筋※ ²	12-D19	8-D22	8-D25
帯 筋	D13@150		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	14,000kN・m/rad※ ³		

※¹：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※²：主筋に記載の本数一径の中から選択できます。

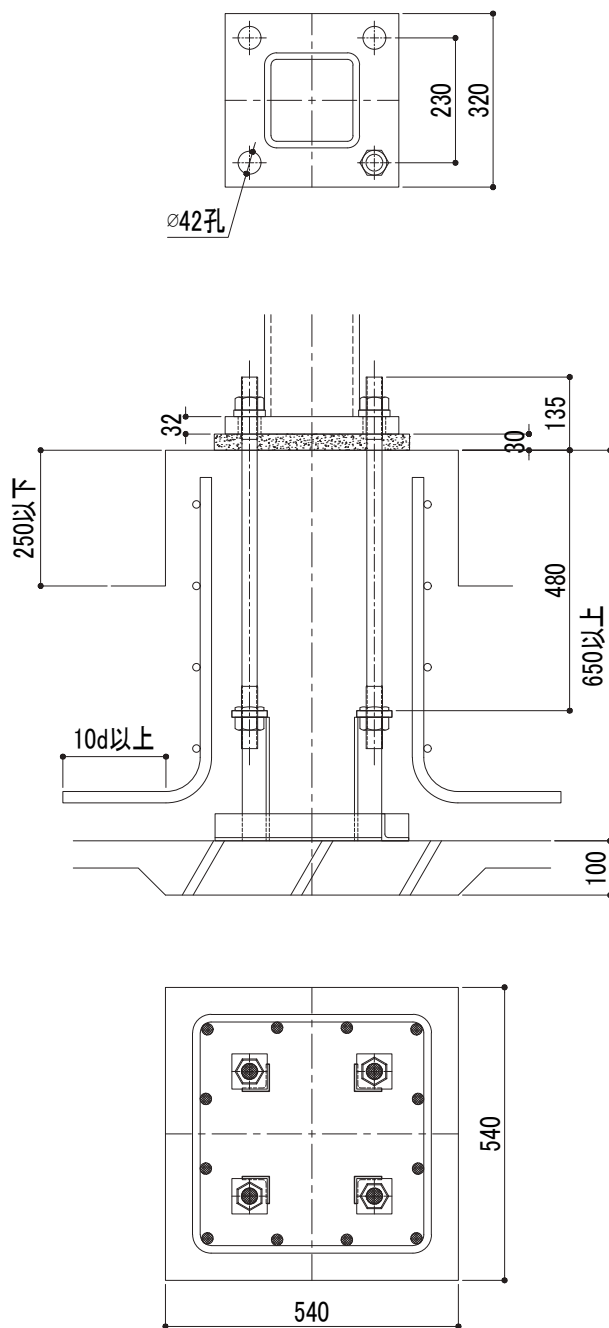
※³：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、12-D19の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 200		
適用鋼管	F値=235	8≦t≦16	
	F値=275	6≦t≦16	
	F値=295	6≦t≦16	
	F値=325	6≦t≦16	
アンカーボルト	4-M24		
ベースプレート	340×340×25		
柱形断面	550×550 (650×650)*1		
主 筋※2	12-D19	12-D22	8-D25
帯 筋	D13@150		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	18,000kN・m/rad※3		

※1：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※2：主筋に記載の本数－径の中から選択できます。

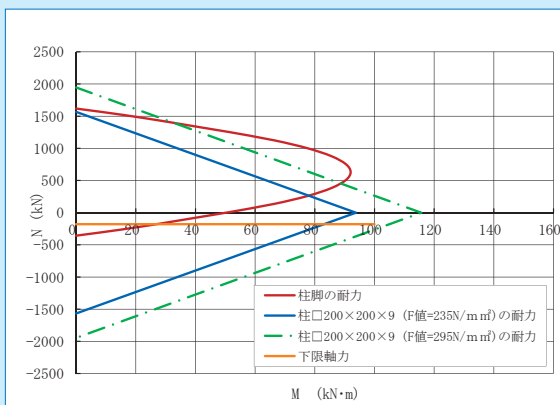
※3：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-179	BOPせん断耐力	81
------	------	----------	----

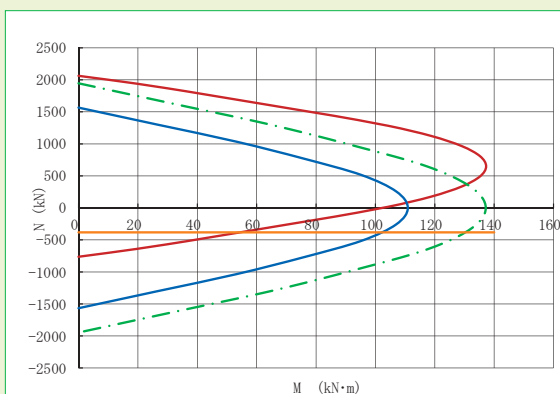


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

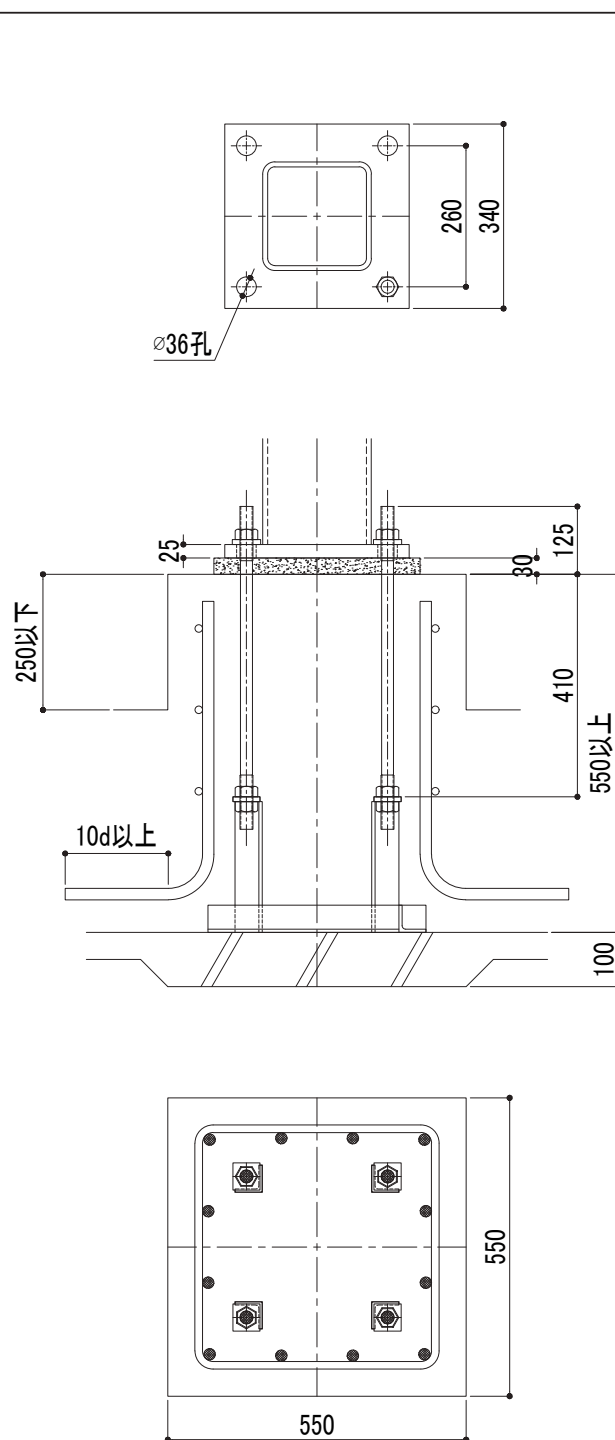
(単位:kN)

下限軸力	-382	BOPせん断耐力	108
------	------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、12-D19の場合を示す。

注意事項

- 杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- 下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- 柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工用の貫通孔を加工した柱脚です。

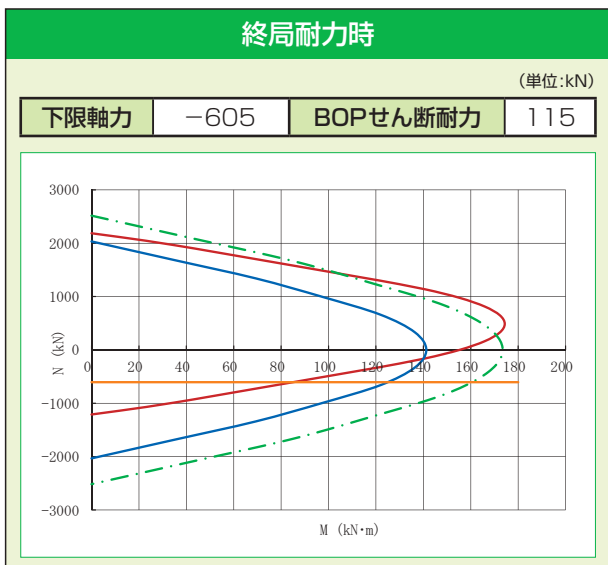
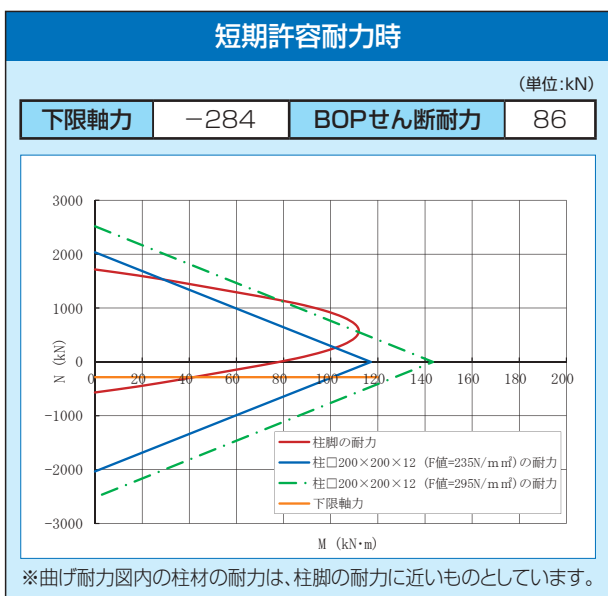
鋼管サイズ	□ 200		
適用鋼管	F値=235	12≦t≦16	
	F値=275	9≦t≦16	
	F値=295	8≦t≦16	
	F値=325	8≦t≦16	
アンカーボルト	4-M30		
ベースプレート	350×350×32		
柱形断面	570×570 (650×650)※ ¹		
主 筋※ ²	12-D19	12-D22	12-D25
帯 筋	D13@150		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	20,000kN・m/rad※ ³		

※¹：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※²：主筋に記載の本数一径の中から選択できます。

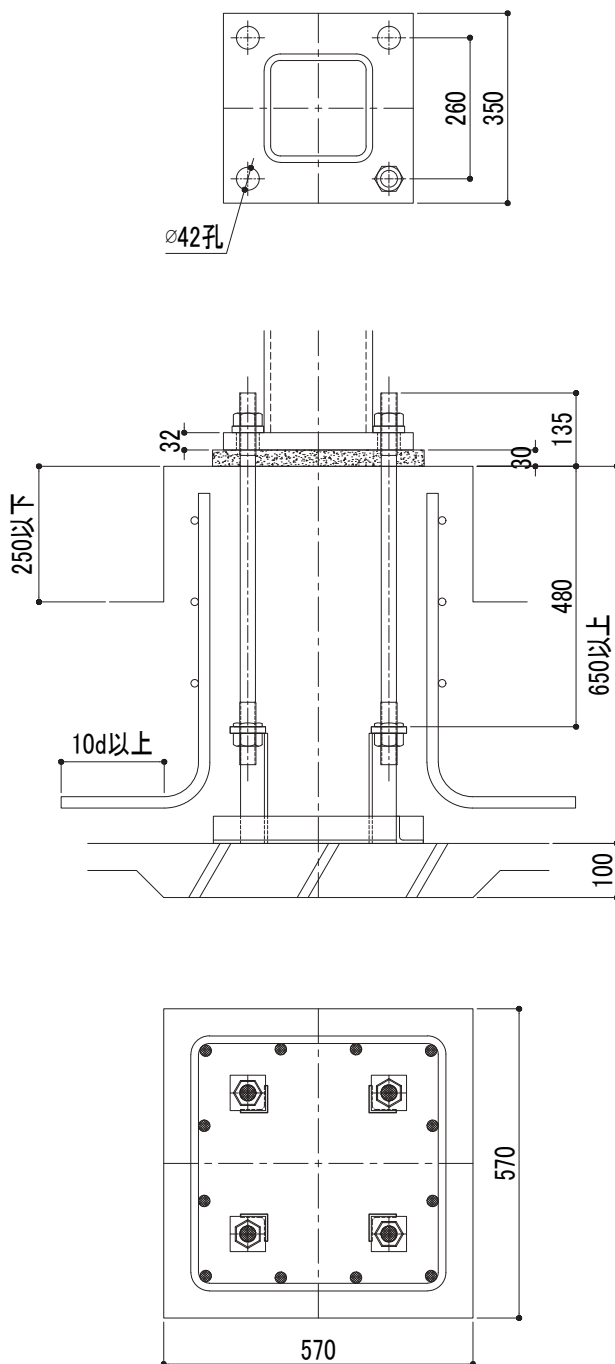
※³：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、12-D19の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工用の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 200		
適用鋼管	F値=235	t=16	
	F値=275	12≦t≦16	
	F値=295	12≦t≦16	
	F値=325	12≦t≦16	
アンカーボルト	4-M36		
ベースプレート	360×360×36		
柱形断面	580×580 (750×750)* ¹		
主 筋* ²	16-D19	16-D22	12-D25
帯 筋	D13@150		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	23,000kN・m/rad* ³		

※1：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※2：主筋に記載の本数－径の中から選択できます。

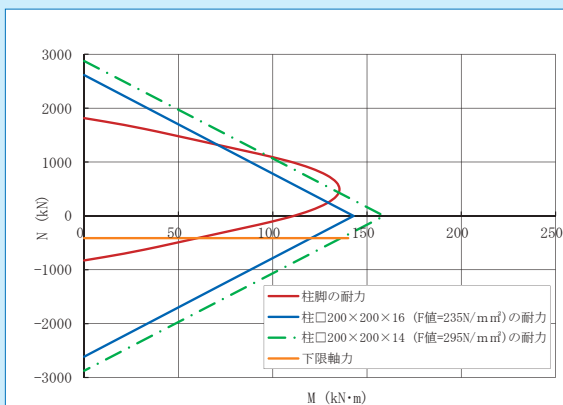
※3：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-413	BOPせん断耐力	92
------	------	----------	----

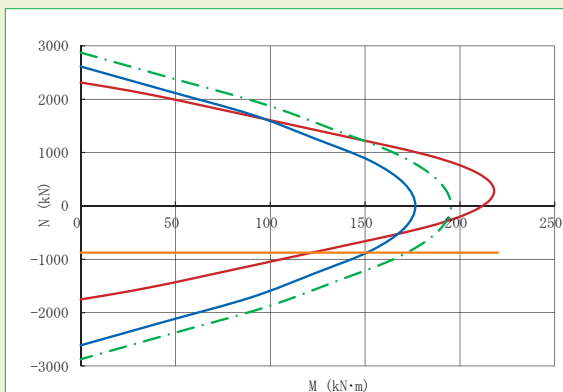


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

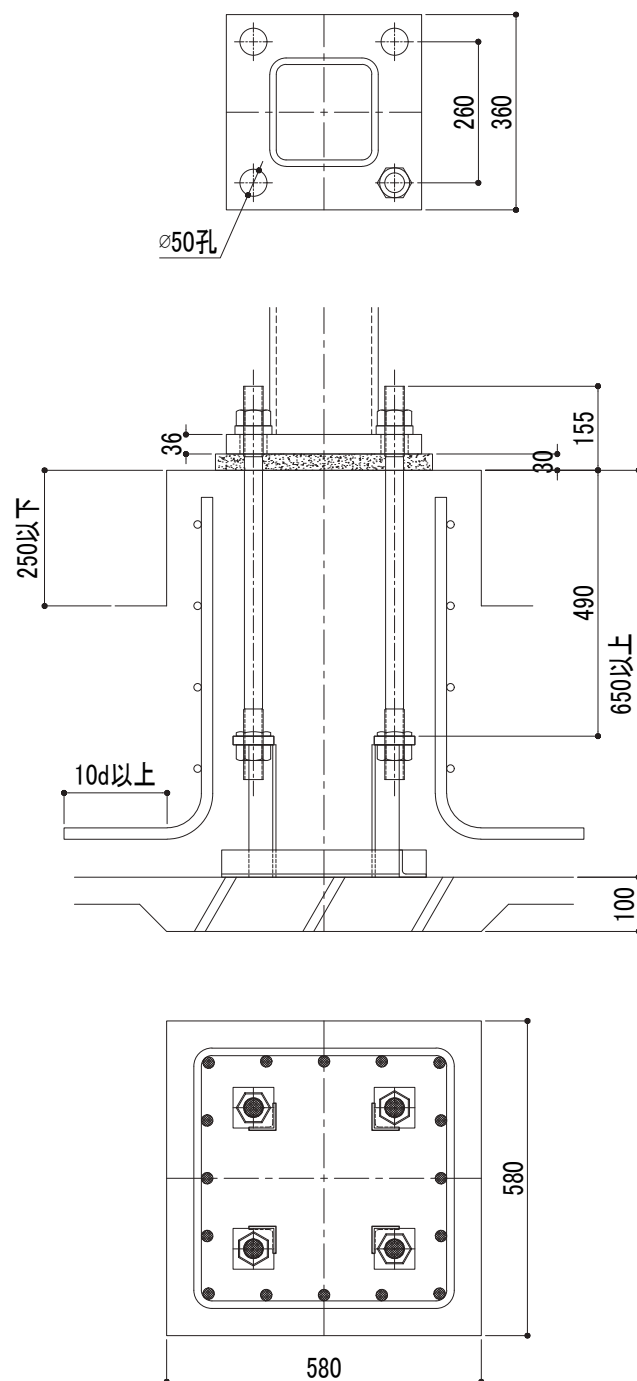
(単位:kN)

下限軸力	-876	BOPせん断耐力	122
------	------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、16-D19の場合を示す。

注意事項

- 杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- 下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- 柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 200		
適用鋼管	F値=235	*	
	F値=275	t=16	
	F値=295	t=16	
	F値=325	t=16	
アンカーボルト	8-M30		
ベースプレート	390×390×36		
柱形断面	600×600 (750×750)※ ¹		
主 筋※ ²	16-D19	12-D22	12-D25
帯 筋	D13@150		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	27,000kN・m/rad※ ³		

※¹：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※²：主筋に記載の本数一径の中から選択できます。

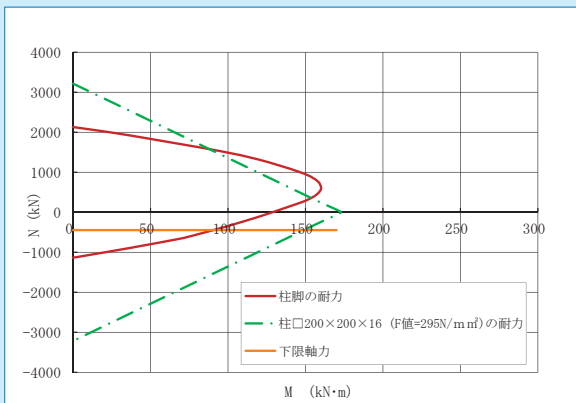
※³：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-445	BOPせん断耐力	109
------	------	----------	-----

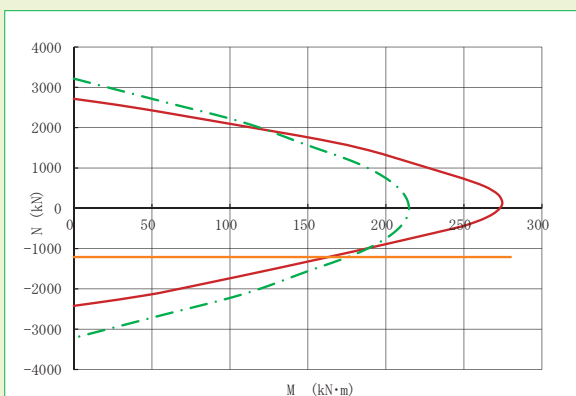


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

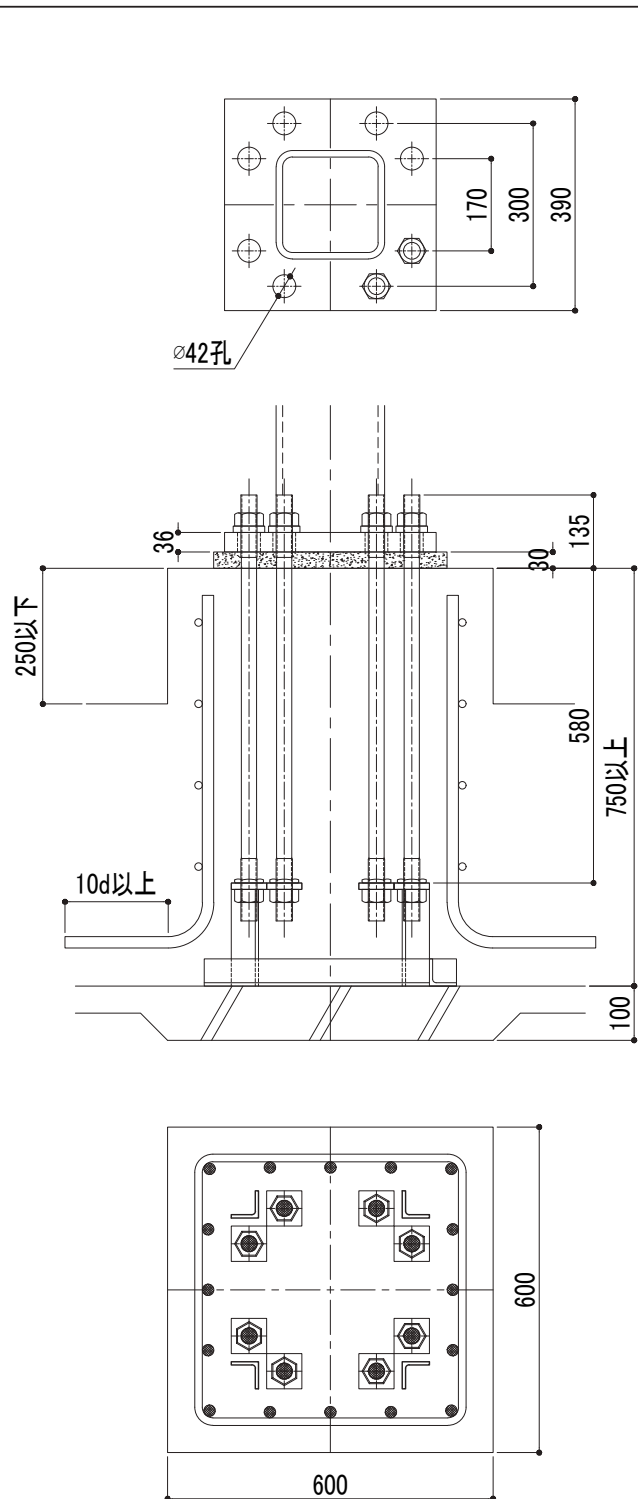
(単位:kN)

下限軸力	-1,210	BOPせん断耐力	145
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、16-D19の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 250		
適用鋼管	F値=235	6≦t≦19	
	F値=275	6≦t≦16	
	F値=295	6≦t≦19	
	F値=325	6≦t≦12	
アンカーボルト	4-M24		
ベースプレート	390×390×25		
柱形断面	600×600 (750×750)*1		
主 筋*2	16-D19	16-D22	12-D25
帯 筋	D13@150		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	30,000kN・m/rad*3		

※1：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※2：主筋に記載の本数－径の中から選択できます。

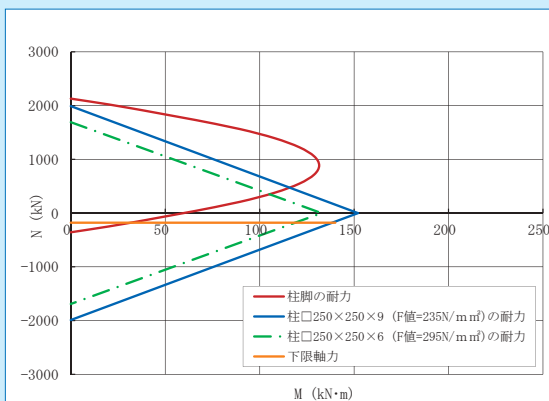
※3：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-179	BOPせん断耐力	89
------	------	----------	----

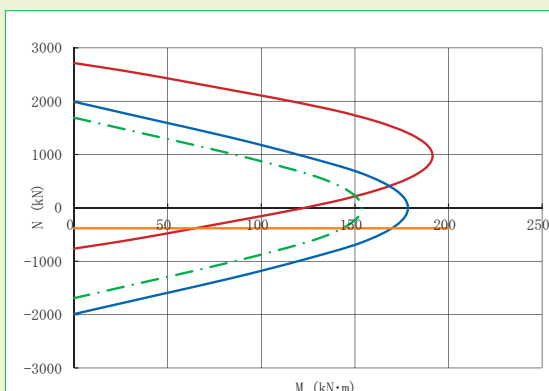


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

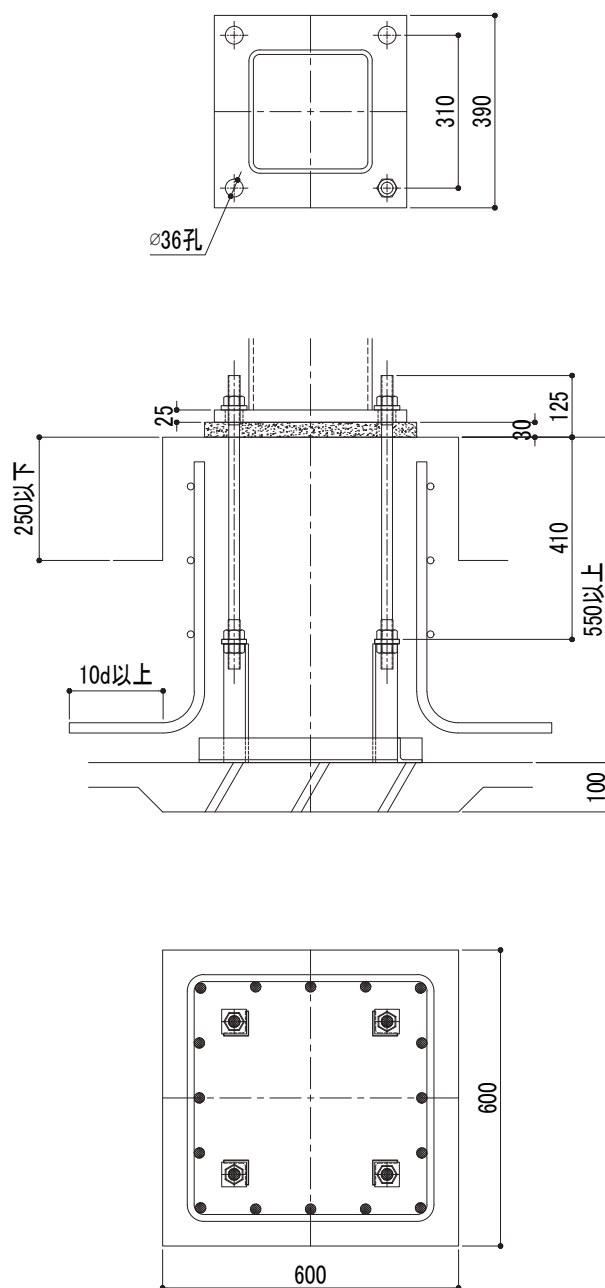
(単位:kN)

下限軸力	-382	BOPせん断耐力	118
------	------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、16-D19の場合を示す。

注意事項

- 杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- 下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- 柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 250		
適用鋼管	F値=235	8≦t≦19	
	F値=275	9≦t≦16	
	F値=295	6≦t≦19	
	F値=325	6≦t≦19	
アンカーボルト	4-M30		
ベースプレート	400×400×28		
柱形断面	620×620 (750×750)※ ¹		
主 筋※ ²	16-D19	16-D22	12-D25
帯 筋	D13@150		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	32,000kN・m/rad※ ³		

※1：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

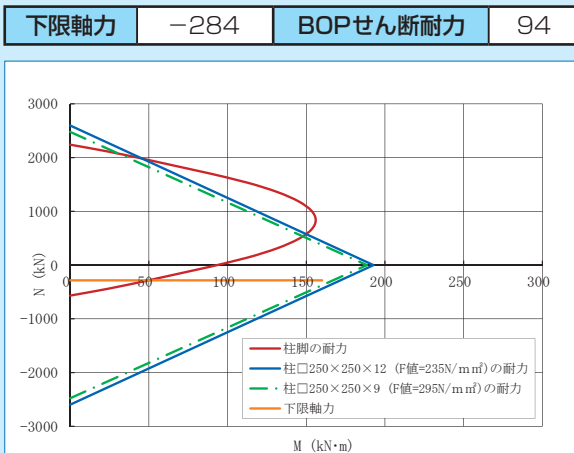
※2：主筋に記載の本数一径の中から選択できます。

※3：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

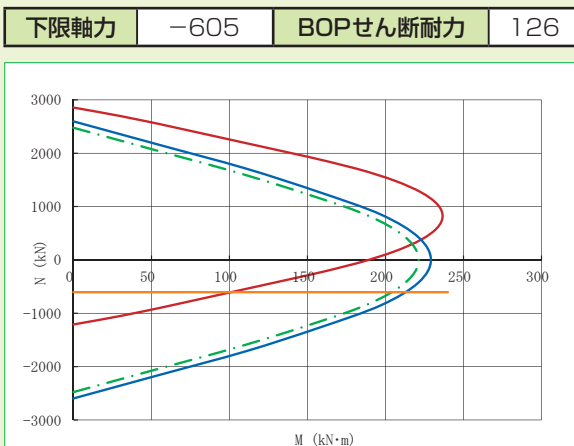
(単位:kN)



※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

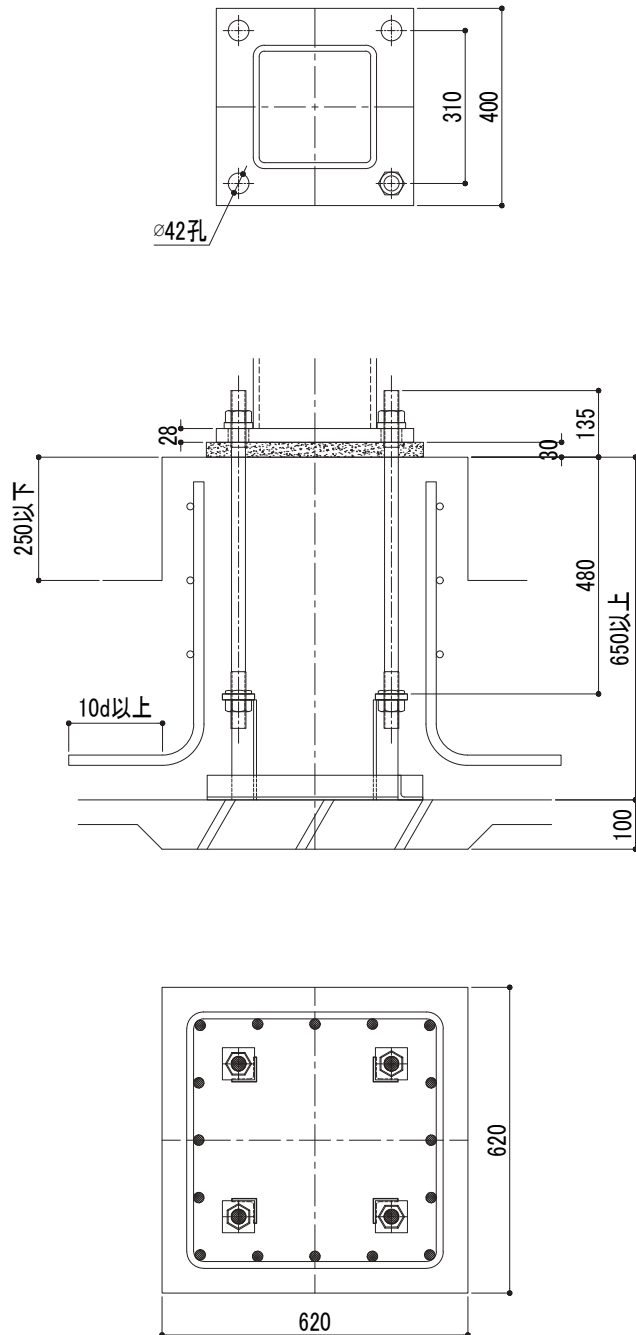
終局耐力時

(単位:kN)



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、16-D19の場合を示す。

注意事項

- 杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- 下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- 柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工用の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 250		
適用鋼管	F値=235	12≦t≦19	
	F値=275	9≦t≦16	
	F値=295	9≦t≦19	
	F値=325	9≦t≦19	
アンカーボルト	4-M36		
ベースプレート	420×420×32		
柱形断面	630×630 (840×840)* ¹		
主 筋* ²	20-D19	16-D22	16-D25
帯 筋	D13@150		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	36,000kN・m/rad* ³		

※1：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※2：主筋に記載の本数－径の中から選択できます。

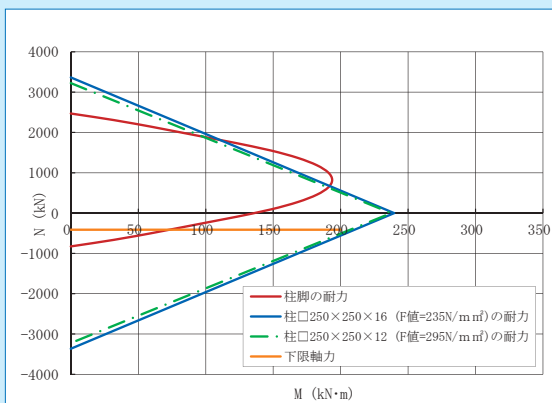
※3：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-413	BOPせん断耐力	106
------	------	----------	-----

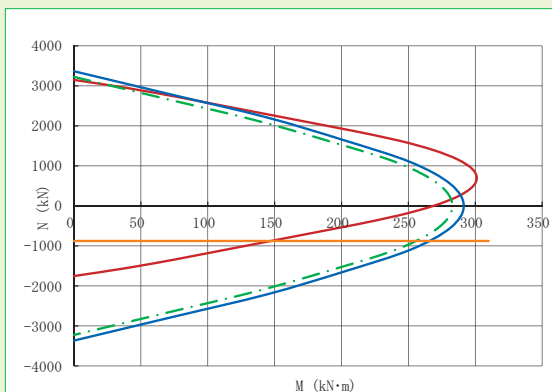


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

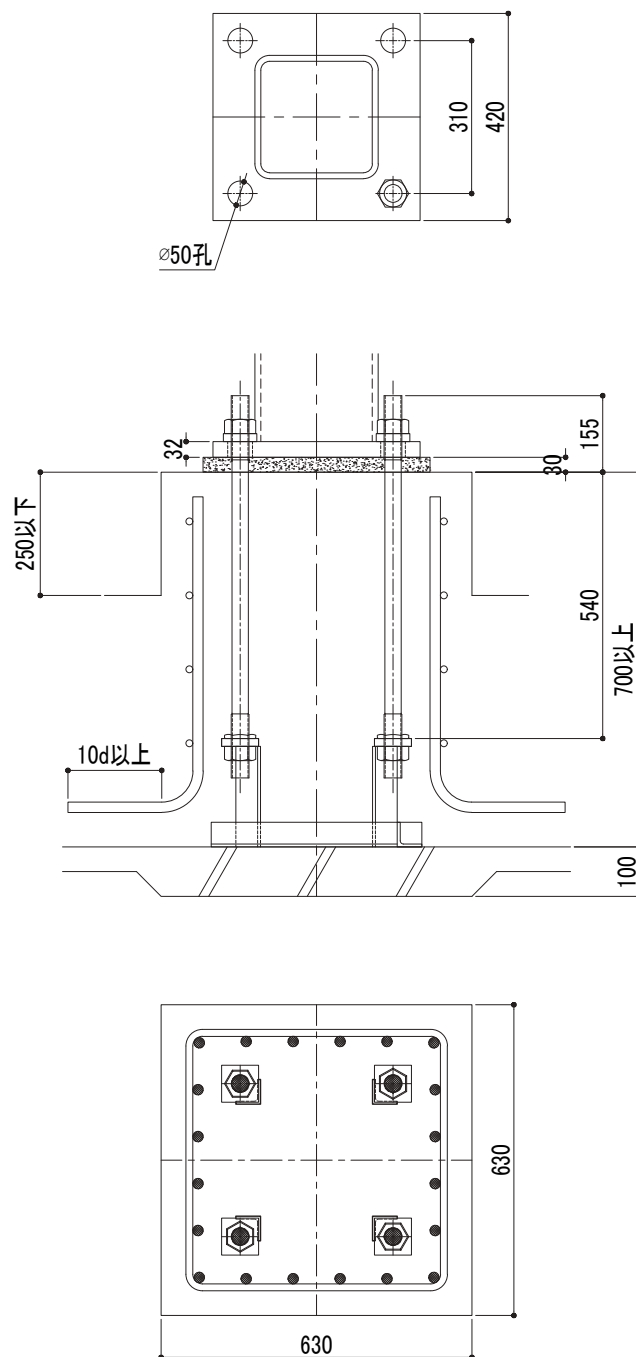
(単位:kN)

下限軸力	-876	BOPせん断耐力	141
------	------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、20-D19の場合を示す。

注意事項

- 杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- 下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- 柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工用の貫通孔を加工した柱脚です。

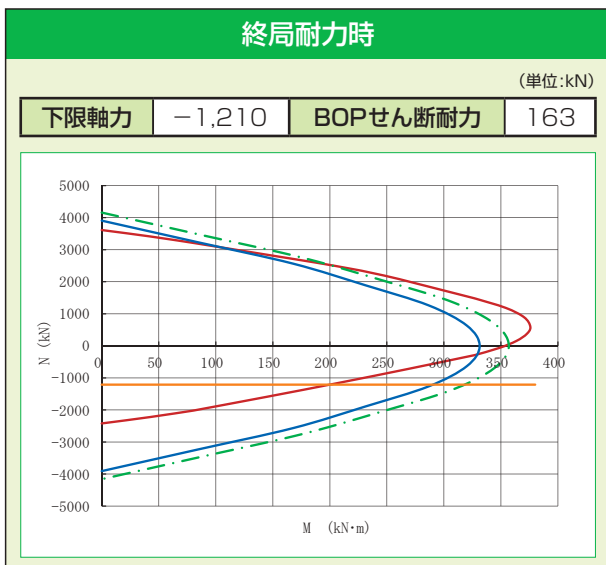
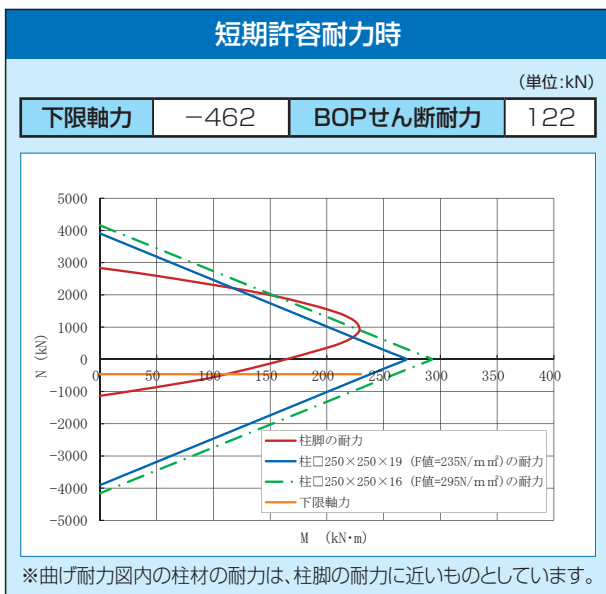
鋼管サイズ	□ 250		
適用鋼管	F値=235	16≦t≦19	
	F値=275	12≦t≦16	
	F値=295	12≦t≦19	
	F値=325	12≦t≦19	
アンカーボルト	8-M30		
ベースプレート	450×450×36		
柱形断面	650×650 (840×840)※ ¹		
主 筋※ ²	20-D19	16-D22	16-D25
帯 筋	D13@150		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	44,000kN・m/rad※ ³		

※1：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※2：主筋に記載の本数・径の中から選択できます。

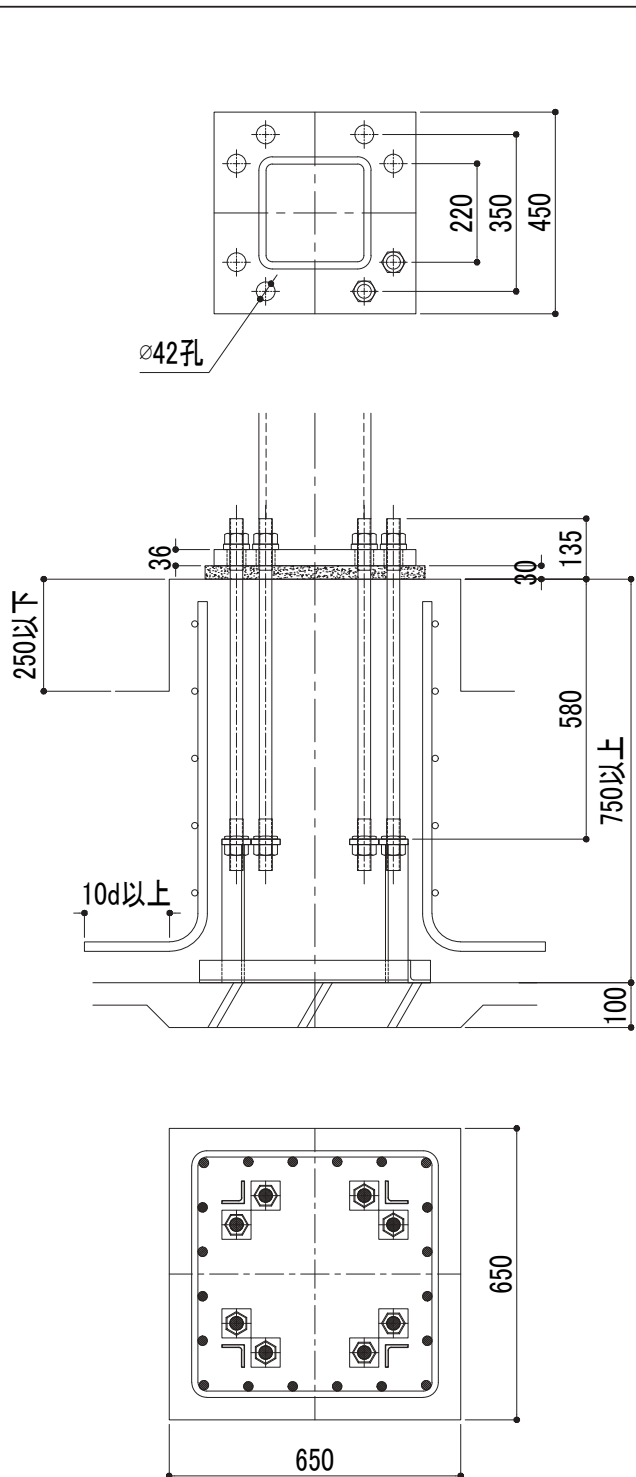
※3：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、20-D19の場合を示す。

注意事項

- 杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- 下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- 柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 250		
適用鋼管	F値=235	*	
	F値=275	*	
	F値=295	16≦t≦19	
	F値=325	16≦t≦19	
アンカーボルト	8-M36		
ベースプレート	460×460×40		
柱形断面	660×660 (840×840)※ ¹		
主 筋※ ²	24-D19	20-D22	16-D25
帯 筋	D13@150		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	51,000kN・m/rad※ ³		

※1：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※2：主筋に記載の本数－径の中から選択できます。

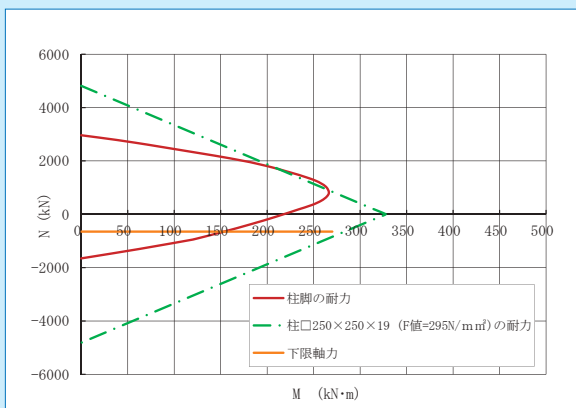
※3：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-650	BOPせん断耐力	127
------	------	----------	-----

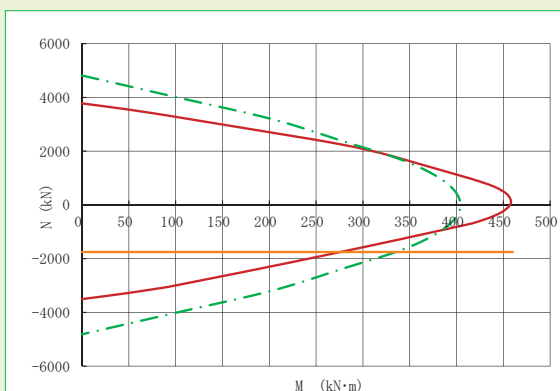


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

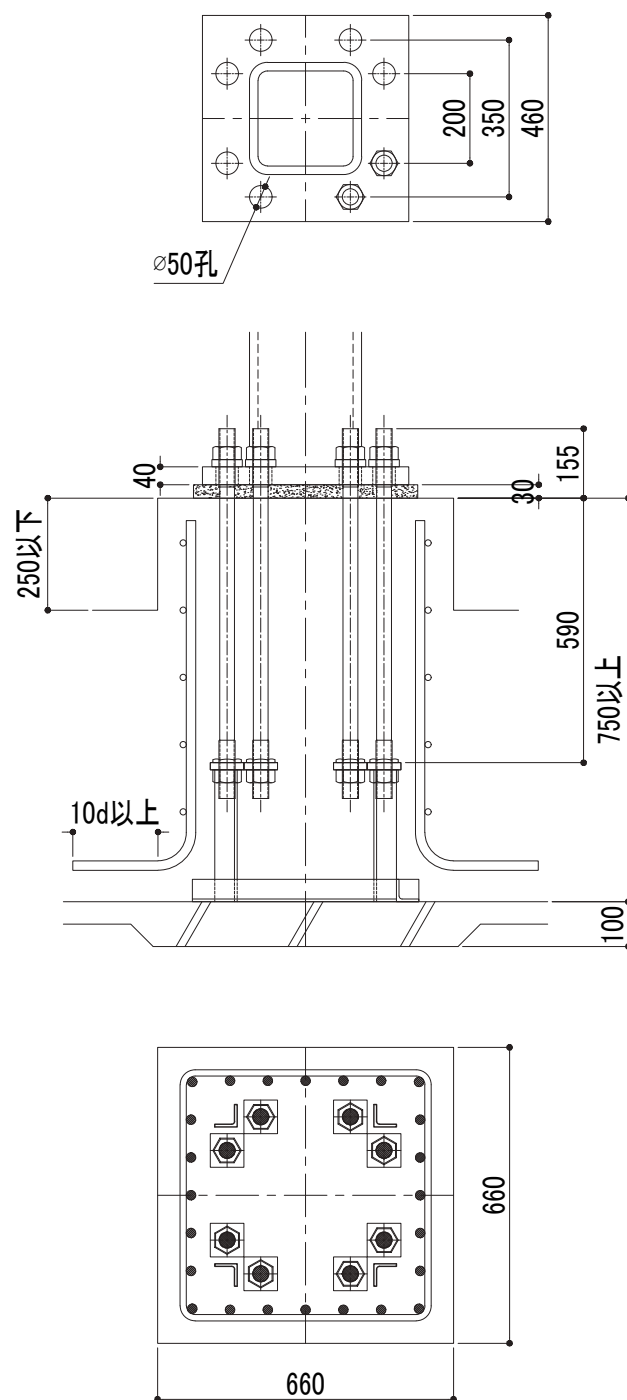
(単位:kN)

下限軸力	-1,753	BOPせん断耐力	170
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、24-D19の場合を示す。

注意事項

- 杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- 下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- 柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工用の貫通孔を加工した柱脚です。

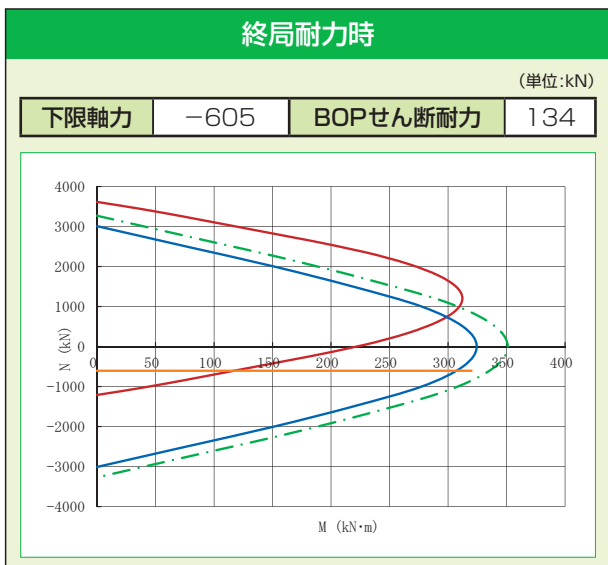
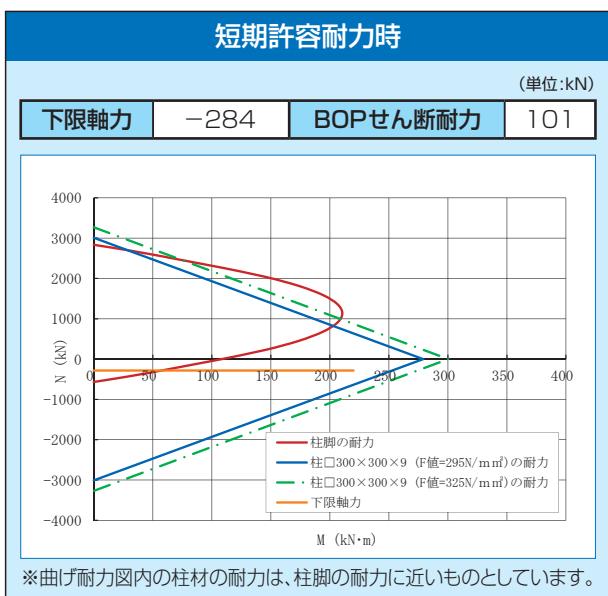
鋼管サイズ	□ 300		
適用鋼管	F値=235	6≦t≦19	
	F値=275	9≦t≦19	
	F値=295	6≦t≦22	
	F値=325	6≦t≦16	
アンカーボルト	4-M30		
ベースプレート	450×450×28		
柱形断面	670×670 (750×750)※ ¹		
主 筋※ ²	16-D19	12-D22	12-D25
帯 筋	D13@100		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	41,000kN・m/rad※ ³		

※1：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※2：主筋に記載の本数・径の中から選択できます。

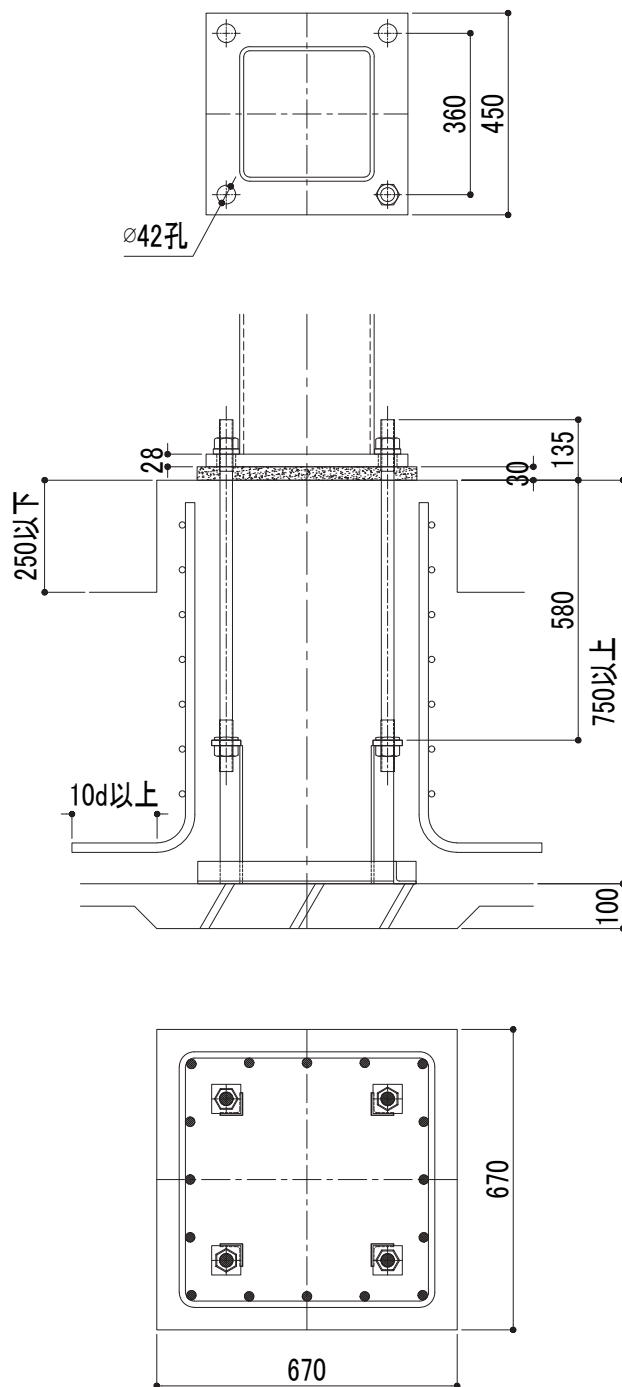
※3：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、16-D19の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 300		
適用鋼管	F値=235	9≦t≦19	
	F値=275	9≦t≦19	
	F値=295	8≦t≦22	
	F値=325	8≦t≦19	
アンカーボルト	4-M36		
ベースプレート	460×460×32		
柱形断面	680×680 (840×840)※ ¹		
主 筋※ ²	20-D19	16-D22	16-D25
帯 筋	D13@100		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	51,000kN・m/rad※ ³		

※1：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※2：主筋に記載の本数－径の中から選択できます。

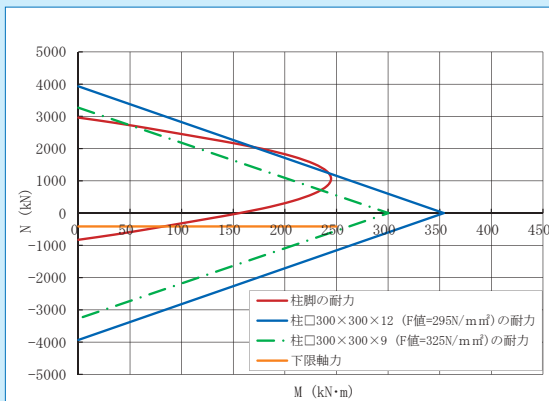
※3：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-413	BOPせん断耐力	106
------	------	----------	-----



※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

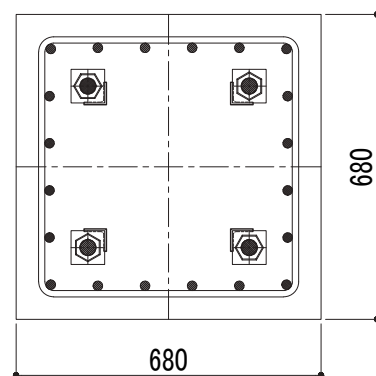
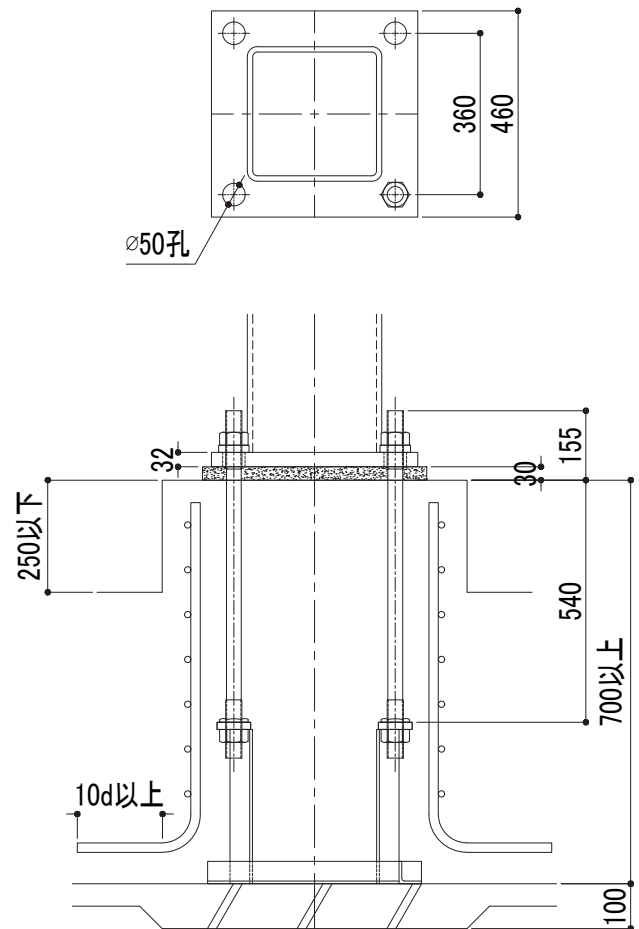
(単位:kN)

下限軸力	-876	BOPせん断耐力	141
------	------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、20-D19の場合を示す。

注意事項

- 杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- 下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- 柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

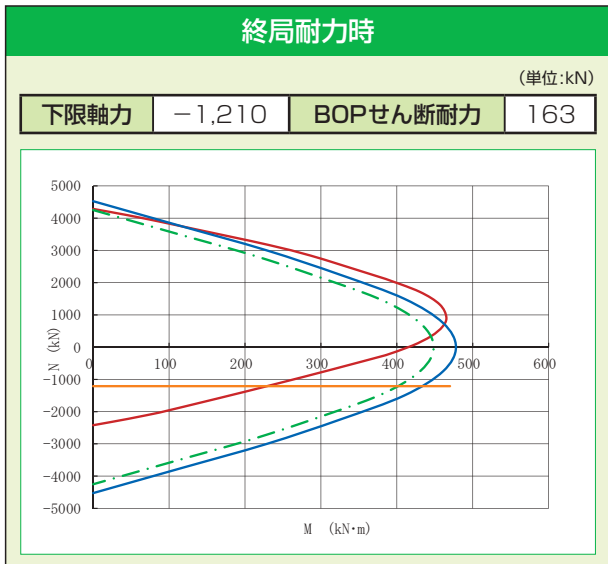
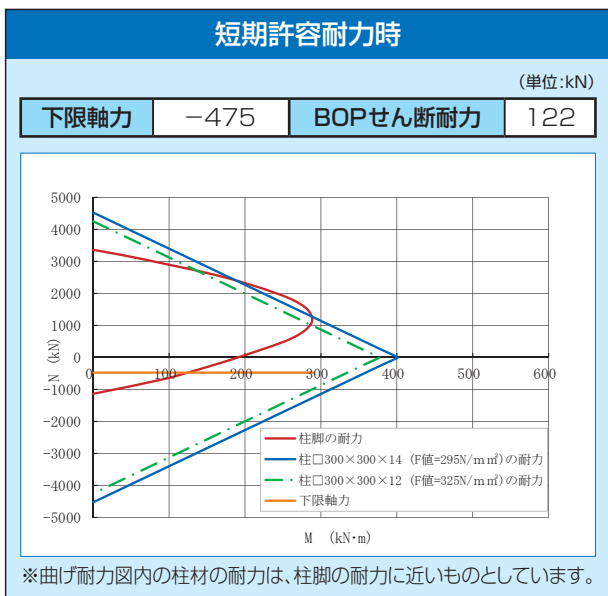
鋼管サイズ	□ 300		
適用鋼管	F値=235	12≦t≦19	
	F値=275	12≦t≦19	
	F値=295	9≦t≦22	
	F値=325	9≦t≦19	
アンカーボルト	8-M30		
ベースプレート	490×490×36		
柱形断面	700×700 (840×840)※ ¹		
主 筋※ ²	20-D19	20-D22	16-D25
帯 筋	D13@100		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	62,000kN・m/rad※ ³		

※¹：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※²：主筋に記載の本数一径の中から選択できます。

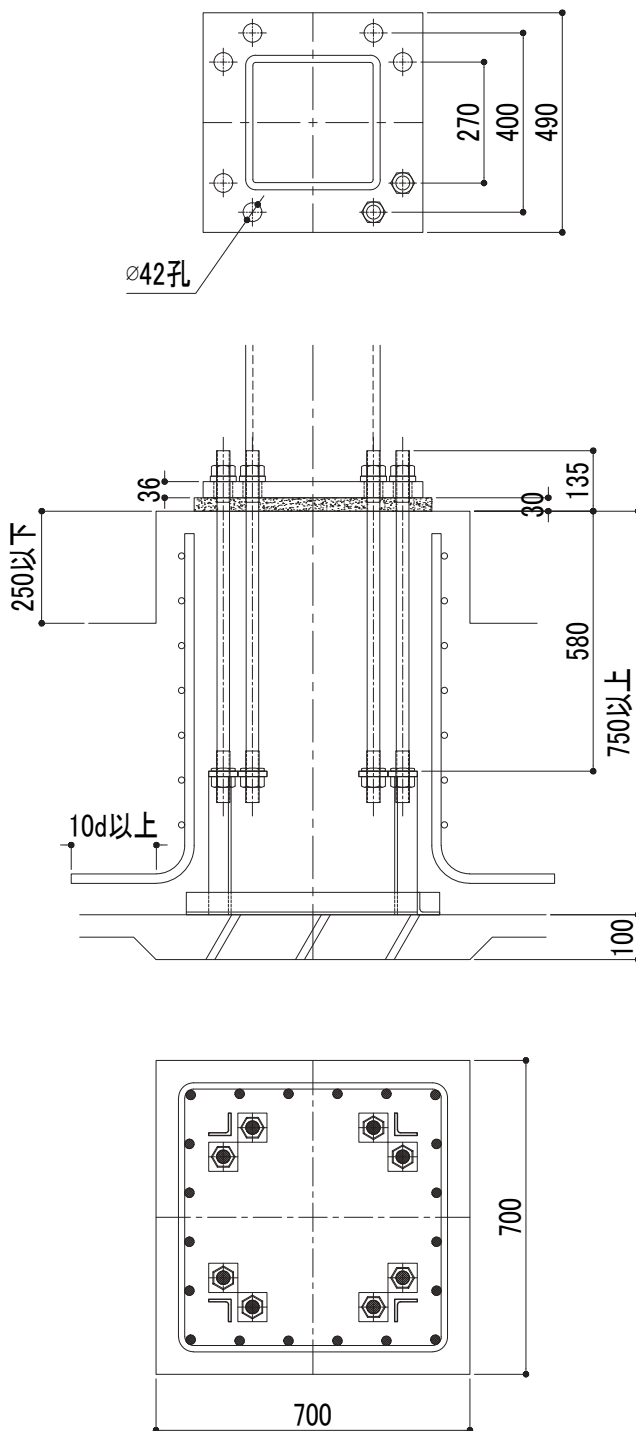
※³：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、20-D19の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 300	
適用鋼管	F値=235	t=19
	F値=275	16≤t≤19
	F値=295	14≤t≤22
	F値=325	16≤t≤19
アンカーボルト	8-M36	
ベースプレート	500×500×40	
柱形断面	710×710 (980×980)※ ¹	
主筋※ ²	20-D22	16-D25
帯筋	D13@100	
最小コンクリート強度	21N/mm ²	
回転剛性	62,000kN・m/rad※ ³	

※1：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※2：主筋に記載の本数－径の中から選択できます。

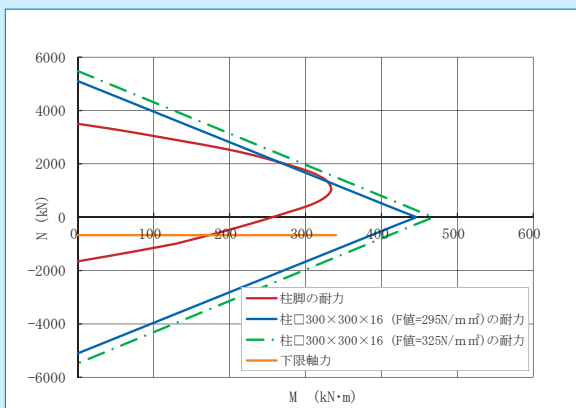
※3：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-672	BOPせん断耐力	127
------	------	----------	-----

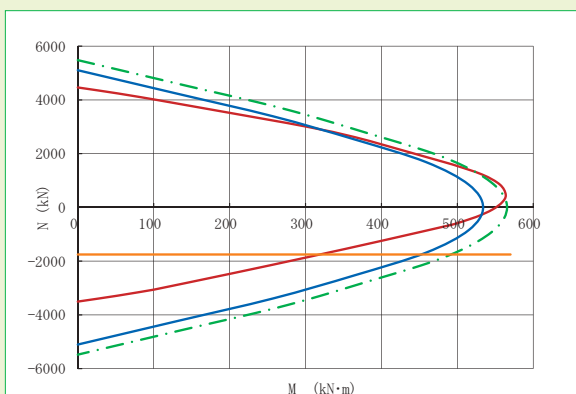


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

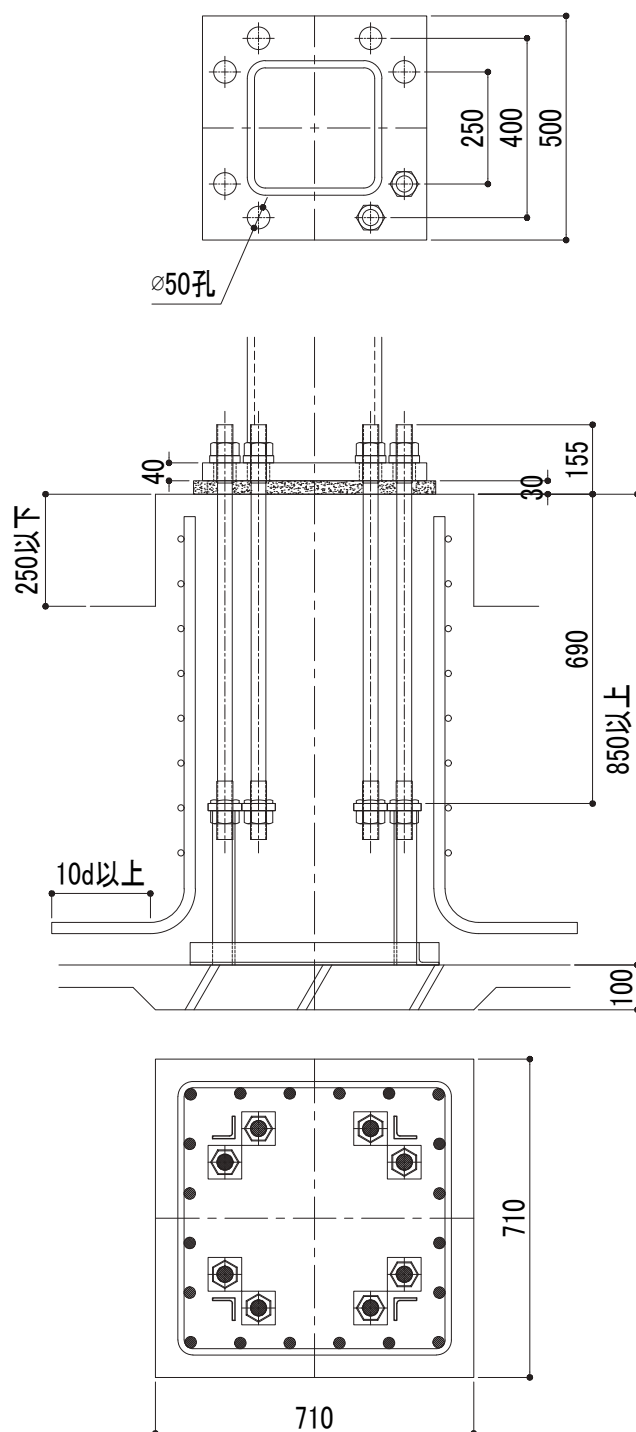
(単位:kN)

下限軸力	-1,753	BOPせん断耐力	170
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、20-D22の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工用の貫通孔を加工した柱脚です。

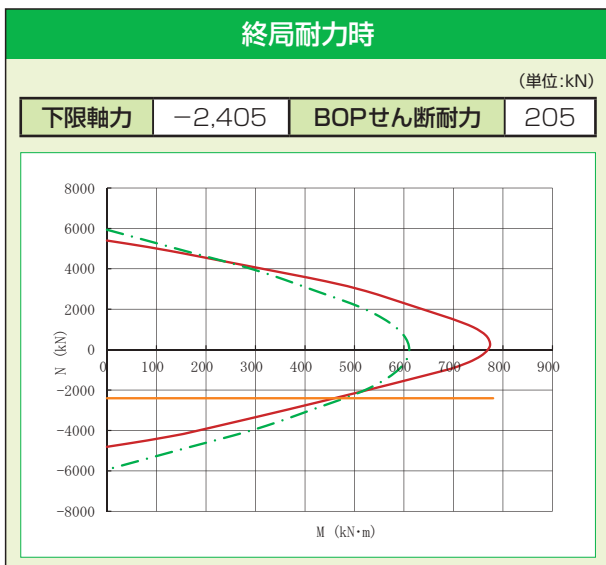
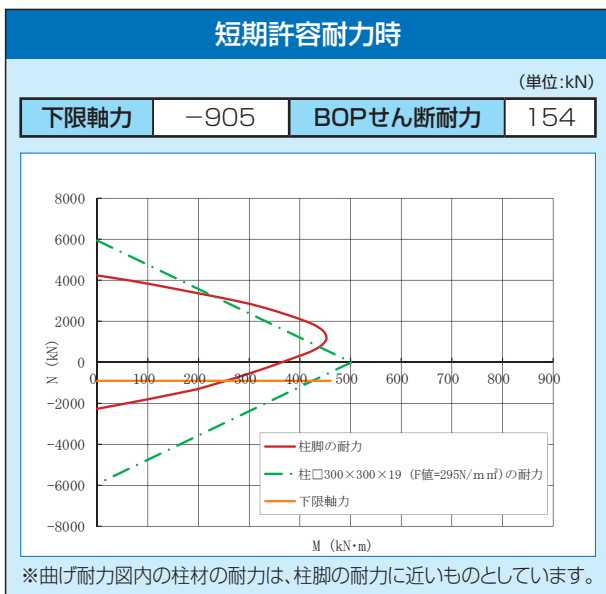
鋼管サイズ	□ 300	
適用鋼管	F値=235	*
	F値=275	t=19
	F値=295	19≤t≤22
	F値=325	*
アンカーボルト	8-M42	
ベースプレート	550×550×50	
柱形断面	760×760 (1070×1070)※ ¹	
主 筋※ ²	24-D22	20-D25
帯 筋	D13@100	
最小コンクリート強度	21N/mm ²	
回転剛性	89,000kN・m/rad※ ³	

※1：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※2：主筋に記載の本数一径の中から選択できます。

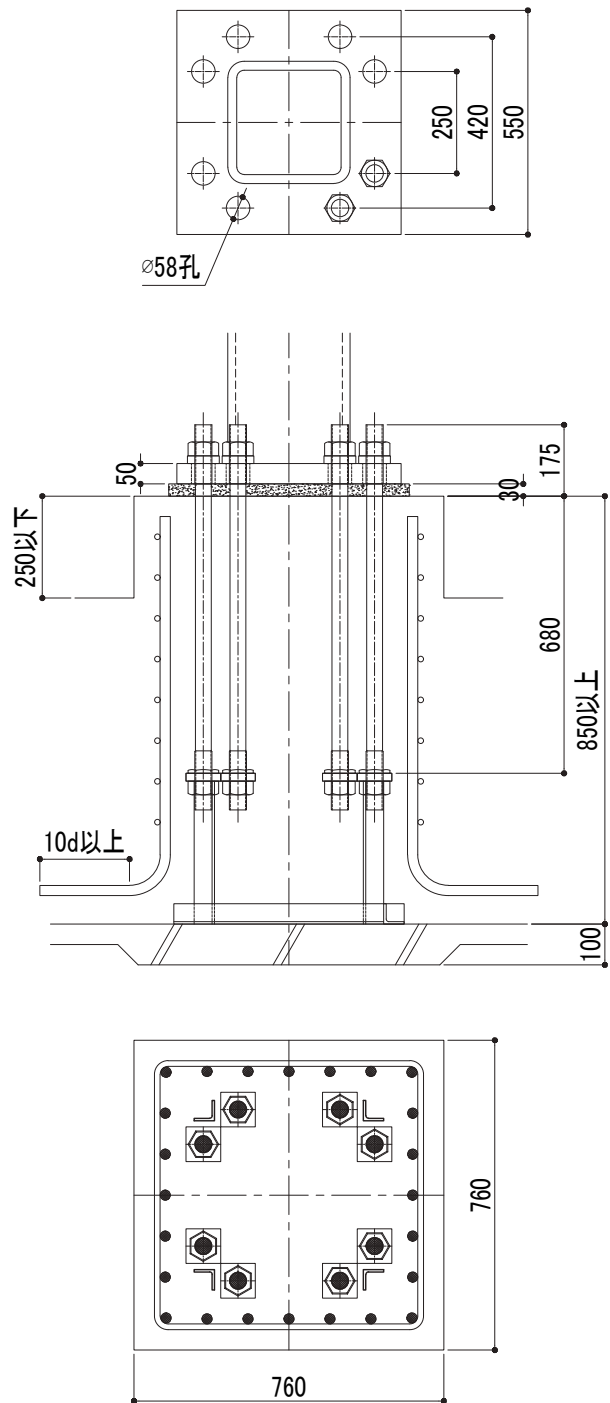
※3：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、24-D22の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工用の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 350		
適用鋼管	F値=235	9≦t≦22	
	F値=275	9≦t≦19	
	F値=295	9≦t≦19	
	F値=325	9≦t≦16	
アンカーボルト	4-M30		
ベースプレート	500×500×28		
柱形断面	720×720 (840×840)* ¹		
主 筋* ²	20-D19	16-D22	12-D25
帯 筋	D13@100		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	62,000kN・m/rad* ³		

※1：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※2：主筋に記載の本数－径の中から選択できます。

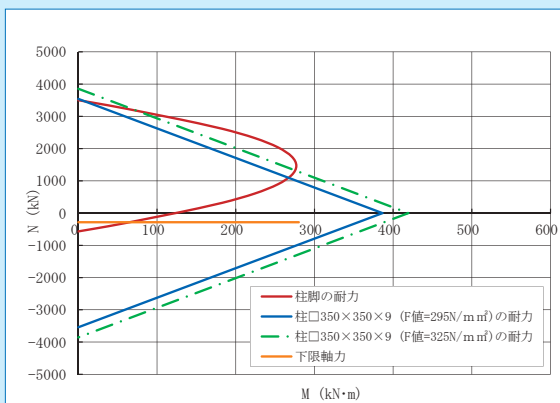
※3：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-284	BOPせん断耐力	127
------	------	----------	-----

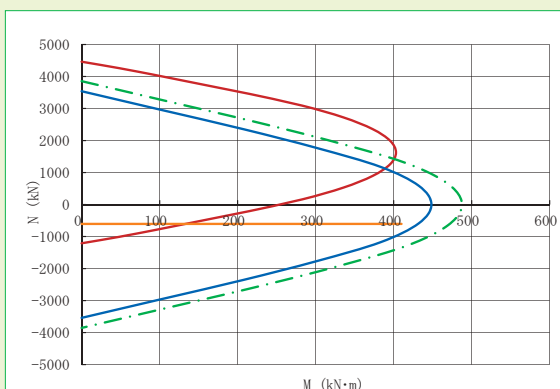


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

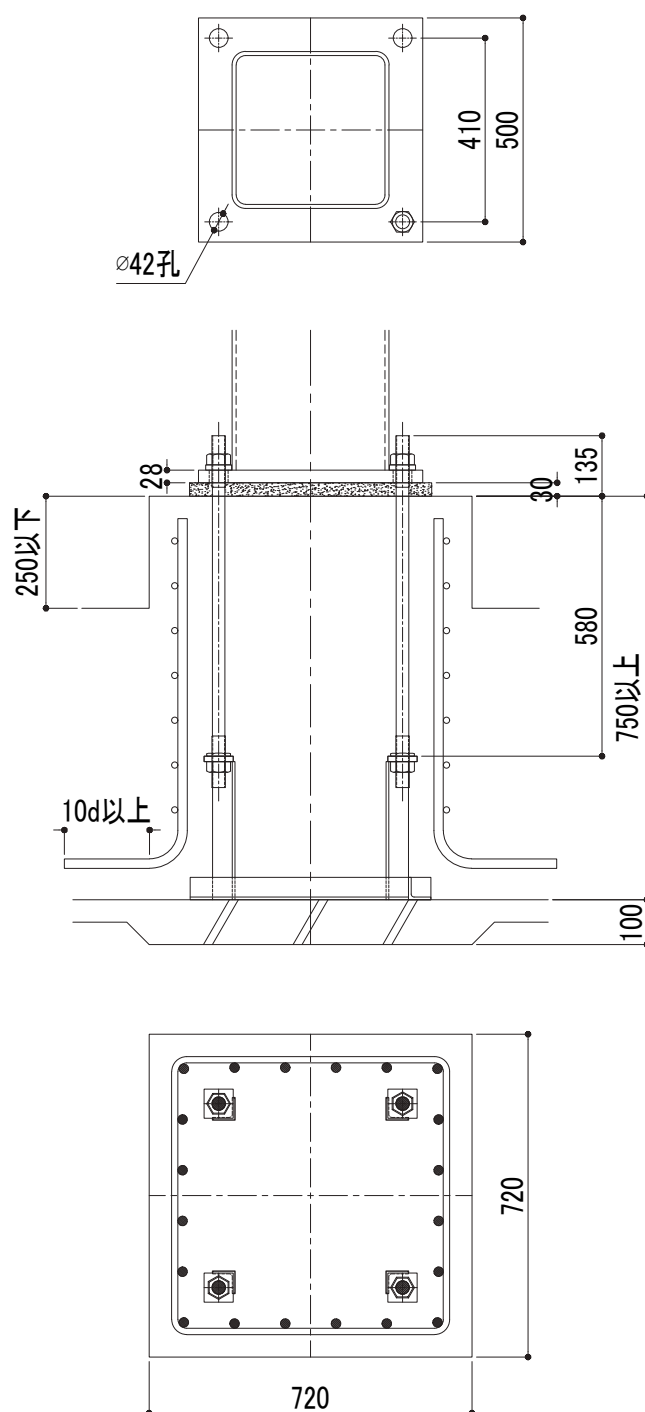
(単位:kN)

下限軸力	-605	BOPせん断耐力	170
------	------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、20-D19の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

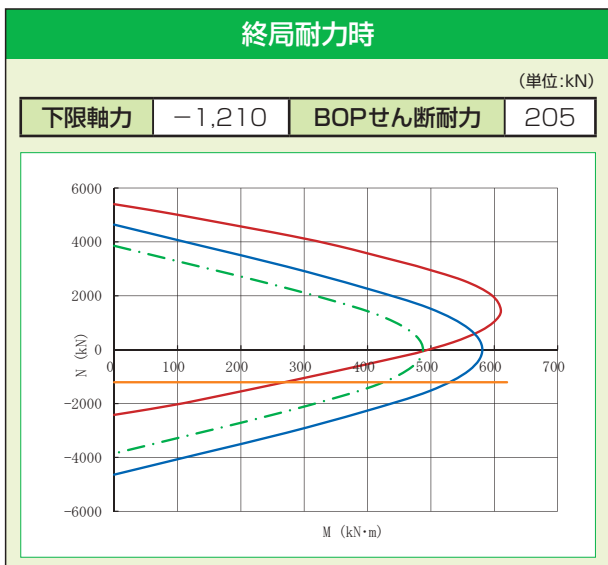
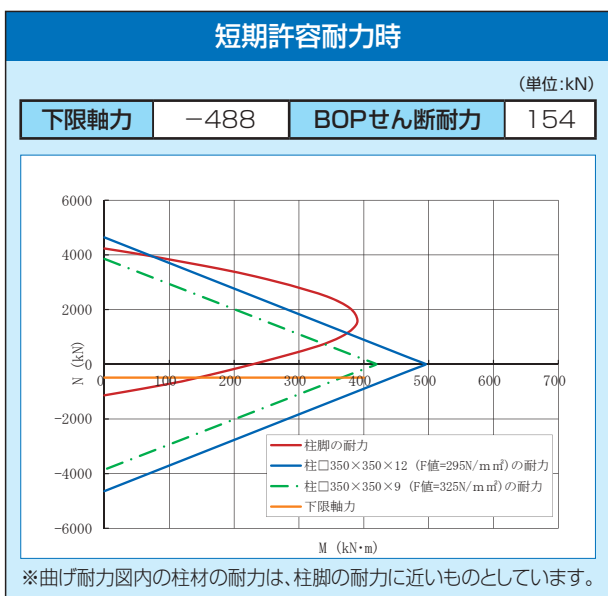
鋼管サイズ	□ 350		
適用鋼管	F値=235	12≦t≦22	
	F値=275	9≦t≦22	
	F値=295	9≦t≦25	
	F値=325	9≦t≦22	
アンカーボルト	8-M30		
ベースプレート	550×550×36		
柱形断面	760×760 (1000×1000)※ ¹		
主 筋※ ²	28-D19	24-D22	20-D25
帯 筋	D13@100		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	95,000kN・m/rad※ ³		

※1：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※2：主筋に記載の本数一径の中から選択できます。

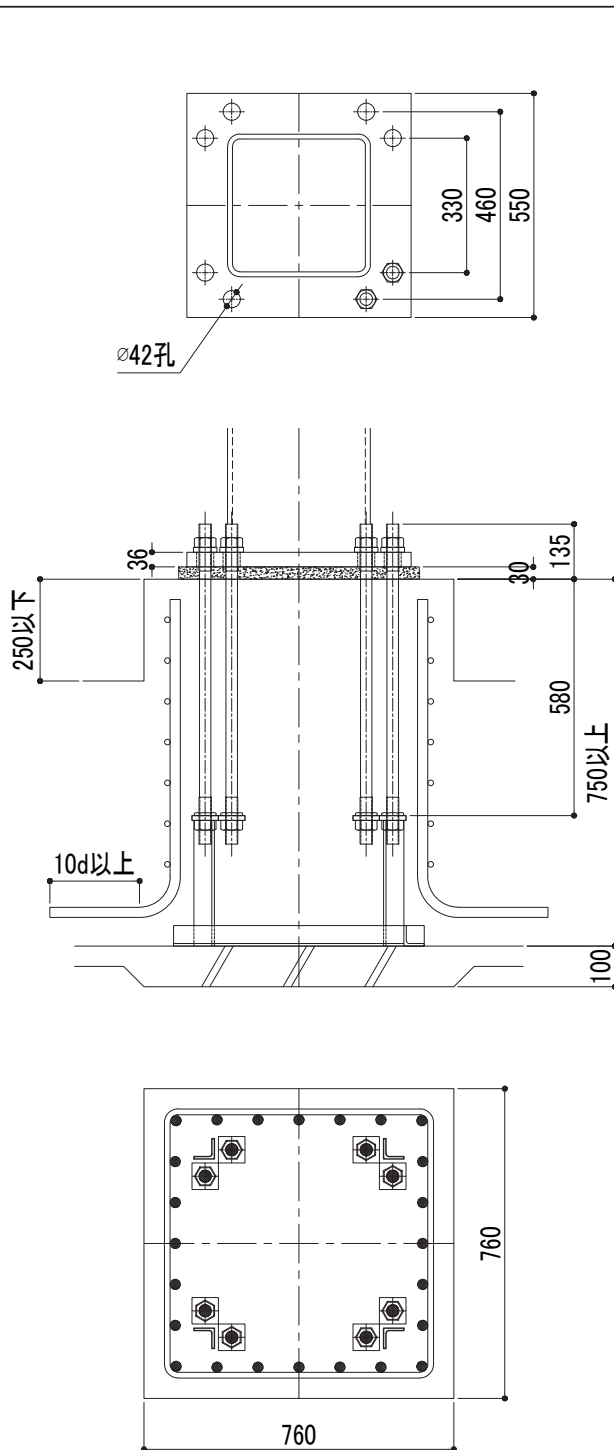
※3：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、24-D22の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※ Gシリーズはベースプレートにめっき施工用の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 350	
適用鋼管	F値=235	16≤t≤22
	F値=275	12≤t≤22
	F値=295	12≤t≤25
	F値=325	12≤t≤22
アンカーボルト	8-M36	
ベースプレート	570×570×40	
柱形断面	780×780 (1070×1070)※ ¹	
主 筋※ ²	24-D22	20-D25
帯 筋	D13@100	
最小コンクリート強度	21N/mm ²	
回転剛性	99,000kN・m/rad※ ³	

※ 1：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※ 2：主筋に記載の本数－径の中から選択できます。

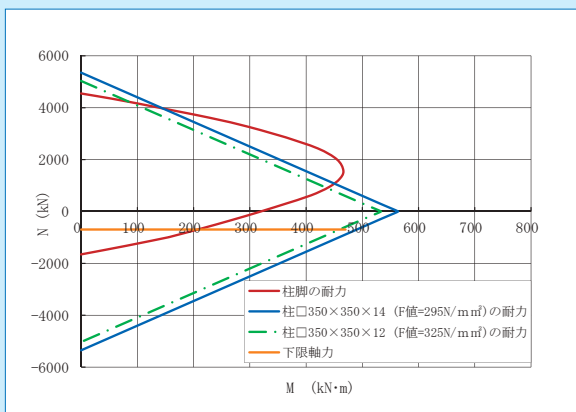
※ 3：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-695	BOPせん断耐力	164
------	------	----------	-----

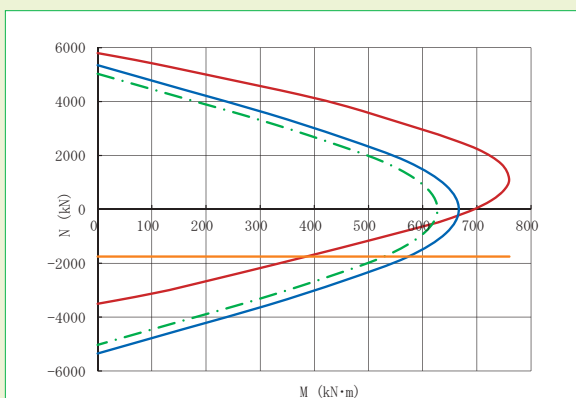


※ 曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

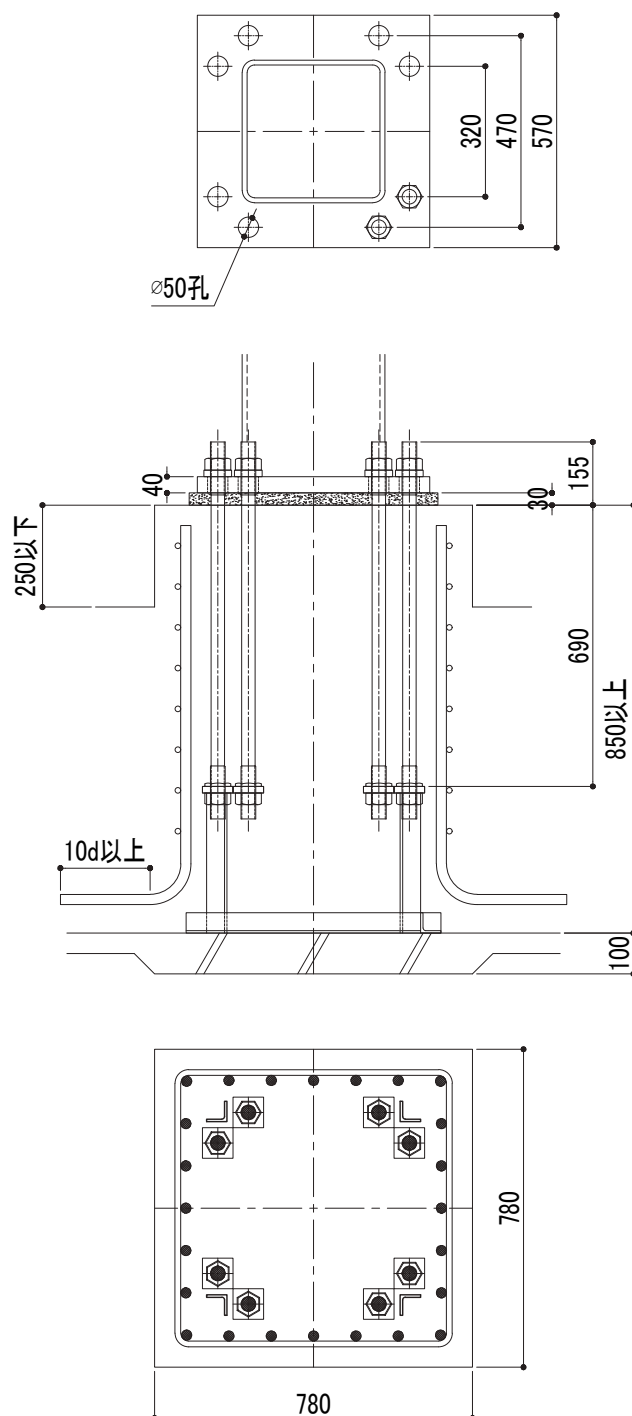
(単位:kN)

下限軸力	-1,753	BOPせん断耐力	219
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、24-D22の場合を示す。

注意事項

- 杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- 下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- 柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 350		
適用鋼管	F値=235	t=22	
	F値=275	16≦t≦22	
	F値=295	16≦t≦25	
	F値=325	16≦t≦22	
アンカーボルト	8-M42		
ベースプレート	590×590×45		
柱形断面	810×810 (1160×1160)※ ¹		
主 筋※ ²	28-D22	24-D25	20-D29
帯 筋	D13@100		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	122,000 kN・m/rad※ ³		

※¹：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※²：主筋に記載の本数一径の中から選択できます。

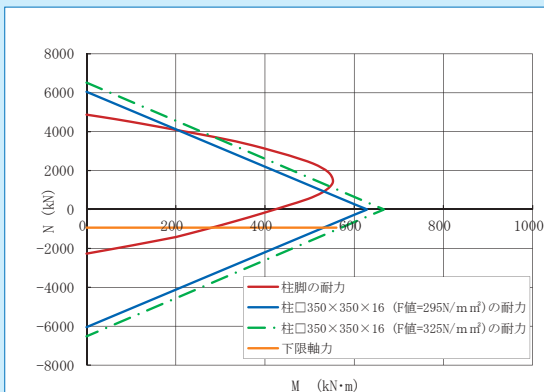
※³：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-934	BOPせん断耐力	175
------	------	----------	-----

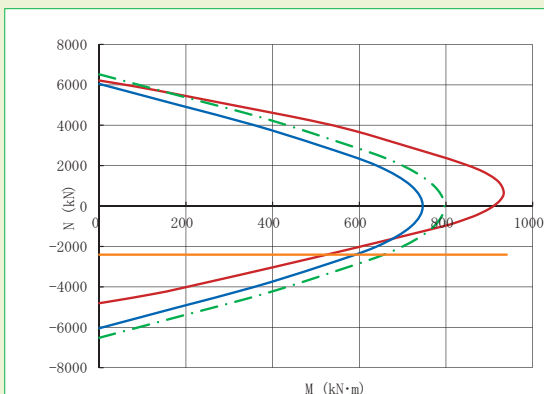


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

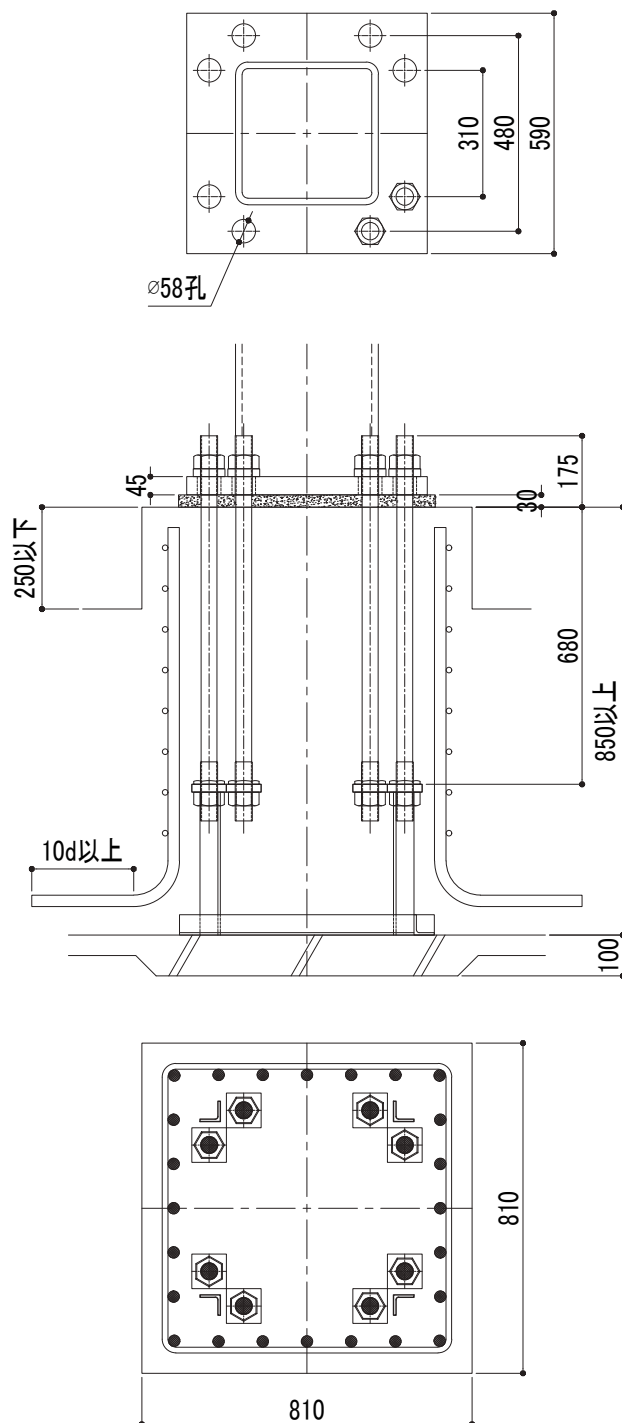
(単位:kN)

下限軸力	-2,405	BOPせん断耐力	233
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、24-D25の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。

鋼管サイズ	□ 350		
適用鋼管	F値=235	*	
	F値=275	t=22	
	F値=295	22≤t≤25	
	F値=325	t=22	
アンカーボルト	8-M48		
ベースプレート	630×630×55		
柱形断面	910×910 (1240×1240)* ¹		
主 筋※ ²	32-D22	28-D25	24-D29
帯 筋	D13@100		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	152,000kN・m/rad※ ³		



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 350		
適用鋼管	F値=235	*	
	F値=275	t=22	
	F値=295	22≤t≤25	
	F値=325	t=22	
アンカーボルト	8-M48		
ベースプレート	630×630×70		
柱形断面	910×910 (1240×1240)※ ¹		
主 筋※ ²	32-D22	28-D25	24-D29
帯 筋	D13@100		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	149,000kN・m/rad※ ³		

※1：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※2：主筋に記載の本数一径の中から選択できます。

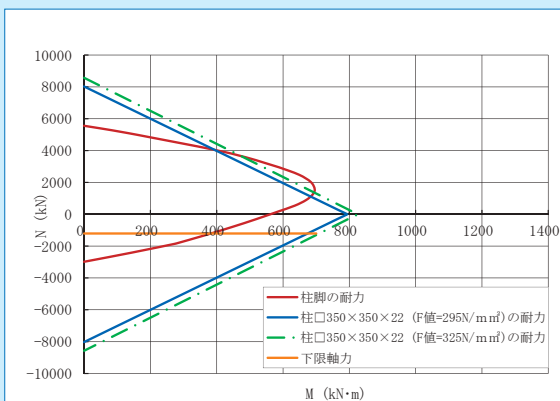
※3：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-1,207	BOPせん断耐力	196
------	--------	----------	-----

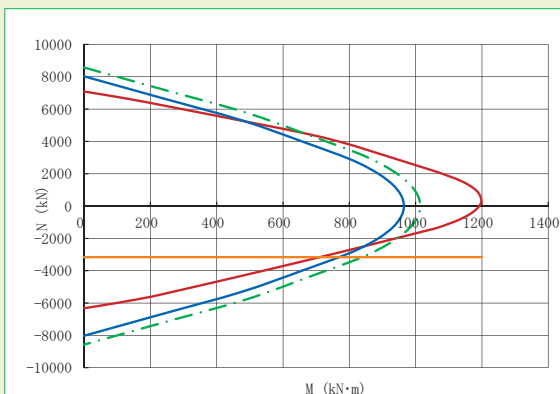


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

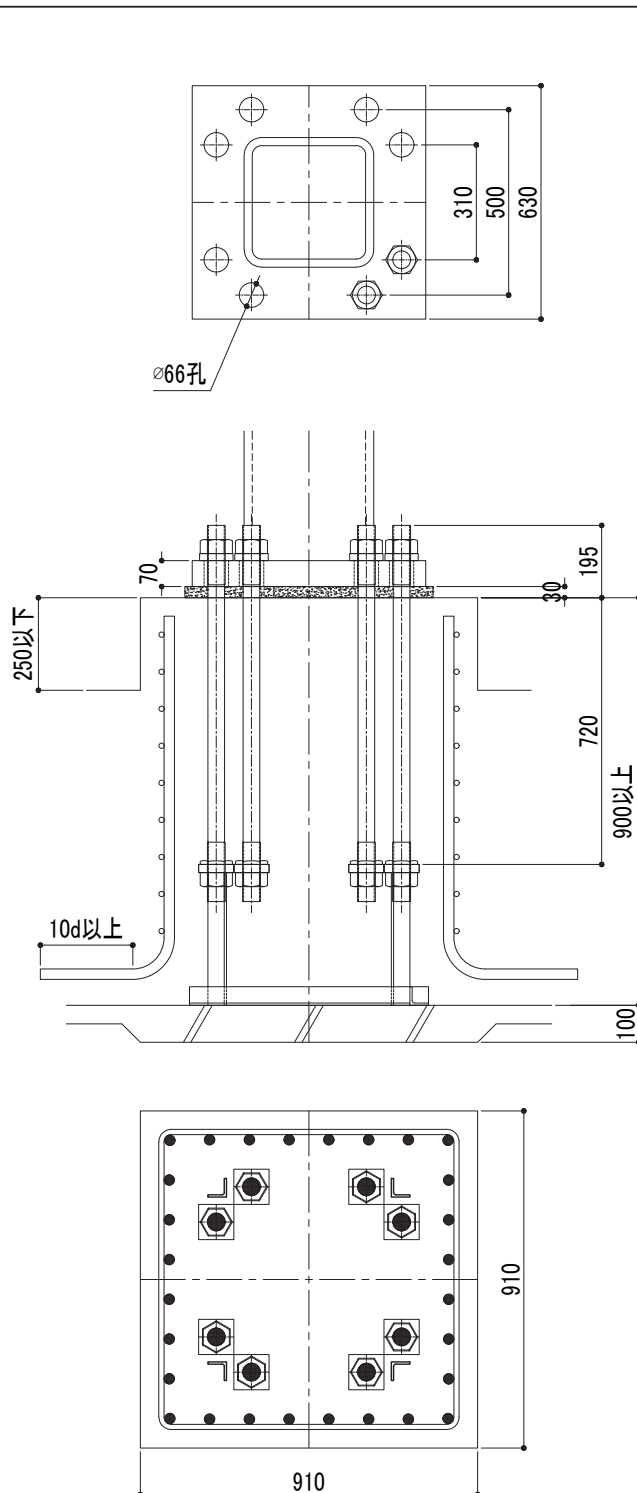
(単位:kN)

下限軸力	-3,161	BOPせん断耐力	262
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、28-D25の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 400		
適用鋼管	F値=235	9≦t≦25	
	F値=275	12≦t≦22	
	F値=295	9≦t≦22	
	F値=325	9≦t≦19	
アンカーボルト	4-M36		
ベースプレート	570×570×32		
柱形断面	800×800 (920×920)* ¹		
主筋* ²	24-D19	20-D22	16-D25
帯筋	D13@100		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	91,000kN・m/rad* ³		

※¹：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※²：主筋に記載の本数－径の中から選択できます。

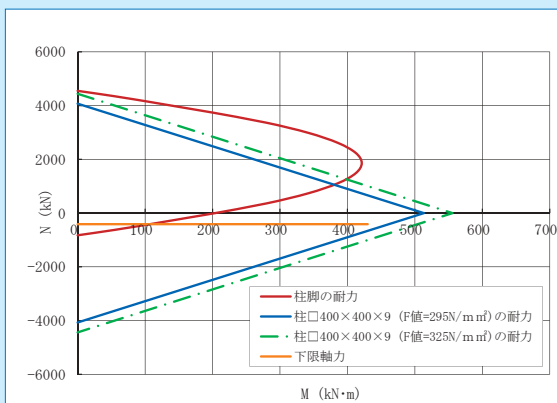
※³：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-413	BOPせん断耐力	143
------	------	----------	-----

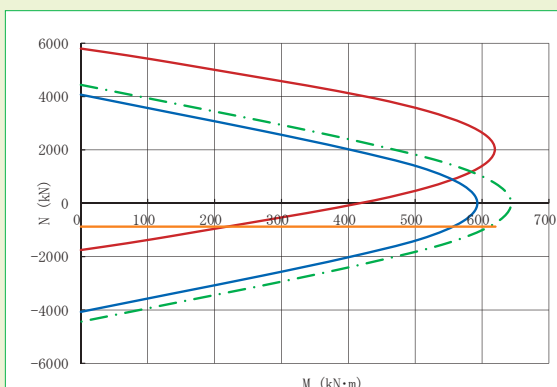


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

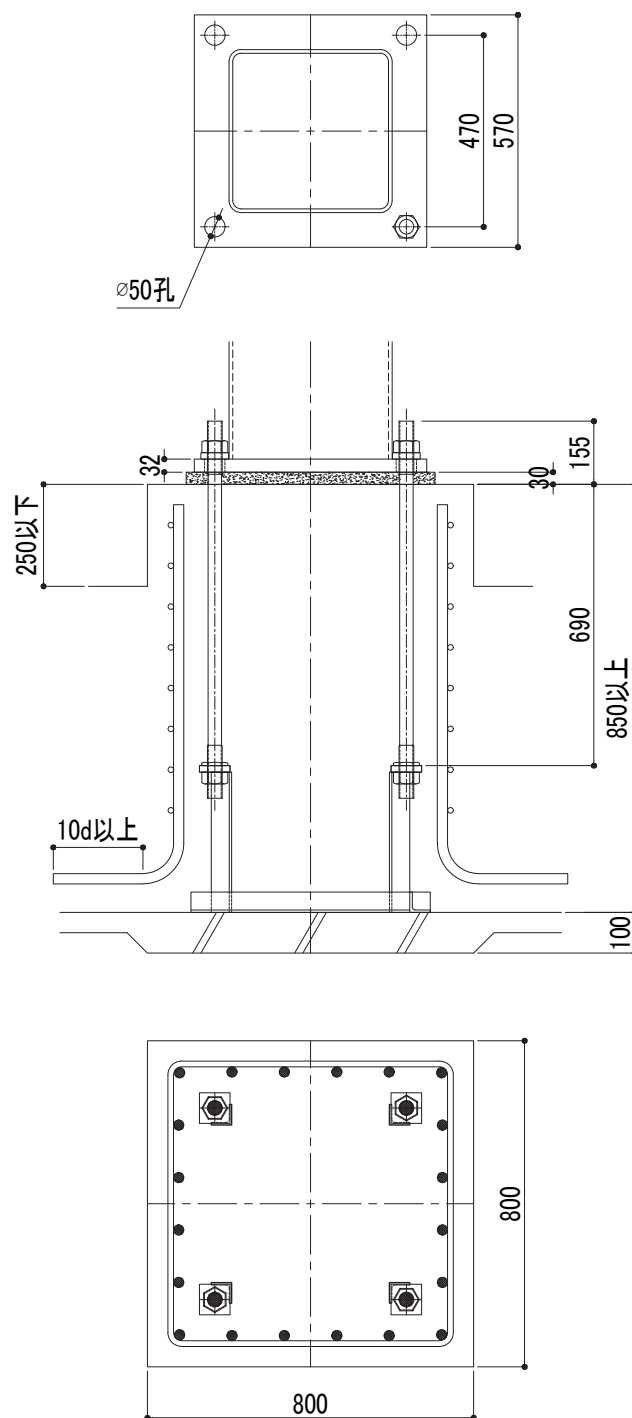
(単位:kN)

下限軸力	-876	BOPせん断耐力	191
------	------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、20-D22の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 400		
適用鋼管	F値=235	9≦t≦25	
	F値=275	12≦t≦25	
	F値=295	9≦t≦25	
	F値=325	9≦t≦22	
アンカーボルト	8-M30		
ベースプレート	600×600×36		
柱形断面	810×810 (1000×1000)※ ¹		
主 筋※ ²	28-D19	24-D22	24-D25
帯 筋	D13@100		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	130,000kN・m/rad※ ³		

※1：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※2：主筋に記載の本数・径の中から選択できます。

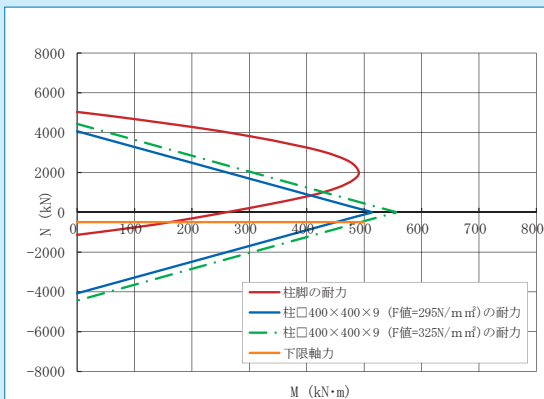
※3：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-495	BOPせん断耐力	159
------	------	----------	-----

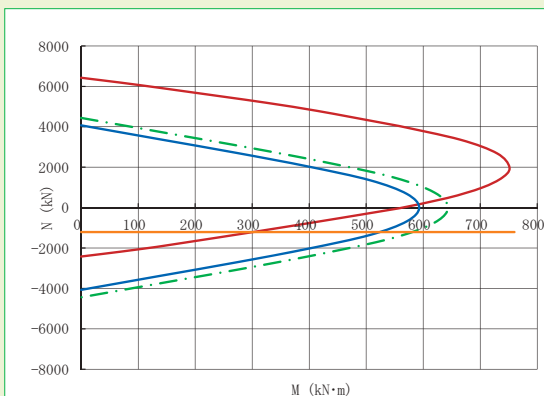


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

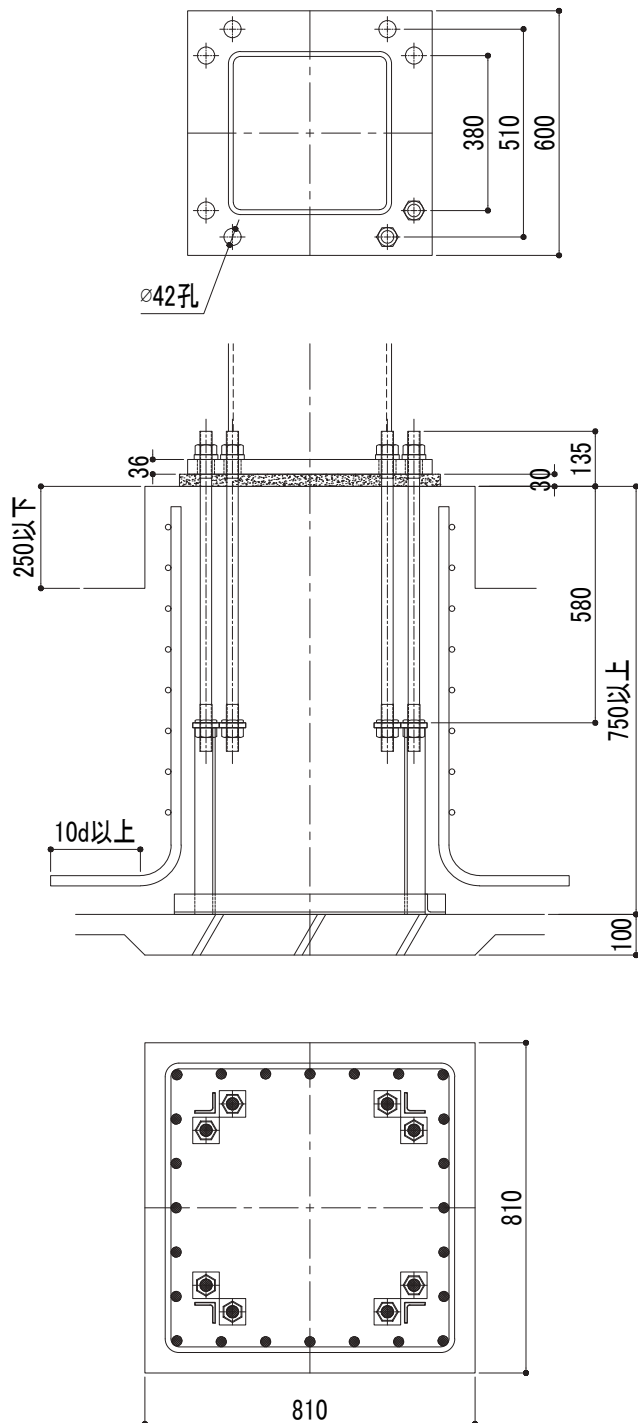
(単位:kN)

下限軸力	-1,210	BOPせん断耐力	212
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、24-D22の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 400		
適用鋼管	F値=235	16≦t≦25	
	F値=275	12≦t≦25	
	F値=295	12≦t≦25	
	F値=325	12≦t≦25	
アンカーボルト	8-M36		
ベースプレート	620×620×40		
柱形断面	840×840 (1120×1120)* ¹		
主 筋* ²	28-D22	20-D25	20-D29
帯 筋	D13@100		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	135,000kN・m/rad* ³		

※1：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※2：主筋に記載の本数－径の中から選択できます。

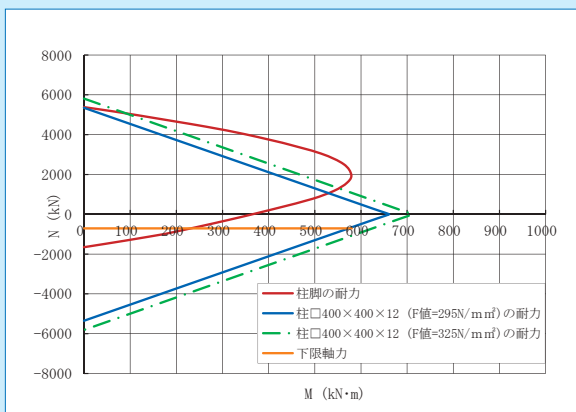
※3：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-708	BOPせん断耐力	170
------	------	----------	-----

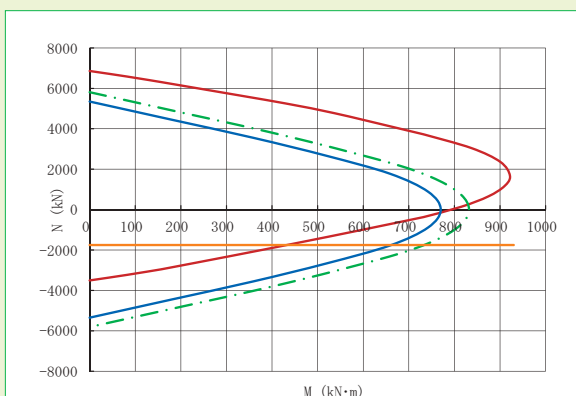


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

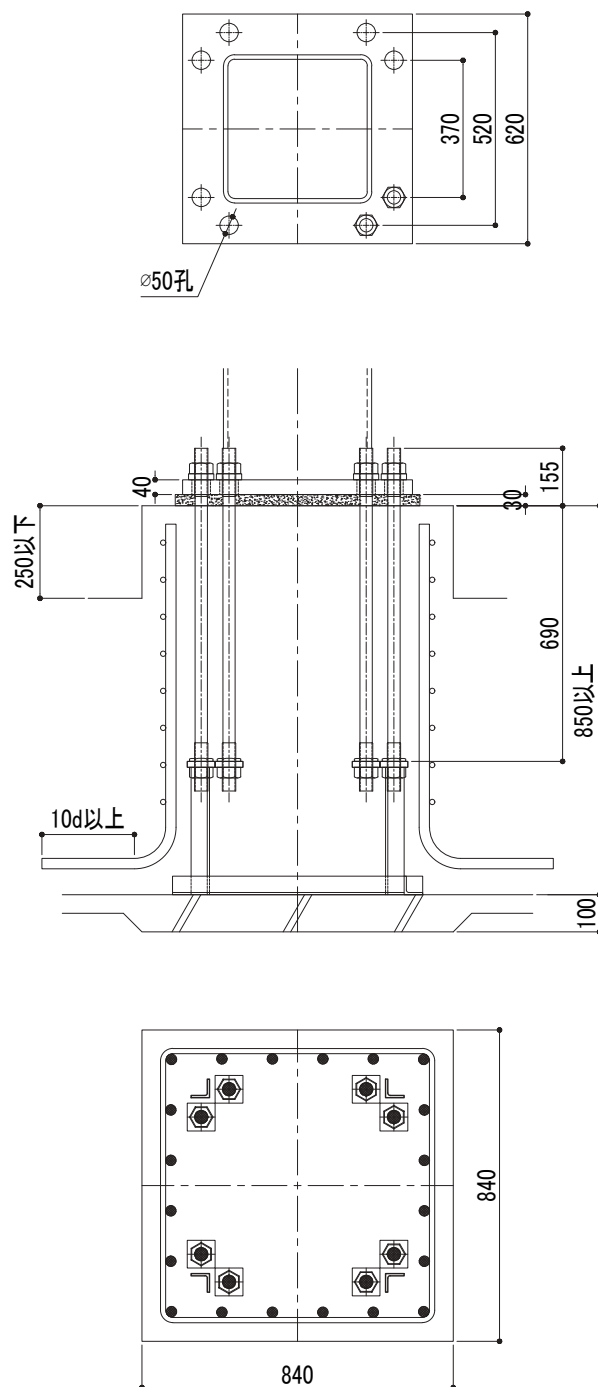
(単位:kN)

下限軸力	-1,753	BOPせん断耐力	226
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、20-D25の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工用の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 400		
適用鋼管	F値=235	19≦t≦25	
	F値=275	16≦t≦25	
	F値=295	14≦t≦25	
	F値=325	16≦t≦25	
アンカーボルト	8-M42		
ベースプレート	640×640×45		
柱形断面	860×860 (1230×1230)※ ¹		
主 筋※ ²	32-D22	24-D25	20-D29
帯 筋	D13@100		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	145,000kN・m/rad※ ³		

※¹：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※²：主筋に記載の本数一径の中から選択できます。

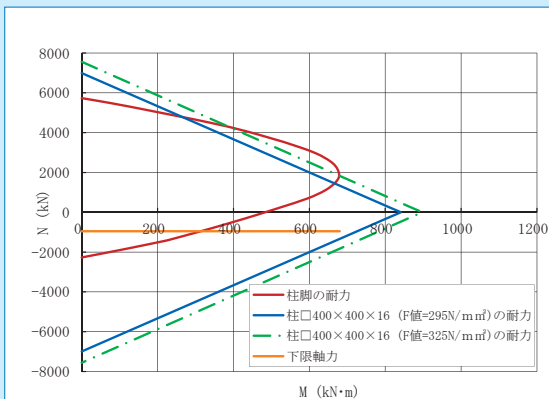
※³：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-953	BOPせん断耐力	180
------	------	----------	-----

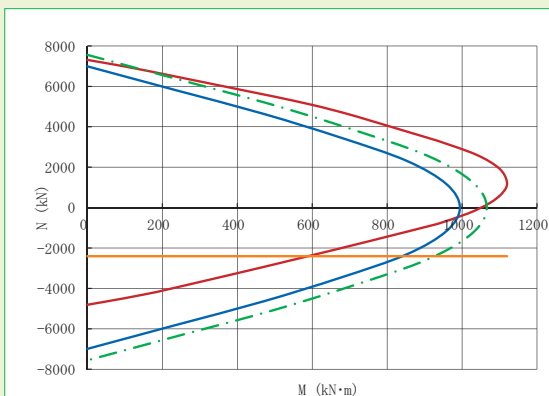


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

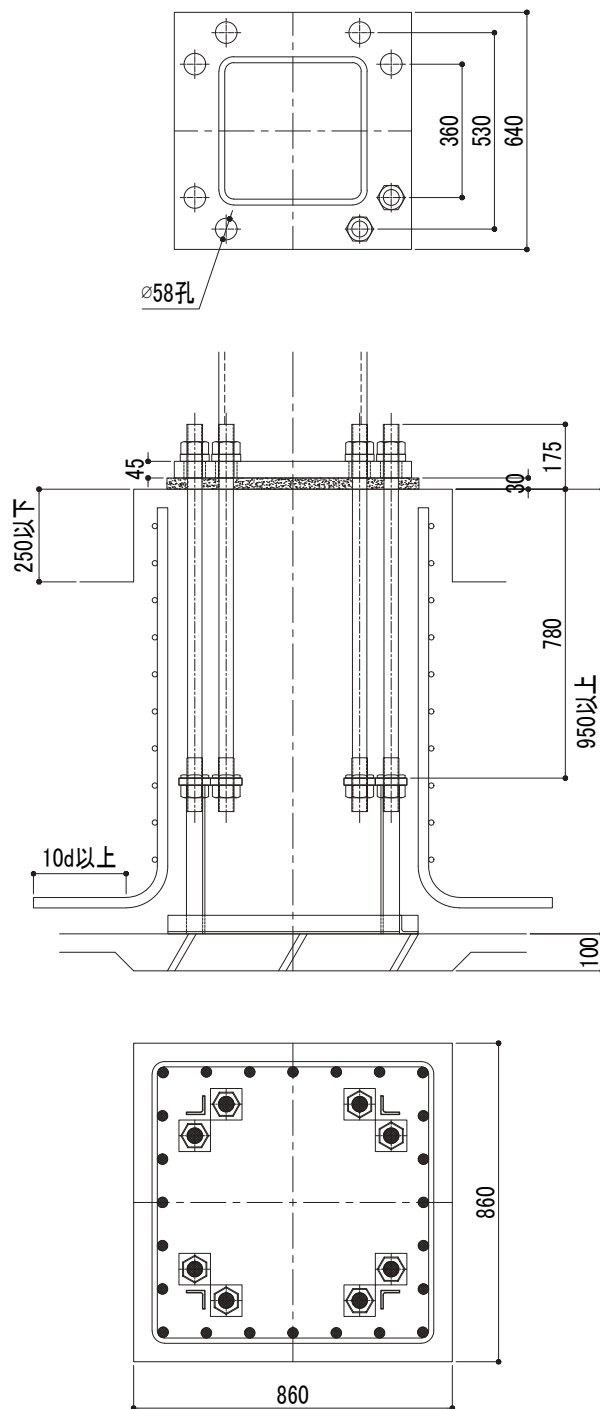
(単位:kN)

下限軸力	-2,405	BOPせん断耐力	240
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、24-D25の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工用の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 400		
適用鋼管	F値=235	t=25	
	F値=275	19≦t≦25	
	F値=295	19≦t≦25	
	F値=325	19≦t≦25	
アンカーボルト	8-M48		
ベースプレート	680×680×55		
柱形断面	940×940 (1260×1260)※ ¹		
主 筋※ ²	36-D22	28-D25	24-D29
帯 筋	D13@100		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	179,000kN・m/rad※ ³		

※1：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※2：主筋に記載の本数－径の中から選択できます。

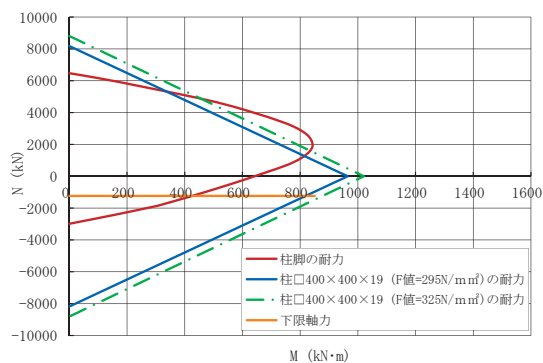
※3：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力 -1,233 BOPせん断耐力 201

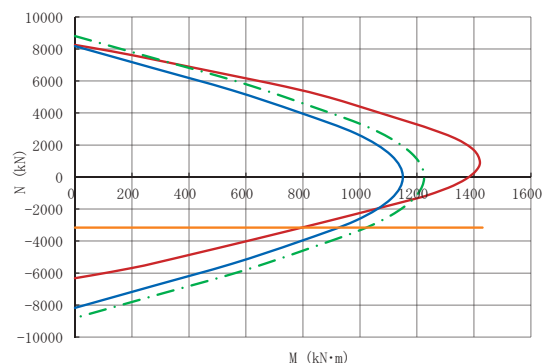


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

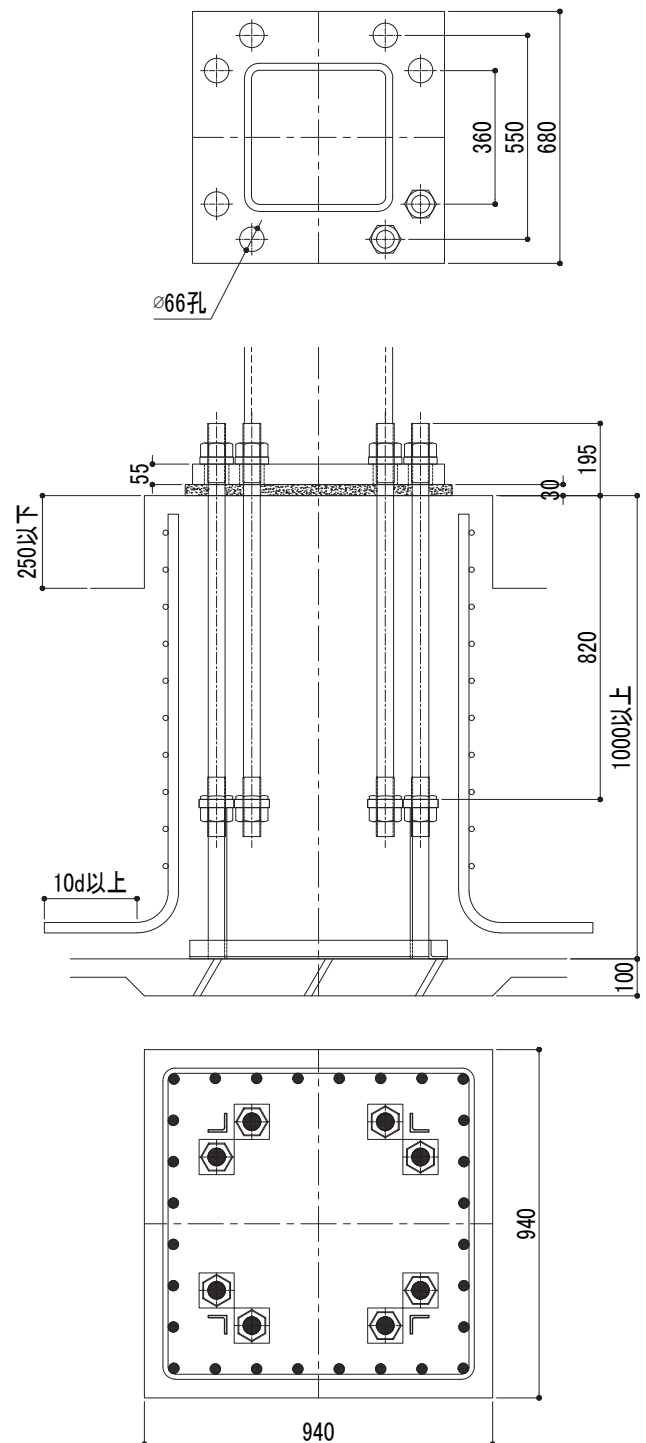
(単位:kN)

下限軸力 -3,161 BOPせん断耐力 269



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、28-D25の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工用の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 400	
適用鋼管	F値=235	*
	F値=275	t=25
	F値=295	t=25
	F値=325	t=25
アンカーボルト	8-M48	
ベースプレート	810×810×70	
柱形断面	1060×1060 (1260×1260)※1	
主筋※2	36-D25	32-D29
帯筋	D13@100	
最小コンクリート強度	21N/mm ²	
回転剛性	286,000kN・m/rad※3	

※1：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※2：主筋に記載の本数一径の中から選択できます。

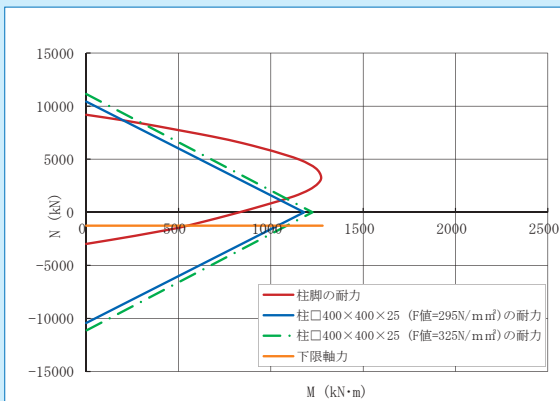
※3：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-1,262	BOPせん断耐力	379
------	--------	----------	-----

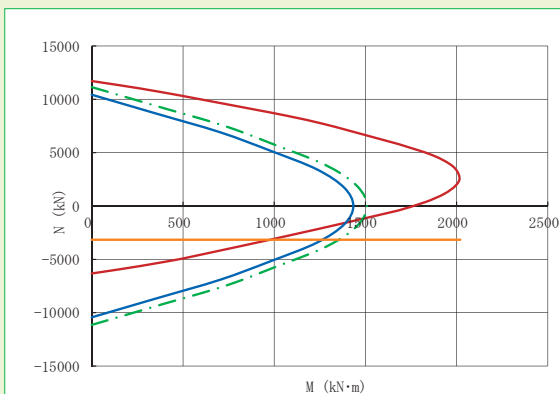


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

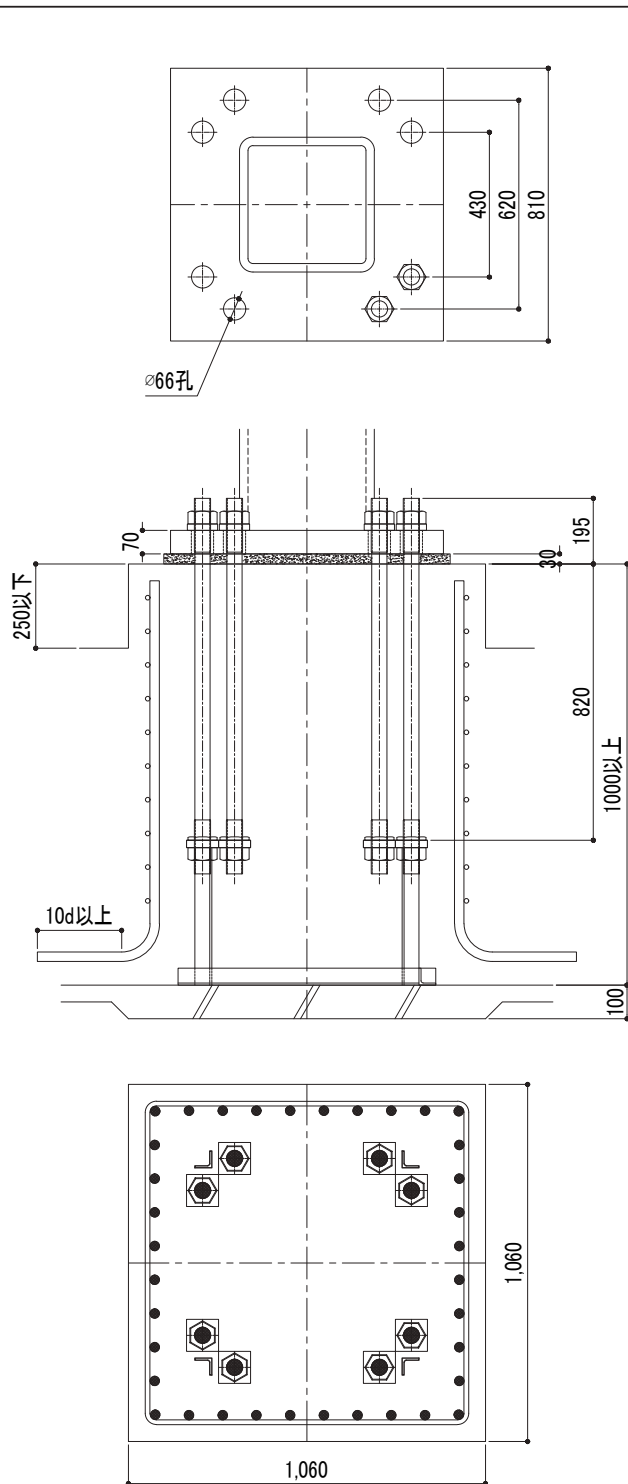
(単位:kN)

下限軸力	-3,161	BOPせん断耐力	505
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、36-D25の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 450		
適用鋼管	F値=235	9≦t≦25	
	F値=275	12≦t≦22	
	F値=295	9≦t≦22	
	F値=325	9≦t≦16	
アンカーボルト	4-M36		
ベースプレート	620×620×32		
柱形断面	850×850 (980×980)* ¹		
主筋* ²	28-D19	20-D22	16-D25
帯筋	D13@100		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	125,000kN・m/rad)* ³		

※1：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※2：主筋に記載の本数－径の中から選択できます。

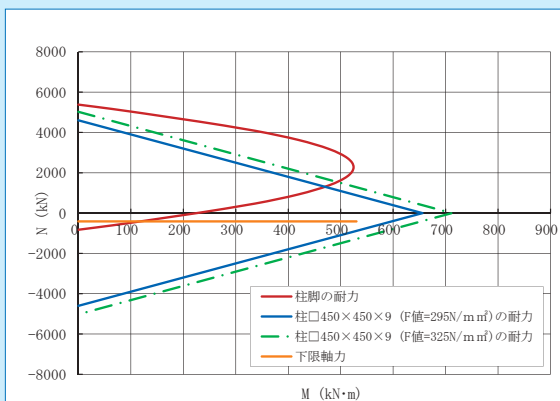
※3：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-413	BOPせん断耐力	170
------	------	----------	-----

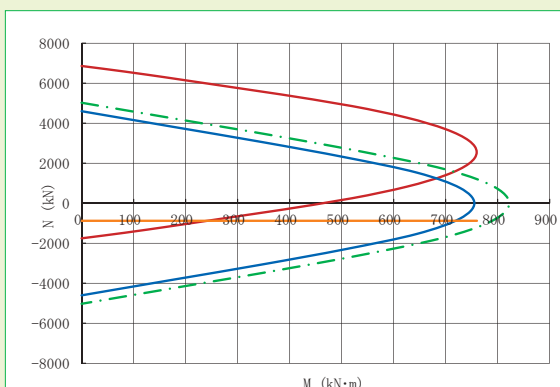


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

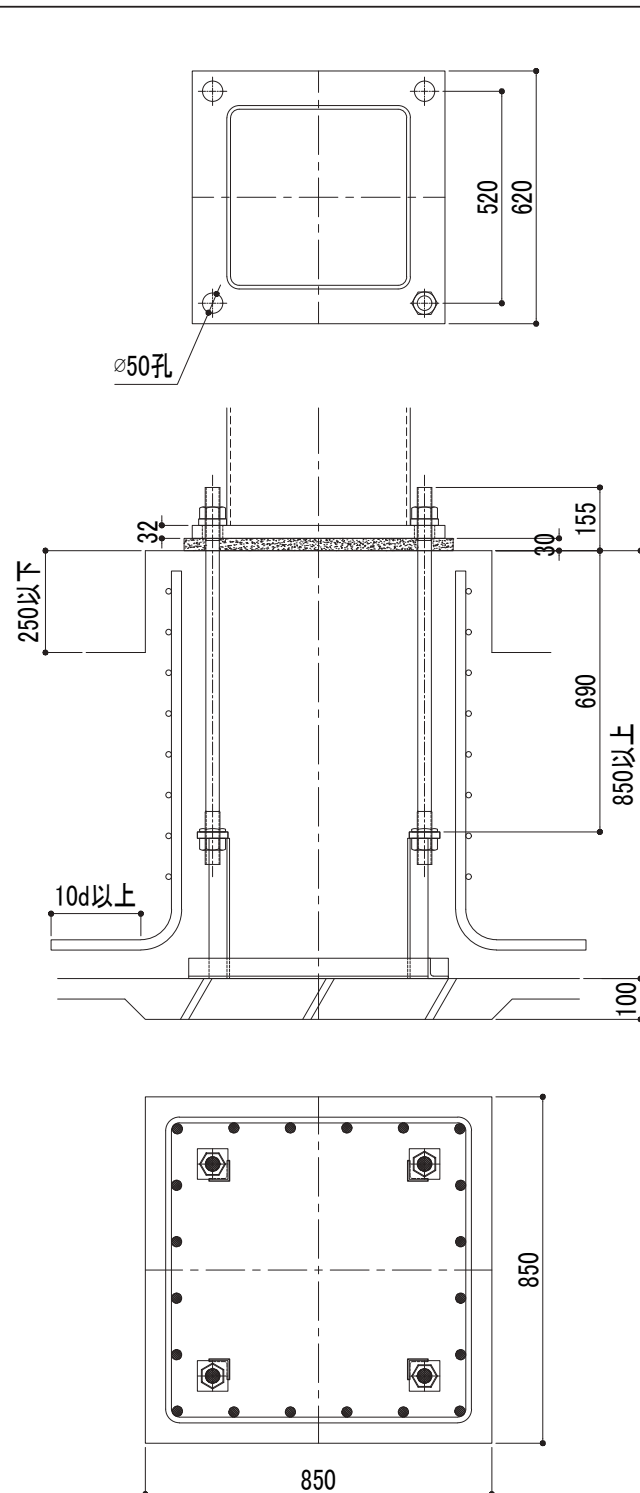
(単位:kN)

下限軸力	-876	BOPせん断耐力	226
------	------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、20-D22の場合を示す。

注意事項

- 杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- 下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- 柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工用の貫通孔を加工した柱脚です。

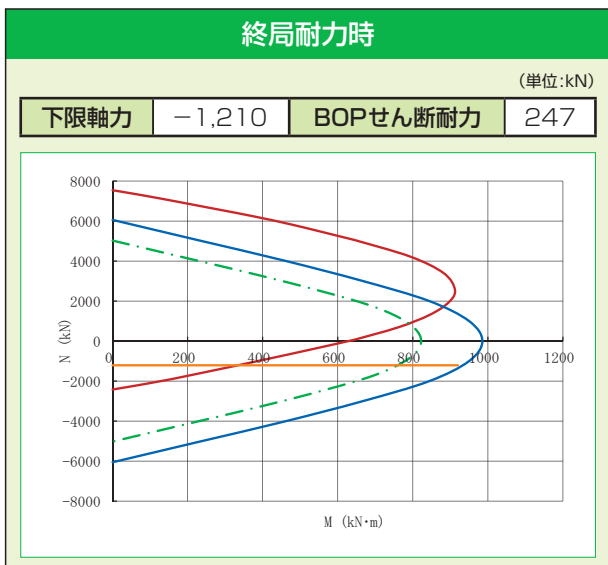
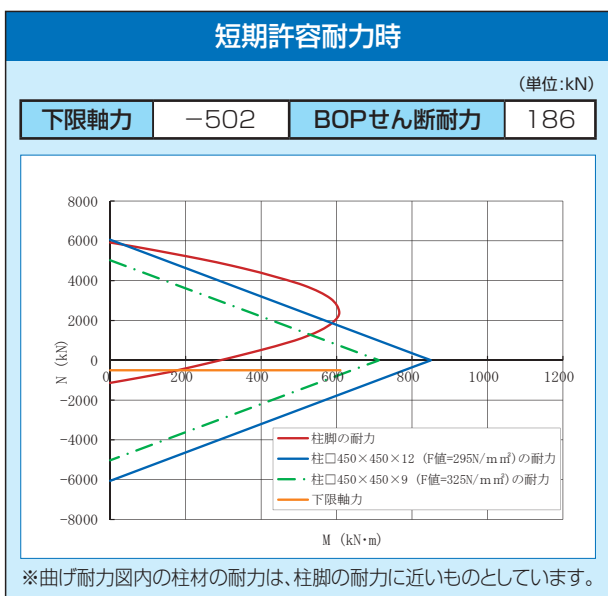
鋼管サイズ	□ 450		
適用鋼管	F値=235	9≦t≦32	
	F値=275	12≦t≦28	
	F値=295	9≦t≦25	
	F値=325	9≦t≦22	
アンカーボルト	8-M30		
ベースプレート	650×650×36		
柱形断面	870×870 (1110×1110)※ ¹		
主 筋※ ²	28-D22	24-D25	24-D29
帯 筋	D13@100		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	174,000kN・m/rad※ ³		

※¹：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※²：主筋に記載の本数一径の中から選択できます。

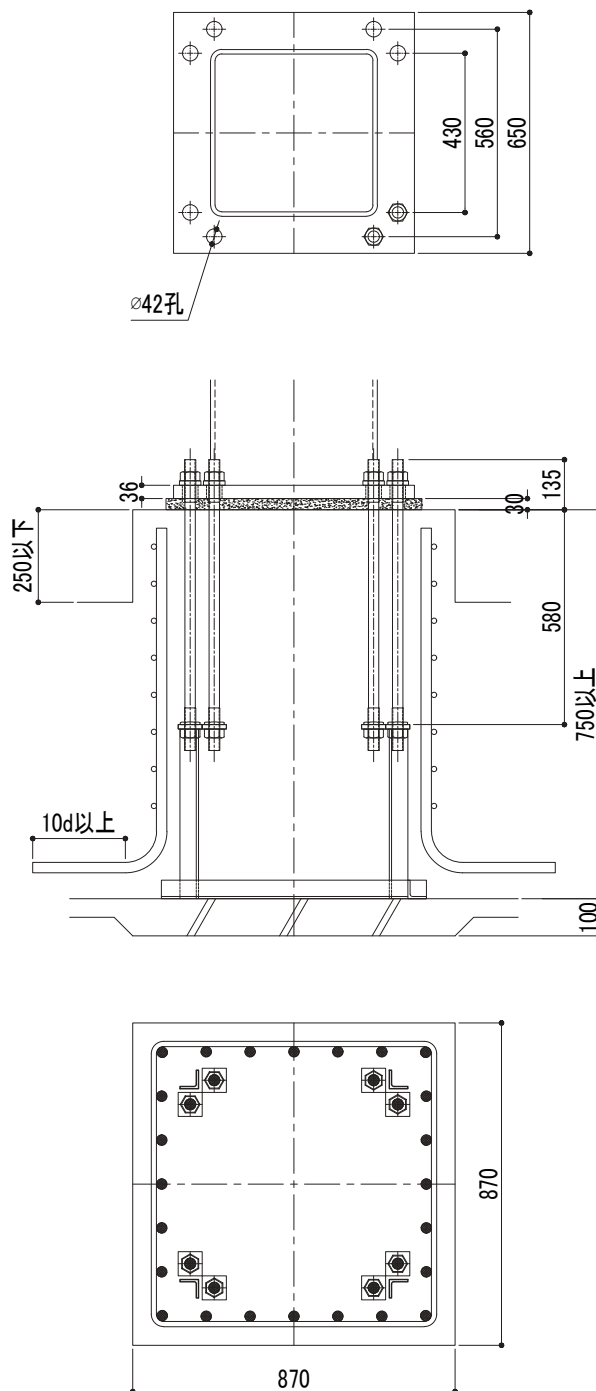
※³：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、24-D25の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工用の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 450		
適用鋼管	F値=235	12≦t≦32	
	F値=275	12≦t≦32	
	F値=295	9≦t≦28	
	F値=325	9≦t≦28	
アンカーボルト	8-M36		
ベースプレート	670×670×40		
柱形断面	890×890 (1160×1160)* ¹		
主 筋* ²	28-D22	24-D25	20-D29
帯 筋	D13@100		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	178,000kN・m/rad* ³		

※1：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※2：主筋に記載の本数－径の中から選択できます。

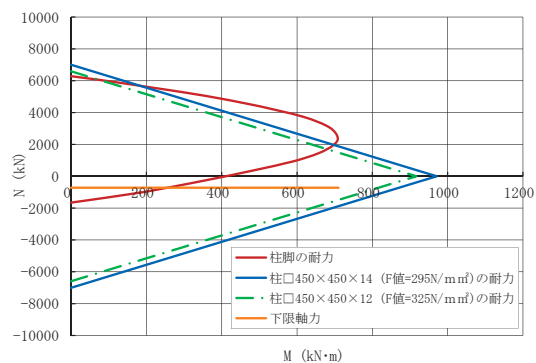
※3：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-718	BOPせん断耐力	196
------	------	----------	-----

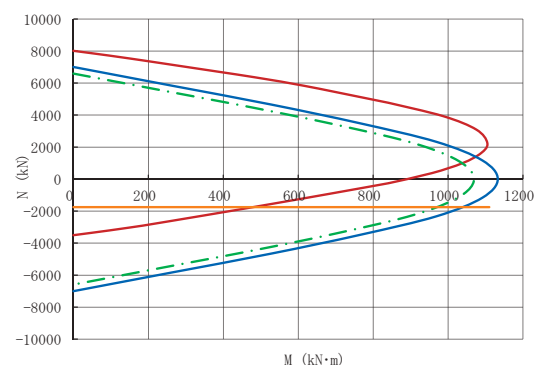


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

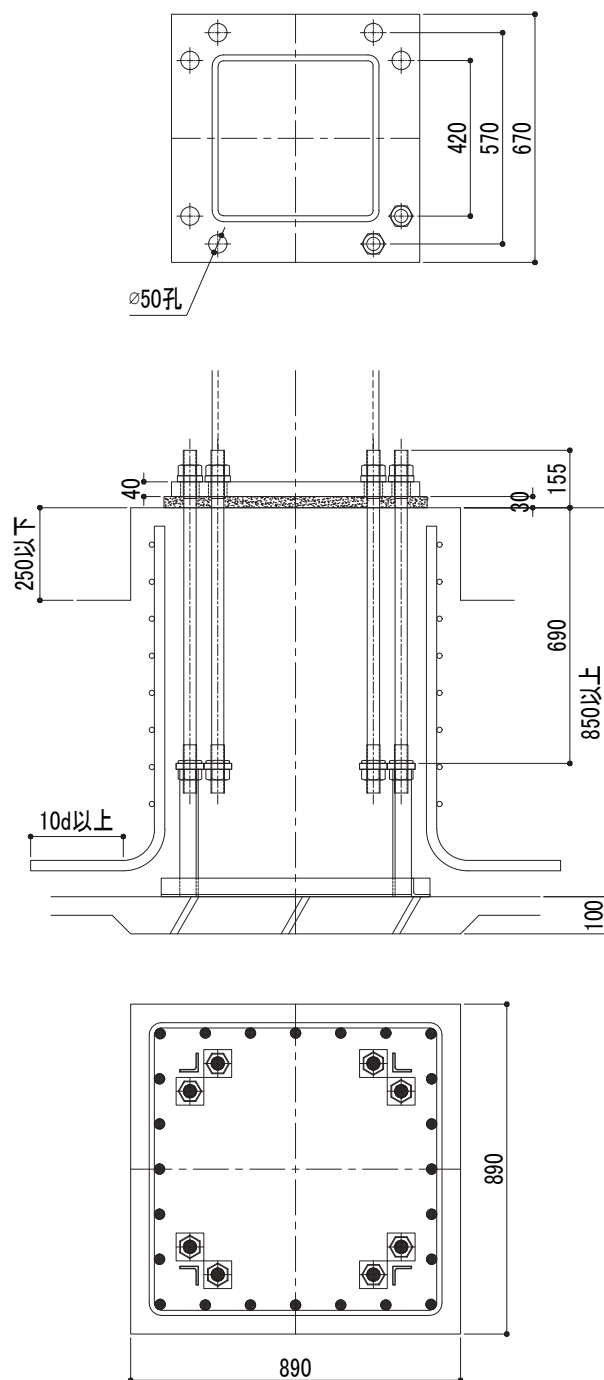
(単位:kN)

下限軸力	-1,753	BOPせん断耐力	262
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、24-D25の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工用の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 450		
適用鋼管	F値=235	16≦t≦32	
	F値=275	12≦t≦32	
	F値=295	12≦t≦28	
	F値=325	12≦t≦32	
アンカーボルト	8-M42		
ベースプレート	690×690×45		
柱形断面	910×910 (1240×1240)※ ¹		
主 筋※ ²	32-D22	28-D25	20-D29
帯 筋	D13@100		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	190,000kN・m/rad※ ³		

※1：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※2：主筋に記載の本数一径の中から選択できます。

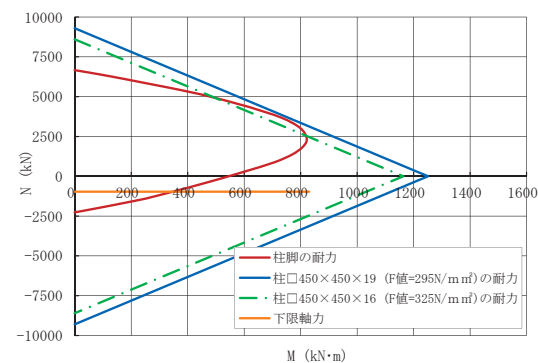
※3：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-968	BOPせん断耐力	248
------	------	----------	-----

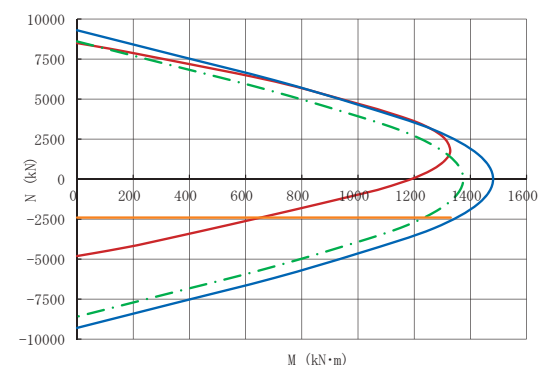


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

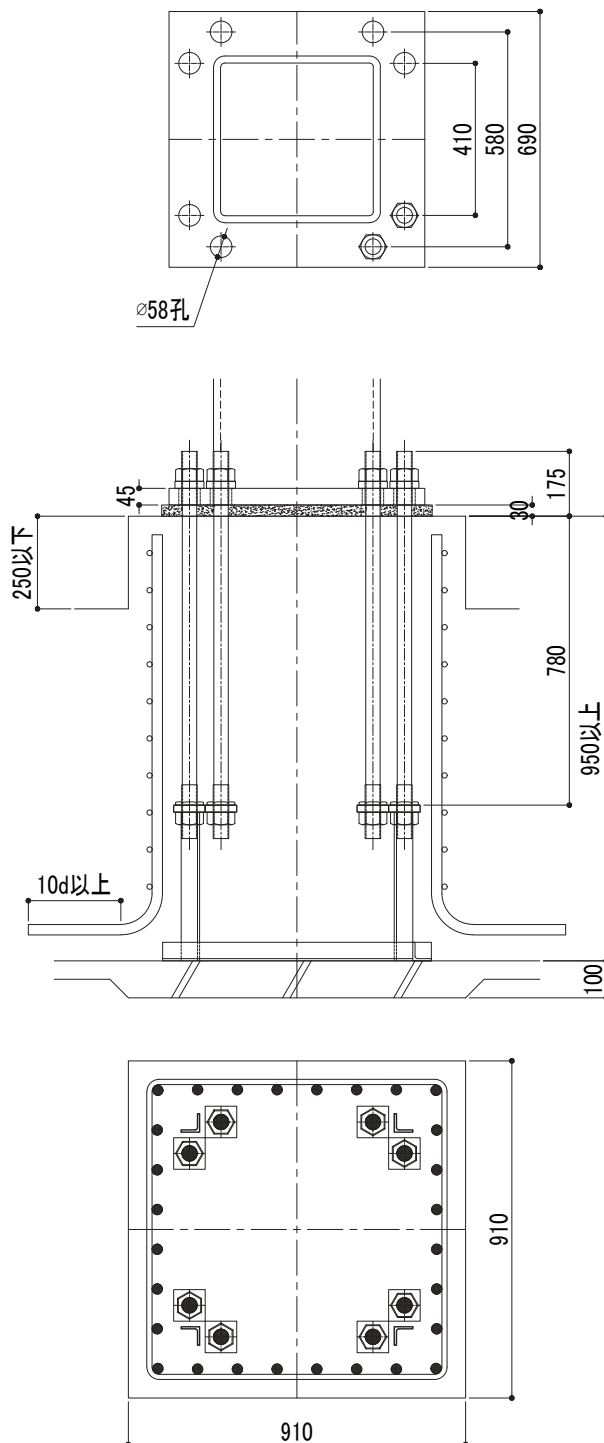
(単位:kN)

下限軸力	-2,405	BOPせん断耐力	331
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、28-D25の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工用の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 450		
適用鋼管	F値=235	22≦t≦32	
	F値=275	16≦t≦32	
	F値=295	16≦t≦28	
	F値=325	16≦t≦32	
アンカーボルト	8-M48		
ベースプレート	730×730×55		
柱形断面	960×960 (1260×1260)* ¹		
主 筋* ²	32-D25	28-D29	24-D32
帯 筋	D13@100		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	231,000kN・m/rad* ³		

※1：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※2：主筋に記載の本数－径の中から選択できます。

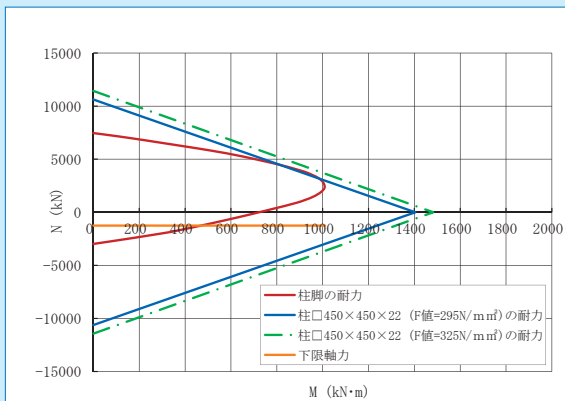
※3：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-1,255	BOPせん断耐力	319
------	--------	----------	-----

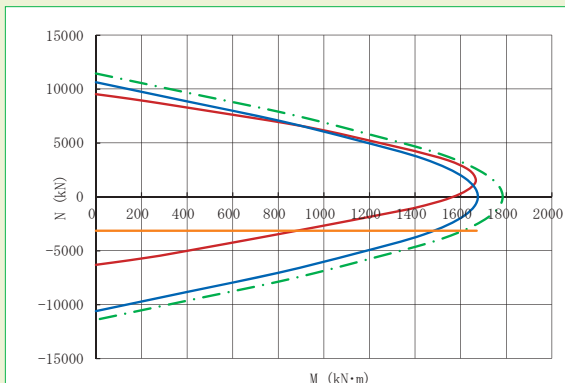


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

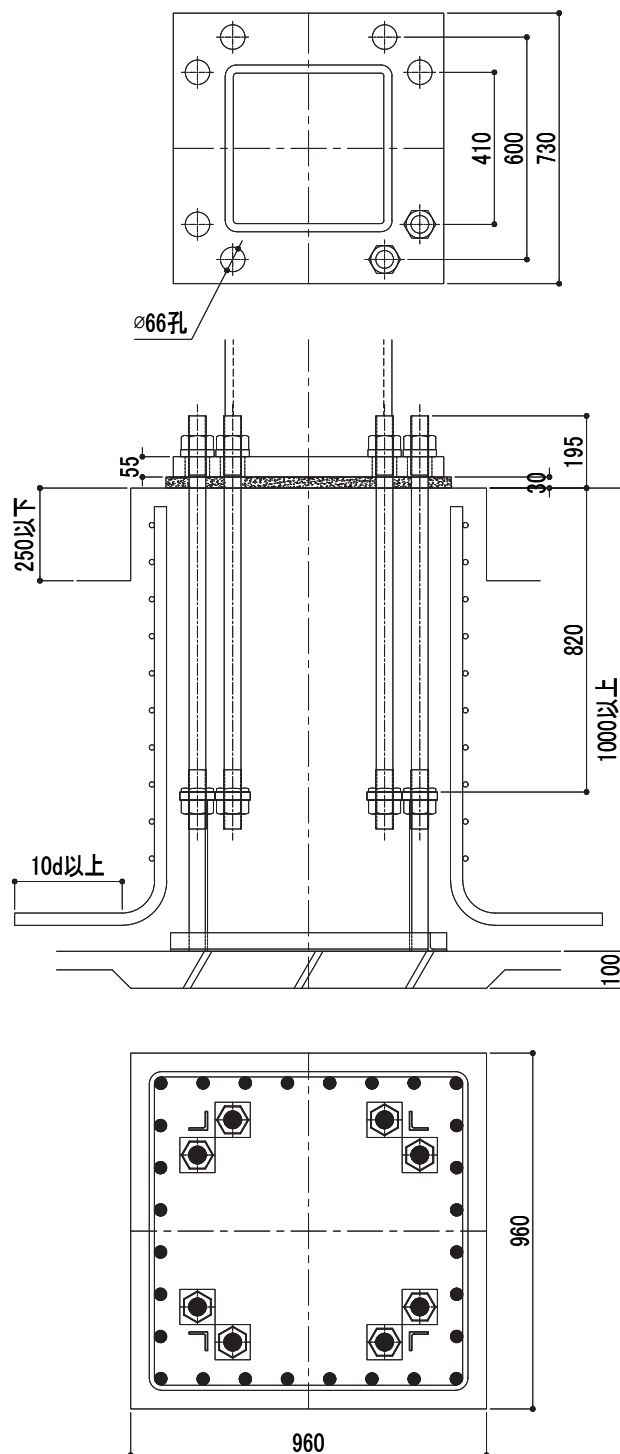
(単位:kN)

下限軸力	-3,161	BOPせん断耐力	426
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、28-D29の場合を示す。

注意事項

- 杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- 下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- 柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 450		
適用鋼管	F値=235	28≦t≦32	
	F値=275	22≦t≦32	
	F値=295	19≦t≦28	
	F値=325	19≦t≦32	
アンカーボルト	12-M48		
ベースプレート	730×730×80		
柱形断面	1020×1020 (1260×1260)※ ¹		
主 筋※ ²	36-D25	32-D29	28-D32
帯 筋	D13@100		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	282,000kN・m/rad※ ³		

※¹：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※²：主筋に記載の本数一径の中から選択できます。

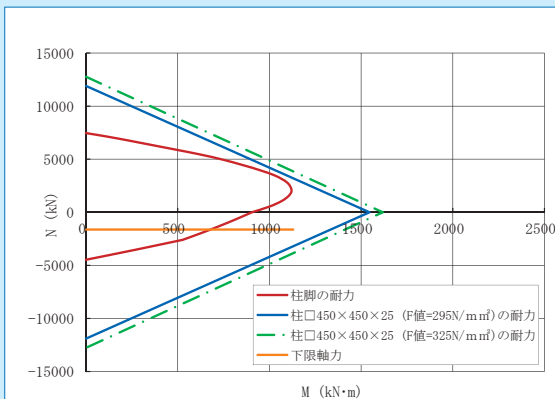
※³：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-1,627	BOPせん断耐力	319
------	--------	----------	-----

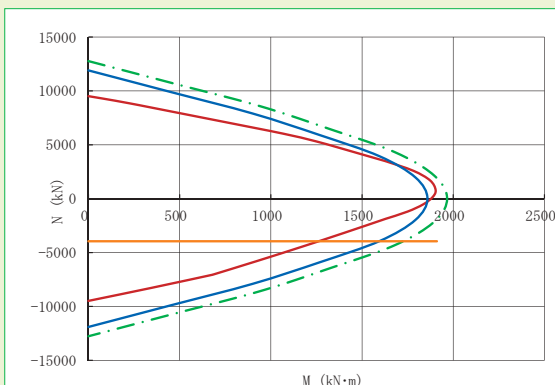


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

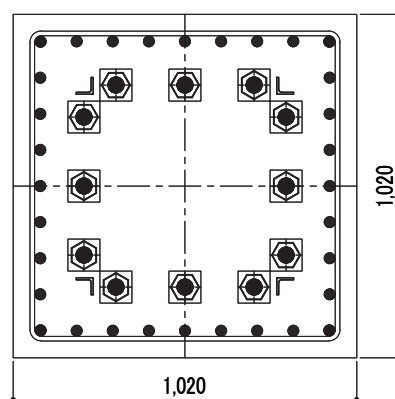
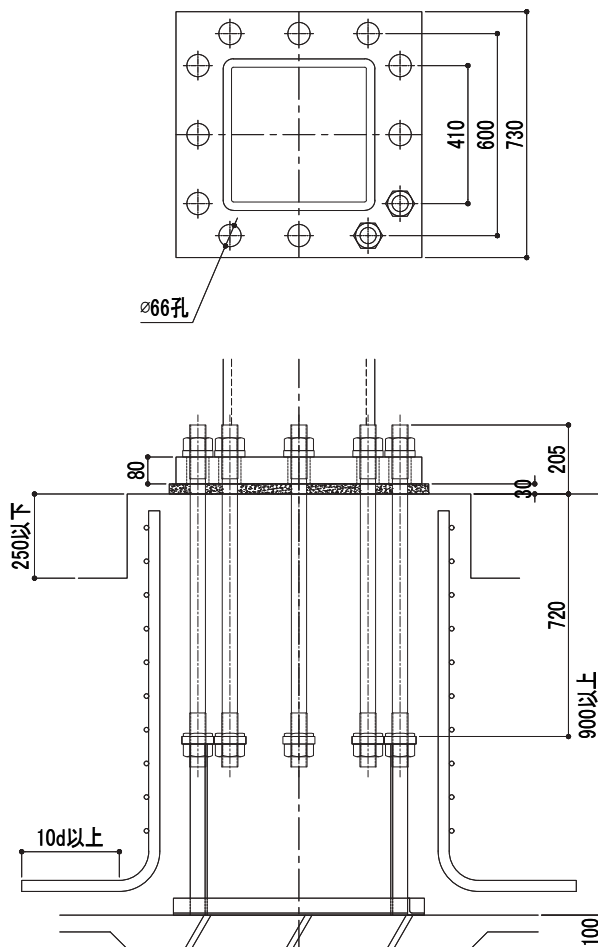
(単位:kN)

下限軸力	-3,952	BOPせん断耐力	426
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、32-D29の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※ Gシリーズはベースプレートにめっき施工用の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 500		
適用鋼管	F値=235	12≦t≦38	
	F値=275	12≦t≦32	
	F値=295	9≦t≦28	
	F値=325	9≦t≦25	
アンカーボルト	8-M36		
ベースプレート	720×720×40		
柱形断面	940×940 (1240×1240)* ¹		
主 筋* ²	32-D22	28-D25	24-D29
帯 筋	D13@100		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	234,000kN・m/rad* ³		

※ 1：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※ 2：主筋に記載の本数－径の中から選択できます。

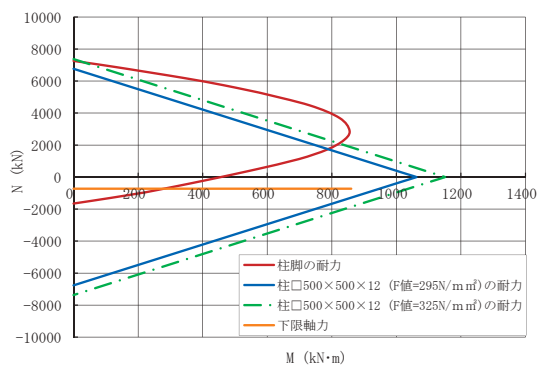
※ 3：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-727	BOPせん断耐力	201
------	------	----------	-----

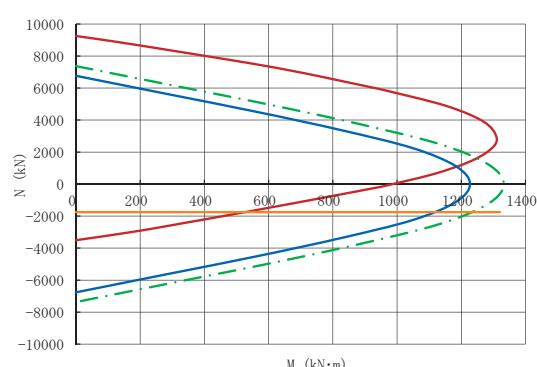


※ 曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

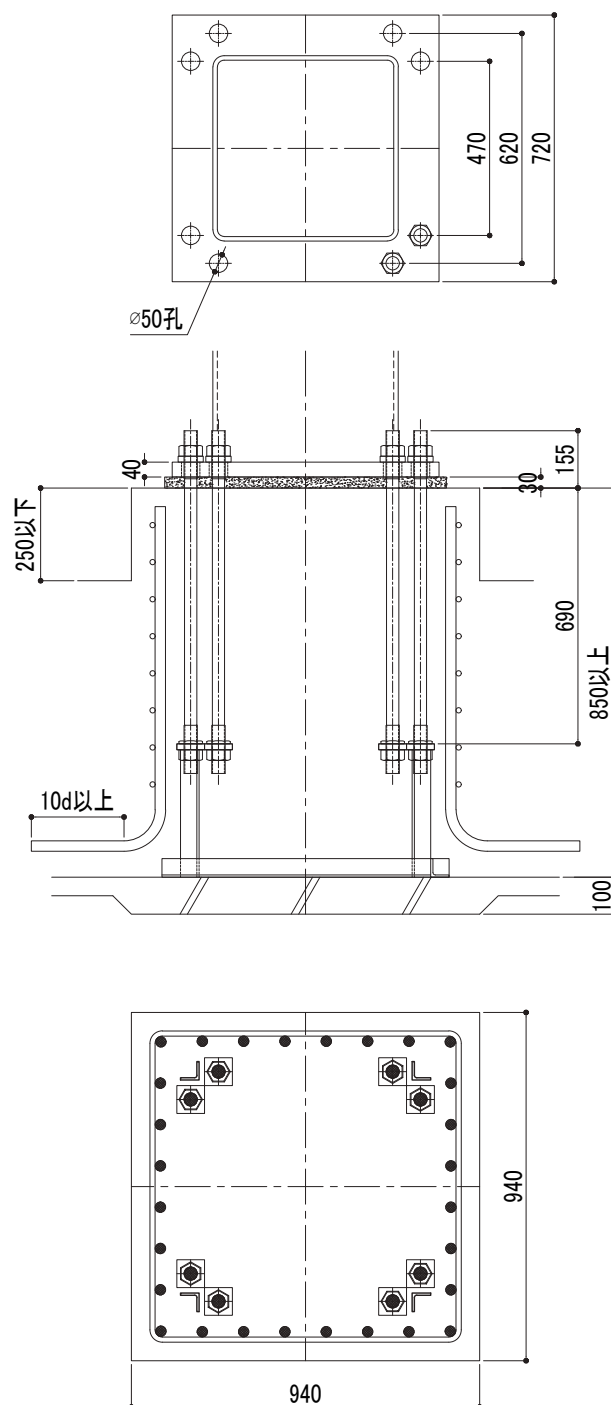
(単位:kN)

下限軸力	-1,753	BOPせん断耐力	269
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、28-D25の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

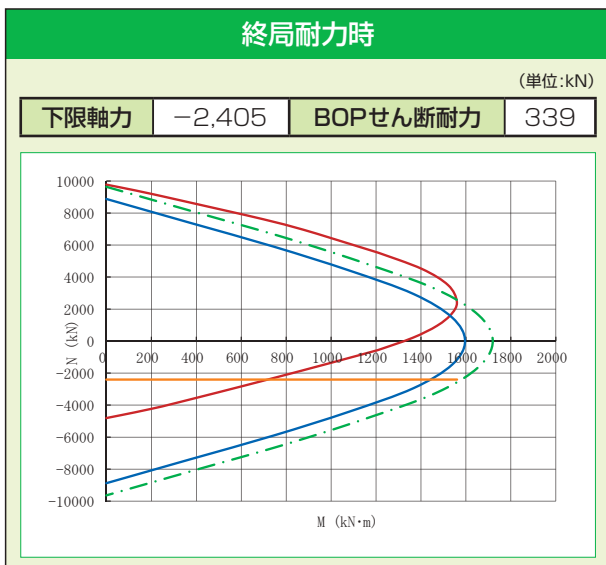
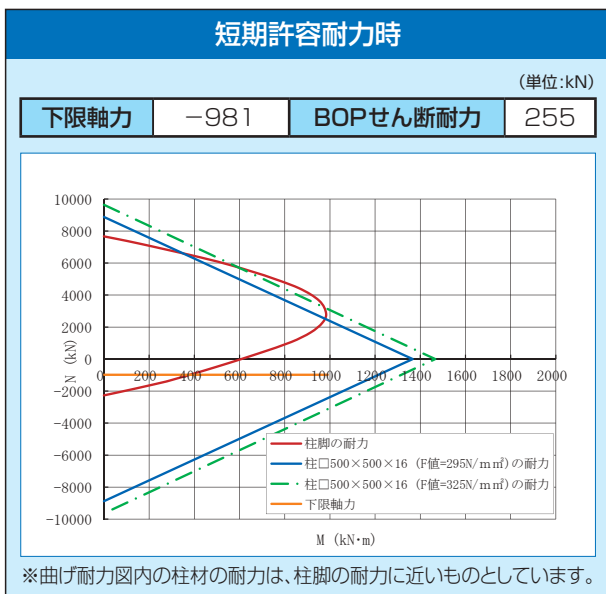
鋼管サイズ	□ 500		
適用鋼管	F値=235	16≦t≦38	
	F値=275	12≦t≦36	
	F値=295	12≦t≦28	
	F値=325	12≦t≦32	
アンカーボルト	8-M42		
ベースプレート	740×740×45		
柱形断面	970×970 (1260×1260)※ ¹		
主 筋※ ²	28-D25	24-D29	20-D32
帯 筋	D13@100		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	247,000kN・m/rad※ ³		

※1：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※2：主筋に記載の本数一径の中から選択できます。

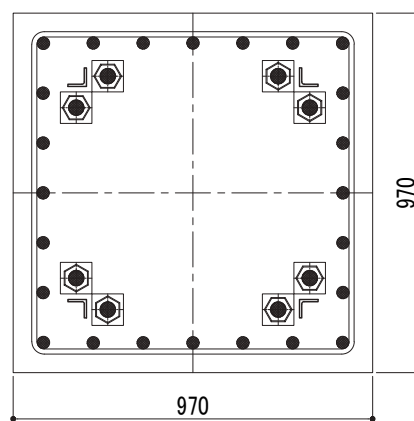
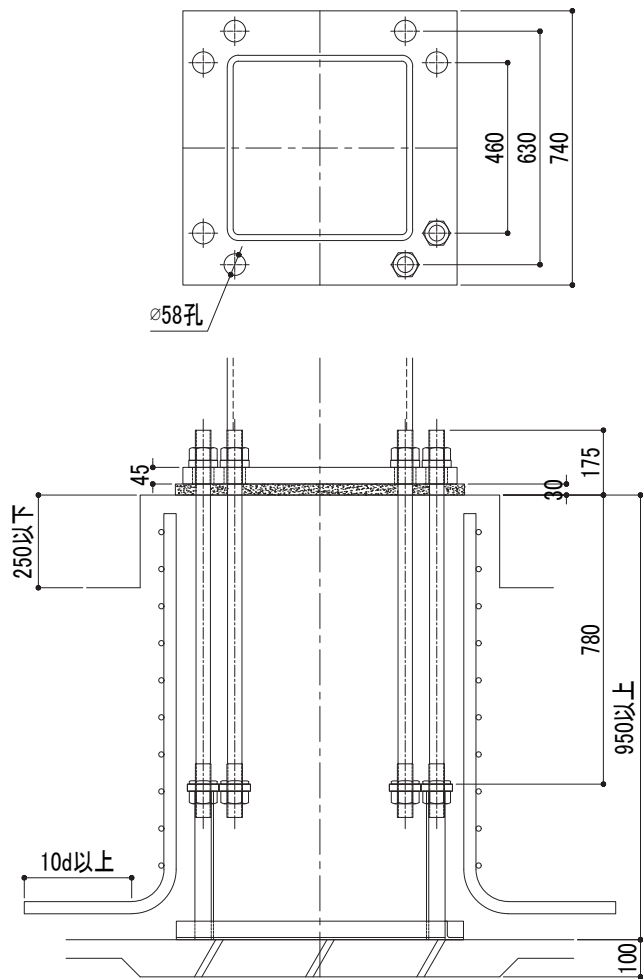
※3：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、24-D29の場合を示す。

注意事項

- 杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- 下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- 柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 500		
適用鋼管	F値=235	22≦t≦38	
	F値=275	19≦t≦36	
	F値=295	16≦t≦28	
	F値=325	19≦t≦38	
アンカーボルト	8-M52		
ベースプレート	800×800×55		
柱形断面	1050×1050 (1260×1260)*1		
主 筋*2	40-D25	32-D29	28-D32
帯 筋	D13@100		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	316,000kN・m/rad*3		

※1：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※2：主筋に記載の本数－径の中から選択できます。

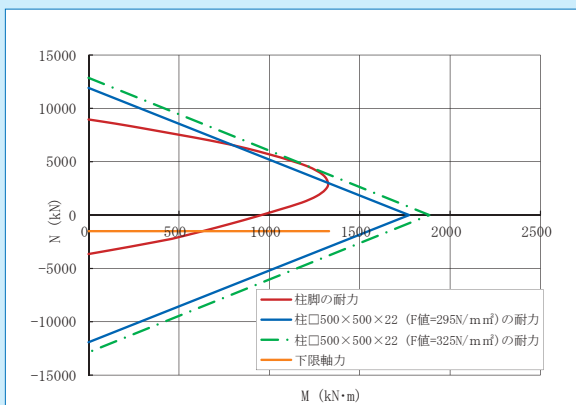
※3：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-1,508	BOPせん断耐力	341
------	--------	----------	-----

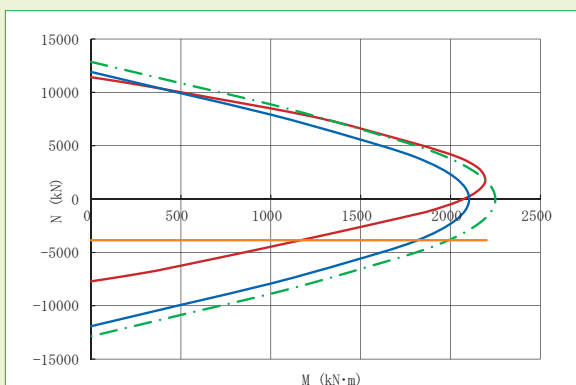


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

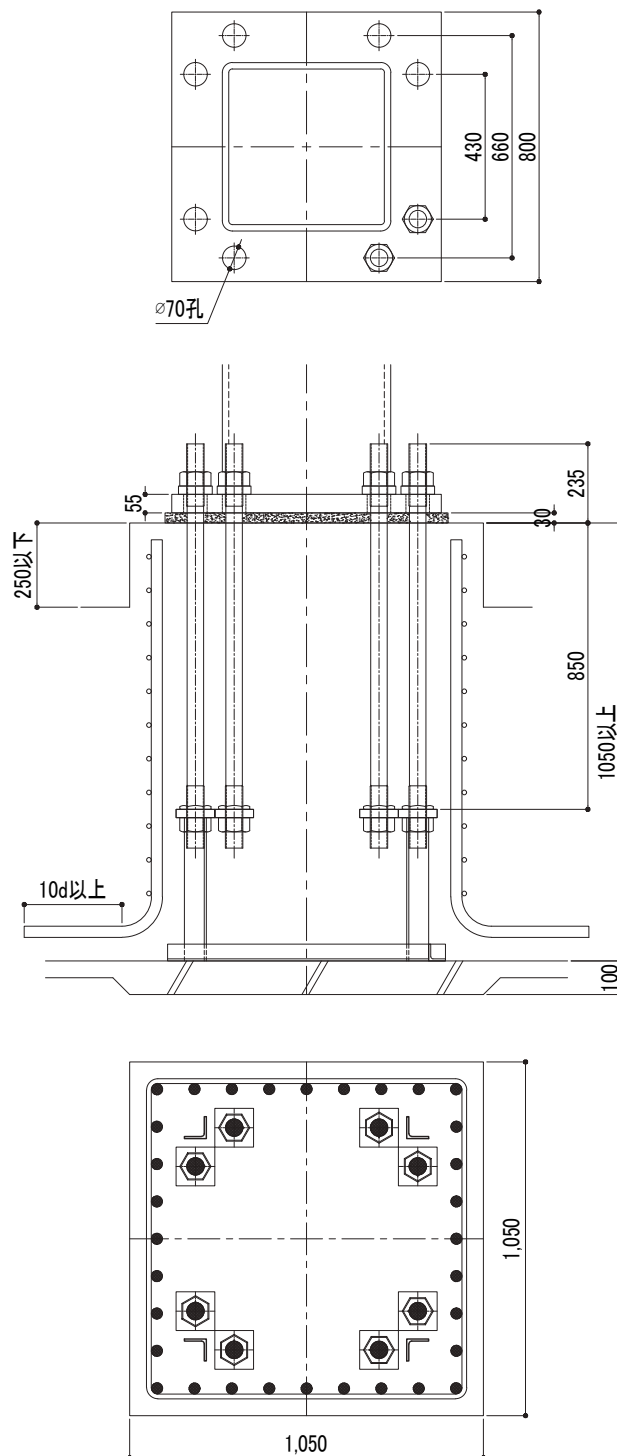
(単位:kN)

下限軸力	-3,856	BOPせん断耐力	455
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、32-D29の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 500		
適用鋼管	F値=235	32≦t≦38	
	F値=275	25≦t≦36	
	F値=295	25≦t≦28	
	F値=325	25≦t≦38	
アンカーボルト	8-M60		
ベースプレート	870×870×65		
柱形断面	1140×1140 (1260×1260)※ ¹		
主 筋※ ²	44-D25	36-D29	28-D32
帯 筋	D13@100		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	380,000kN・m/rad※ ³		

※¹：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※²：主筋に記載の本数一径の中から選択できます。

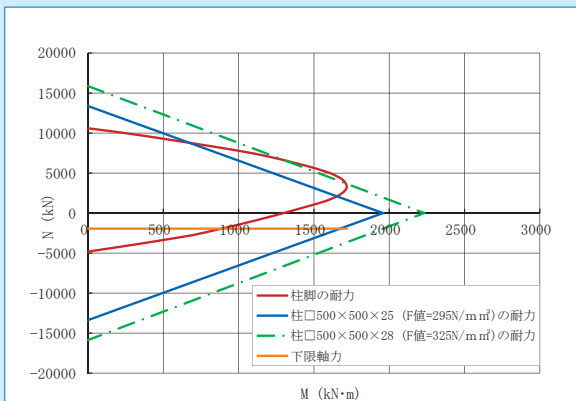
※³：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-1,947	BOPせん断耐力	393
------	--------	----------	-----

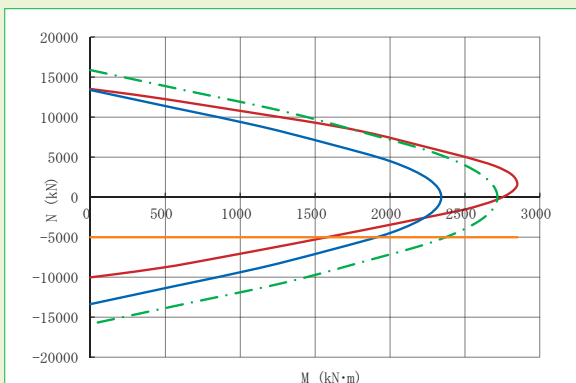


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

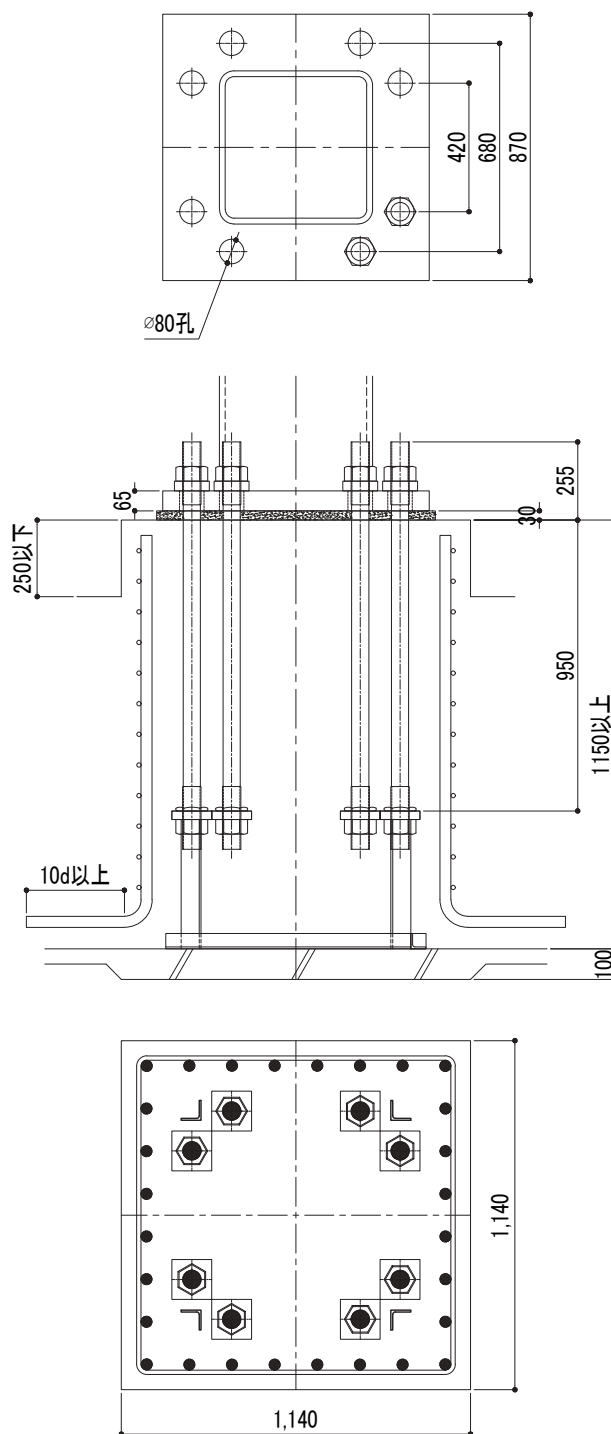
(単位:kN)

下限軸力	-5,018	BOPせん断耐力	525
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、28-D32の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工用の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 500		
適用鋼管	F値=235	*	
	F値=275	32≦t≦36	
	F値=295	t=28	
	F値=325	28≦t≦38	
アンカーボルト	8-M60		
ベースプレート	960×960×80		
柱形断面	1280×1280 (1790×1790)※ ¹		
主筋※ ²	52-D25	40-D29	36-D32
帯筋	D16@100		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	516,000kN・m/rad※ ³		

※¹：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※²：主筋に記載の本数－径の中から選択できます。

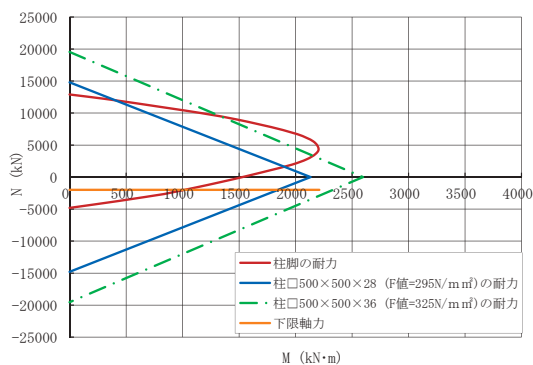
※³：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-1,995	BOPせん断耐力	592
------	--------	----------	-----

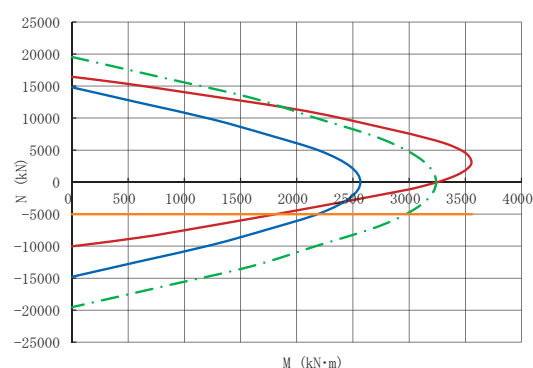


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

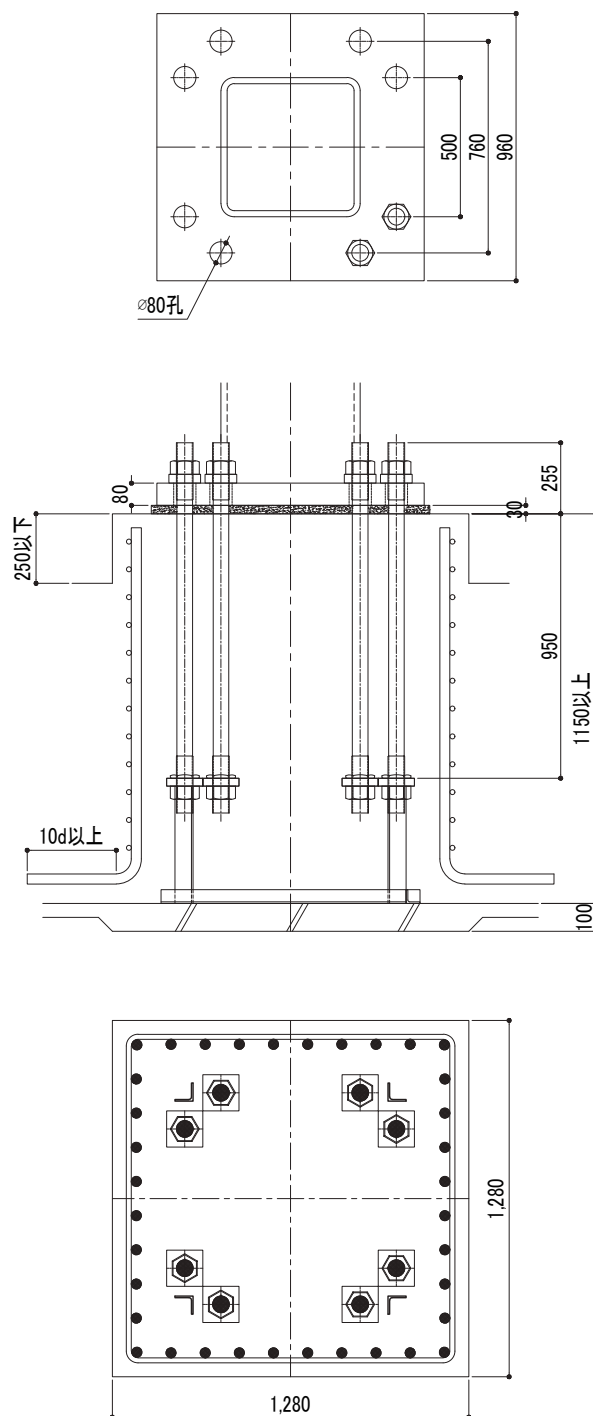
(単位:kN)

下限軸力	-5,018	BOPせん断耐力	789
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、36-D32の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工用の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 500		
適用鋼管	F値=235	*	
	F値=275	t=36	
	F値=295	*	
	F値=325	36≦t≦38	
アンカーボルト	8-M68		
ベースプレート	960×960×90		
柱形断面	1310×1310 (1730×1730)※ ¹		
主 筋※ ²	48-D25	40-D29	32-D32
帯 筋	D16@100		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	476,000kN・m/rad※ ³		

※¹：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※²：主筋に記載の本数一径の中から選択できます。

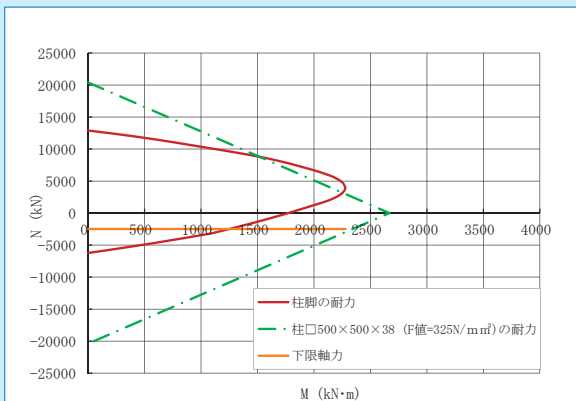
※³：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-2,488	BOPせん断耐力	592
------	--------	----------	-----

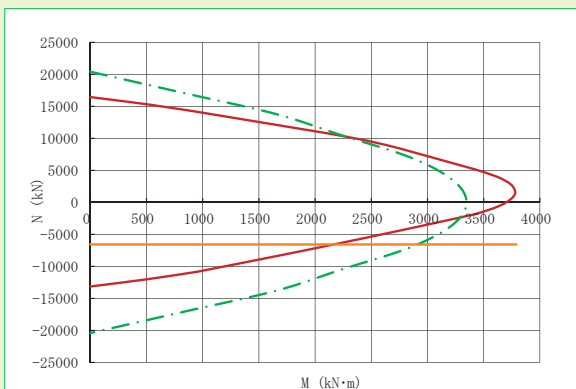


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

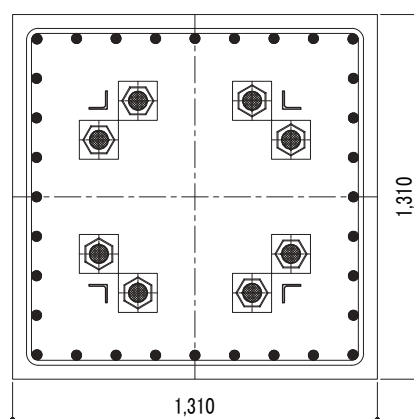
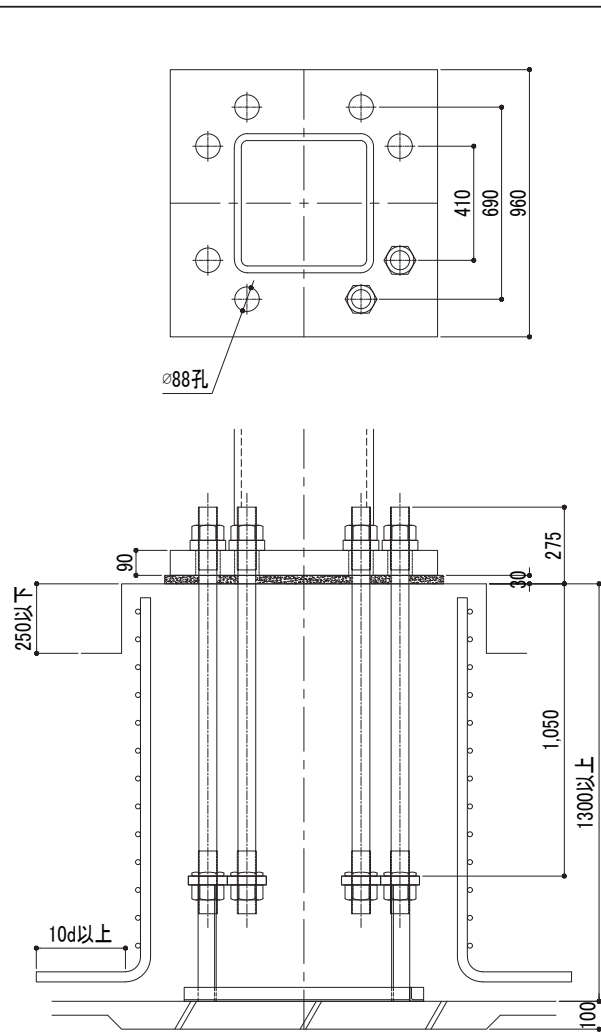
(単位:kN)

下限軸力	-6,569	BOPせん断耐力	789
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、32-D32の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 550		
適用鋼管	F値=235	12≦t≦40	
	F値=275	16≦t≦36	
	F値=295	12≦t≦28	
	F値=325	9≦t≦28	
アンカーボルト	8-M42		
ベースプレート	790×790×45		
柱形断面	1040×1040 (1260×1260)*1		
主 筋*2	40-D22	32-D25	28-D29
帯 筋	D13@100		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	316,000kN・m/rad*3		

※¹：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※²：主筋に記載の本数－径の中から選択できます。

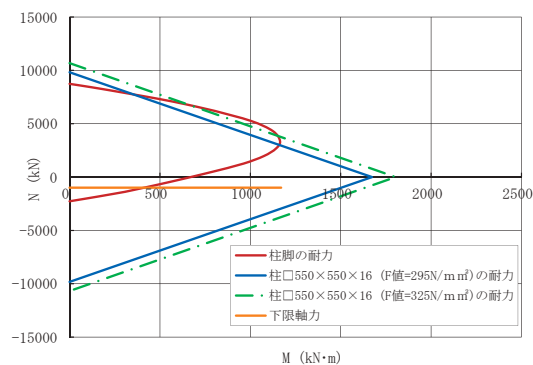
※³：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-993	BOPせん断耐力	286
------	------	----------	-----

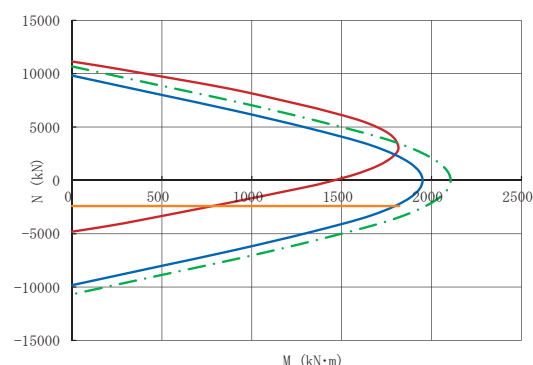


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

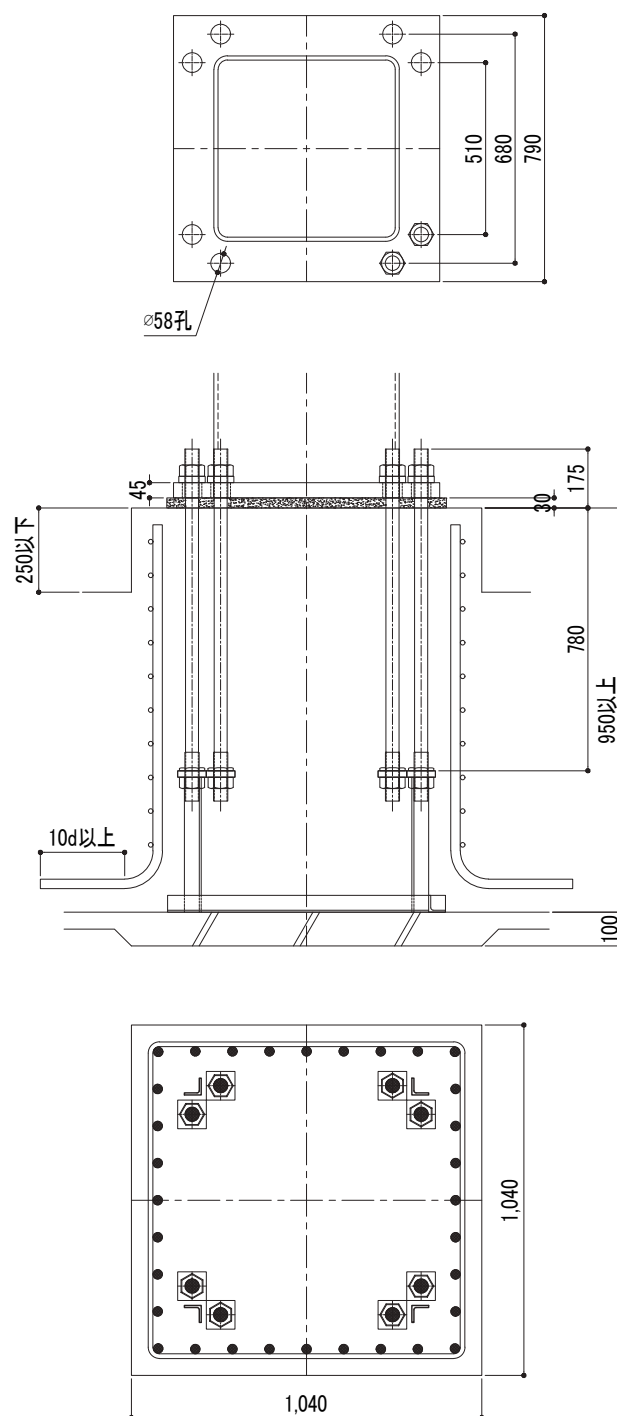
(単位:kN)

下限軸力	-2,405	BOPせん断耐力	382
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、32-D25の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工用の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 550		
適用鋼管	F値=235	16≦t≦40	
	F値=275	16≦t≦40	
	F値=295	12≦t≦28	
	F値=325	12≦t≦38	
アンカーボルト	8-M48		
ベースプレート	830×830×50		
柱形断面	1090×1090 (1260×1260)※ ¹		
主 筋※ ²	40-D25	32-D29	28-D32
帯 筋	D13@100		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	369,000kN・m/rad※ ³		

※¹：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※²：主筋に記載の本数一径の中から選択できます。

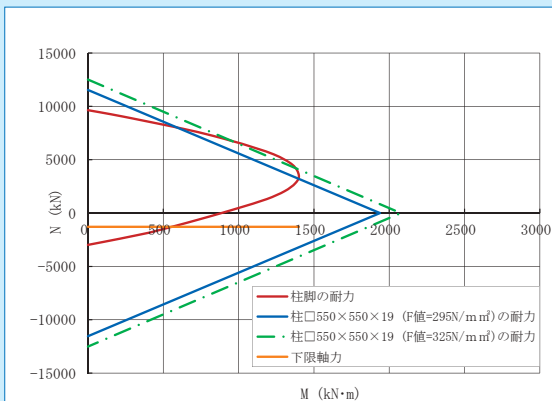
※³：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-1,288	BOPせん断耐力	364
------	--------	----------	-----

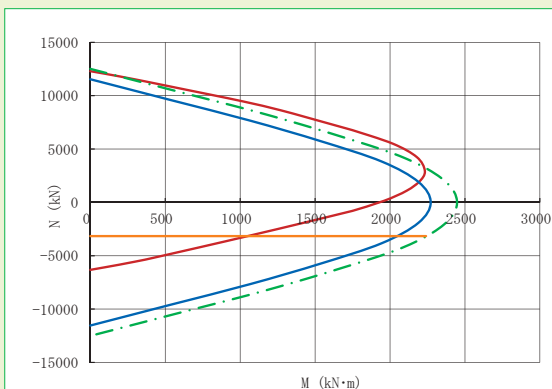


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

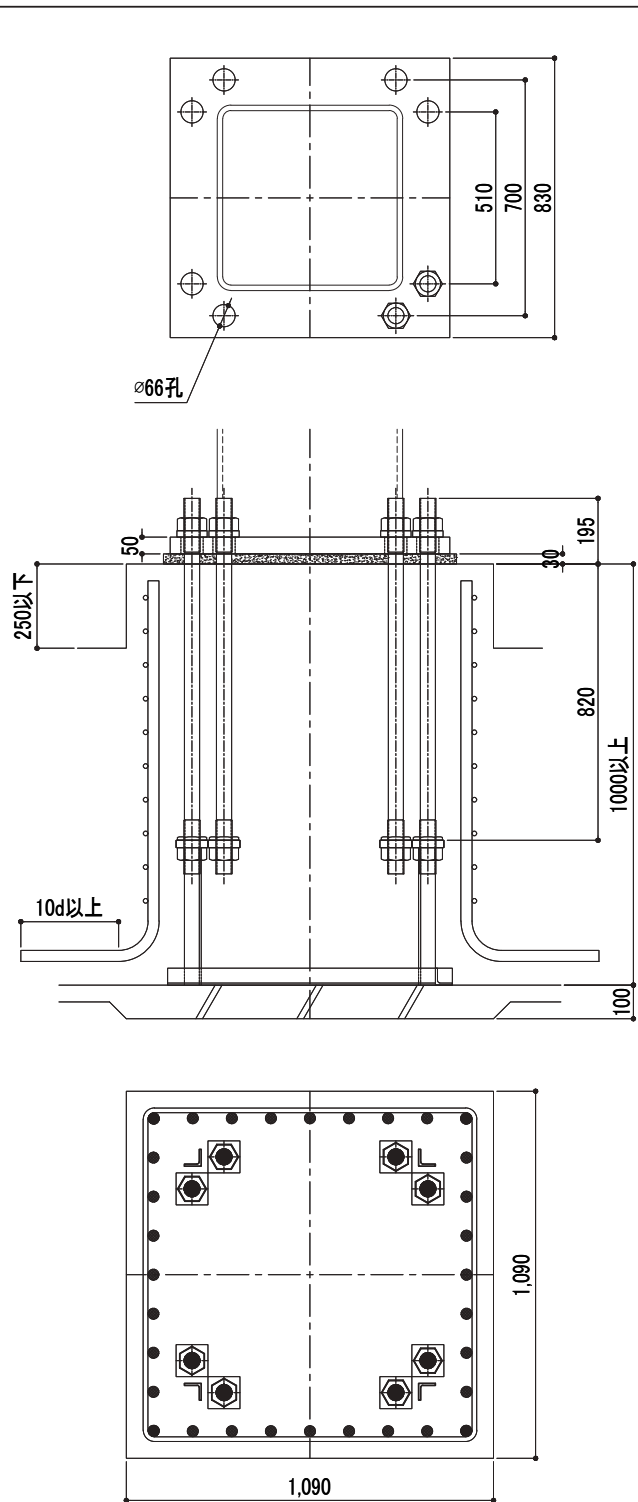
(単位:kN)

下限軸力	-3,161	BOPせん断耐力	485
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、32-D29の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 550	
適用鋼管	F値=235	25≤t≤40
	F値=275	19≤t≤40
	F値=295	19≤t≤28
	F値=325	19≤t≤40
アンカーボルト	8-M56	
ベースプレート	880×880×60	
柱形断面	1150×1150 (1260×1260)※ ¹	
主筋※ ²	36-D29	28-D32
帯筋	D13@100	
最小コンクリート強度	21N/mm ²	
回転剛性	427,000kN・m/rad※ ³	

※1：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※2：主筋に記載の本数－径の中から選択できます。

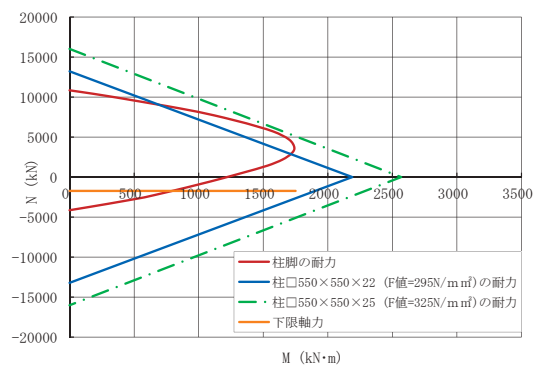
※3：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-1,730	BOPせん断耐力	458
------	--------	----------	-----

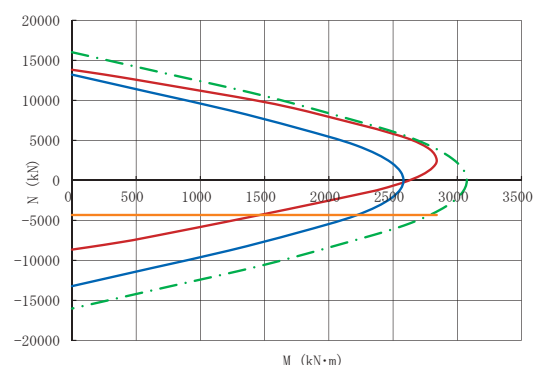


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

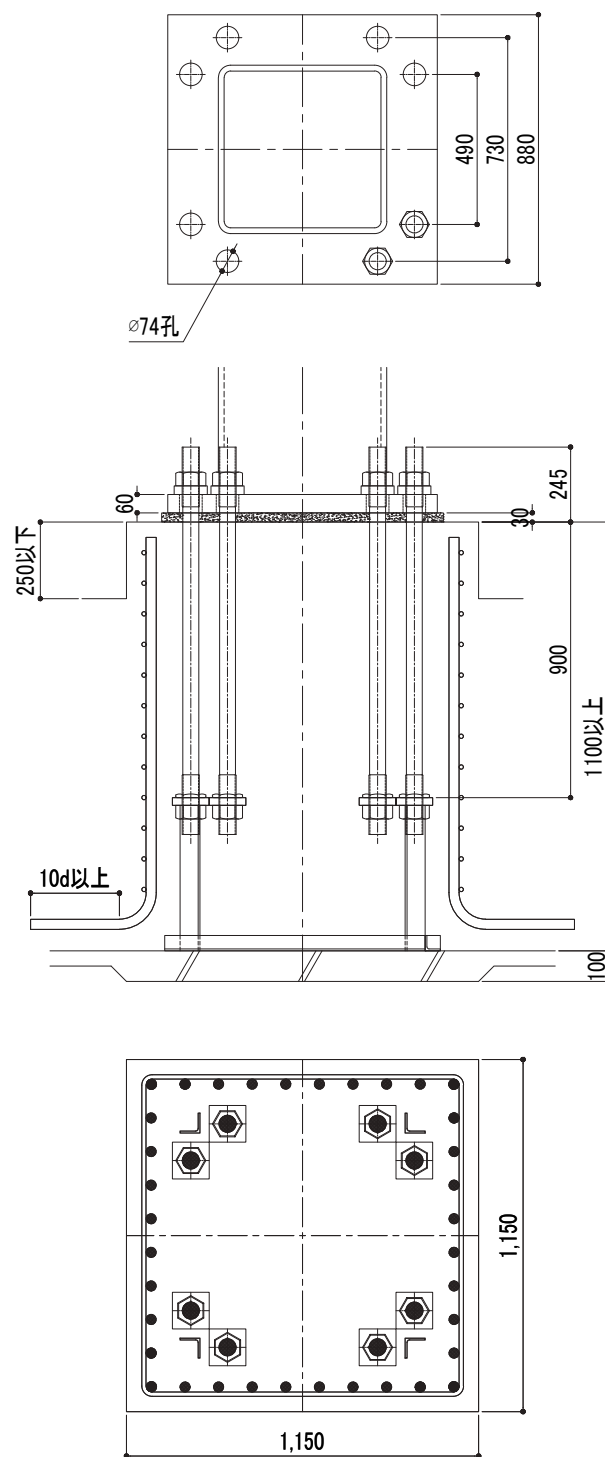
(単位:kN)

下限軸力	-4,325	BOPせん断耐力	611
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、36-D29の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

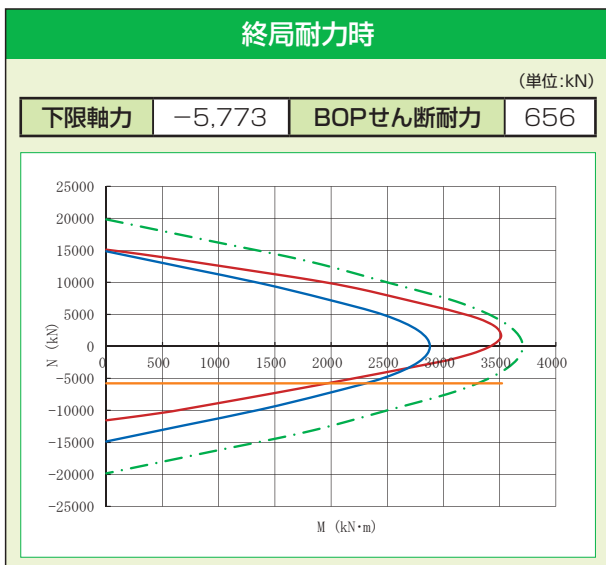
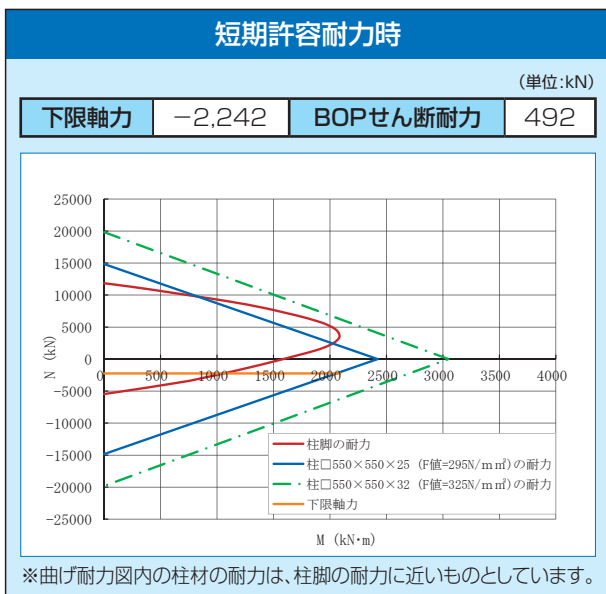
鋼管サイズ	□ 550		
適用鋼管	F値=235	32≦t≦40	
	F値=275	25≦t≦40	
	F値=295	25≦t≦28	
	F値=325	25≦t≦40	
アンカーボルト	8-M64		
ベースプレート	920×920×70		
柱形断面	1280×1280 (1740×1740)※ ¹		
主 筋※ ²	48-D25	40-D29	36-D32
帯 筋	D16@100		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	526,000kN・m/rad※ ³		

※¹：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※²：主筋に記載の本数一径の中から選択できます。

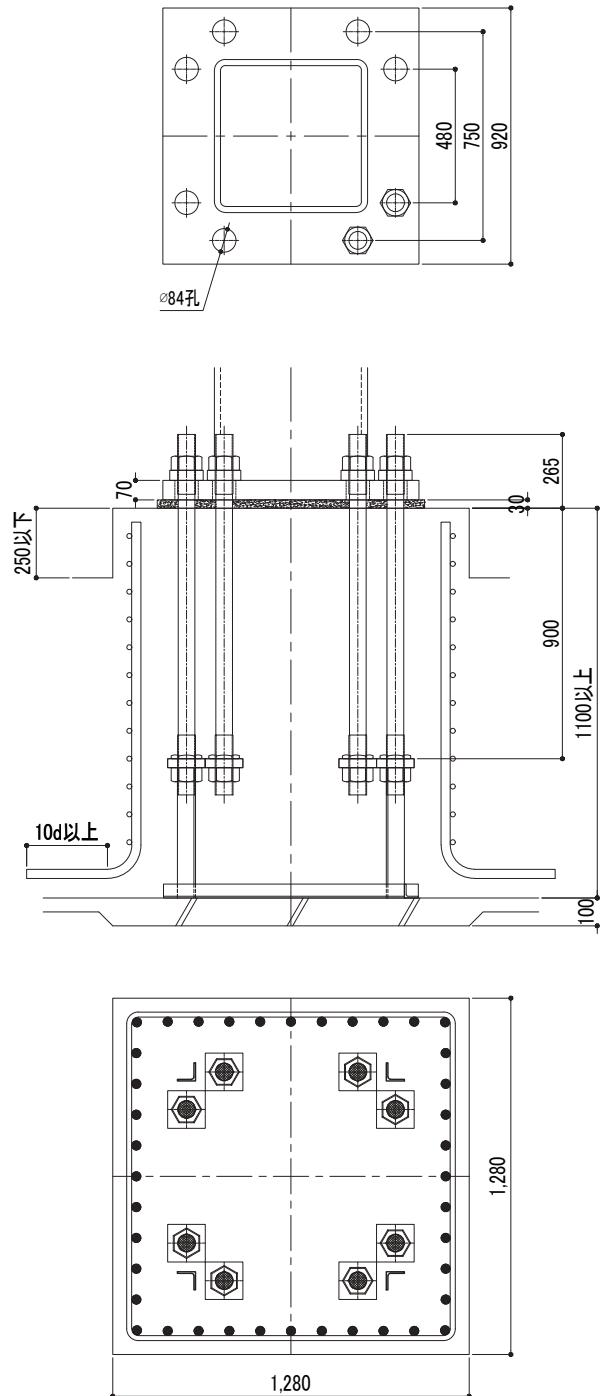
※³：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、40-D29の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 550		
適用鋼管	F値=235	36≦t≦40	
	F値=275	25≦t≦40	
	F値=295	25≦t≦28	
	F値=325	25≦t≦40	
アンカーボルト	8-M60		
ベースプレート	1010×1010×80		
柱形断面	1360×1360 (1790×1790)※ ¹		
主筋※ ²	52-D25	40-D29	36-D32
帯筋	D16@100		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	621,000kN・m/rad※ ³		

※¹：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※²：主筋に記載の本数－径の中から選択できます。

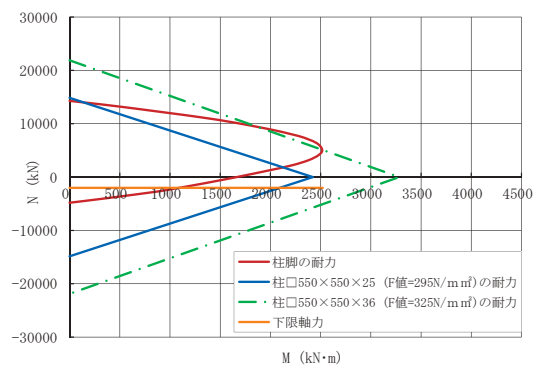
※³：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-2,021	BOPせん断耐力	619
------	--------	----------	-----

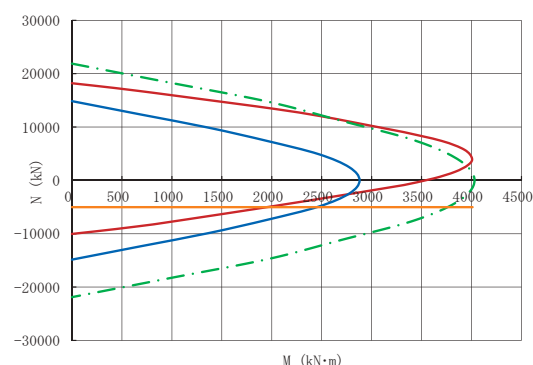


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

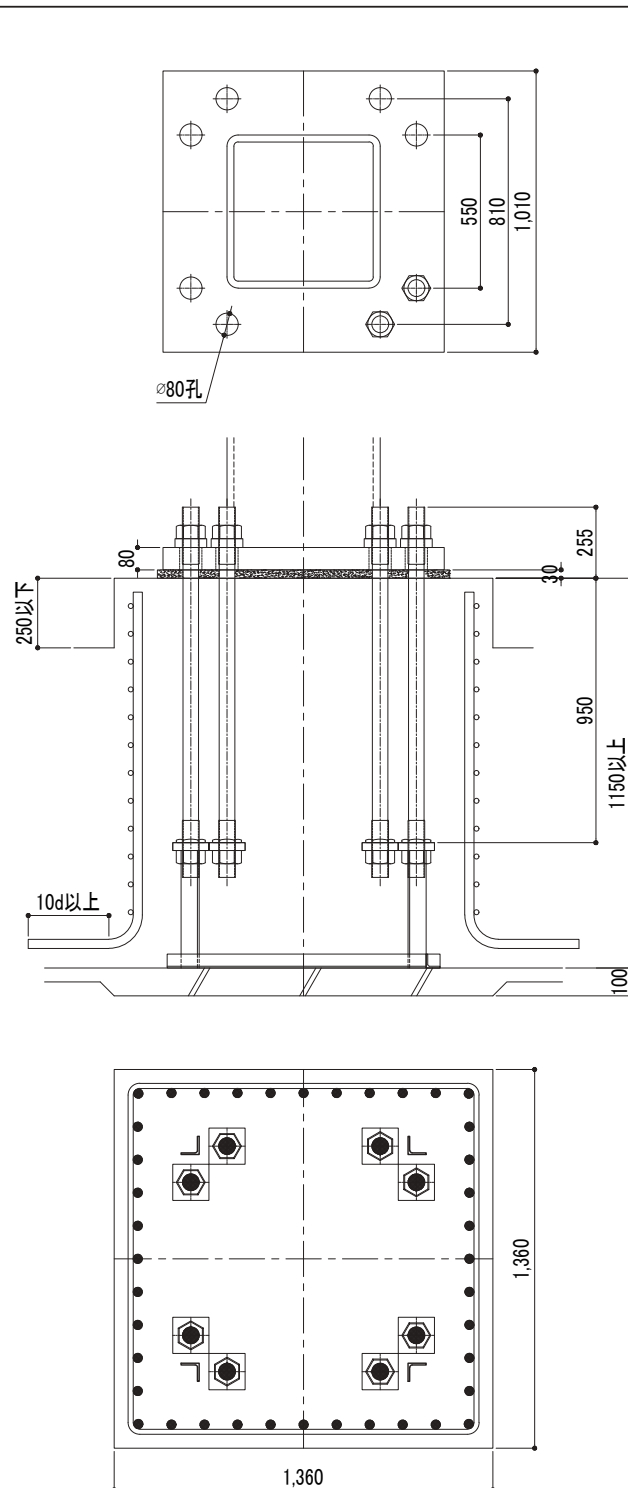
(単位:kN)

下限軸力	-5,018	BOPせん断耐力	825
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、40-D29の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 550		
適用鋼管	F値=235	t=40	
	F値=275	28≦t≦40	
	F値=295	t=28	
	F値=325	28≦t≦40	
アンカーボルト	8-M68		
ベースプレート	980×980×90		
柱形断面	1350×1350 (1740×1740)※ ¹		
主 筋※ ²	52-D25	44-D29	36-D32
帯 筋	D16@100		
最小コンクリート強度	21N/mm ²		
回転剛性	586,000kN・m/rad※ ³		

※¹：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※²：主筋に記載の本数一径の中から選択できます。

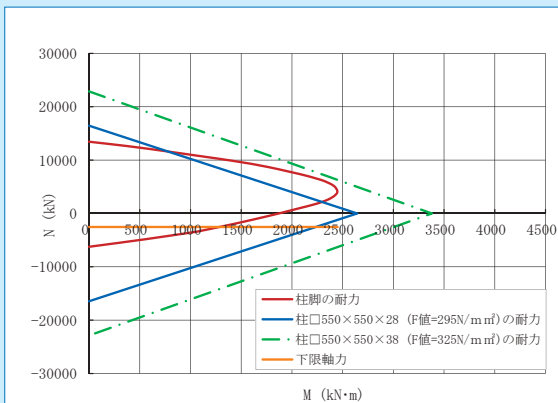
※³：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-2,531	BOPせん断耐力	619
------	--------	----------	-----

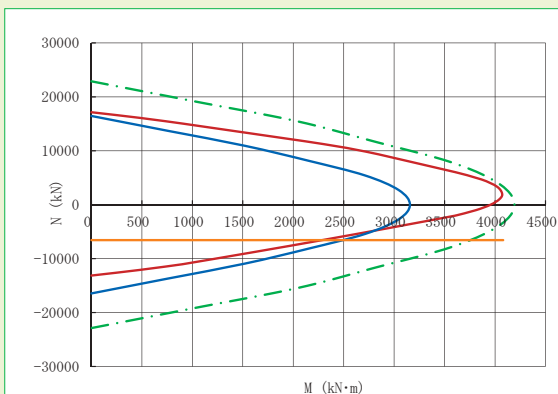


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

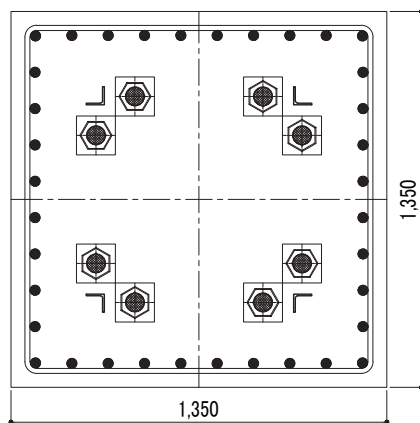
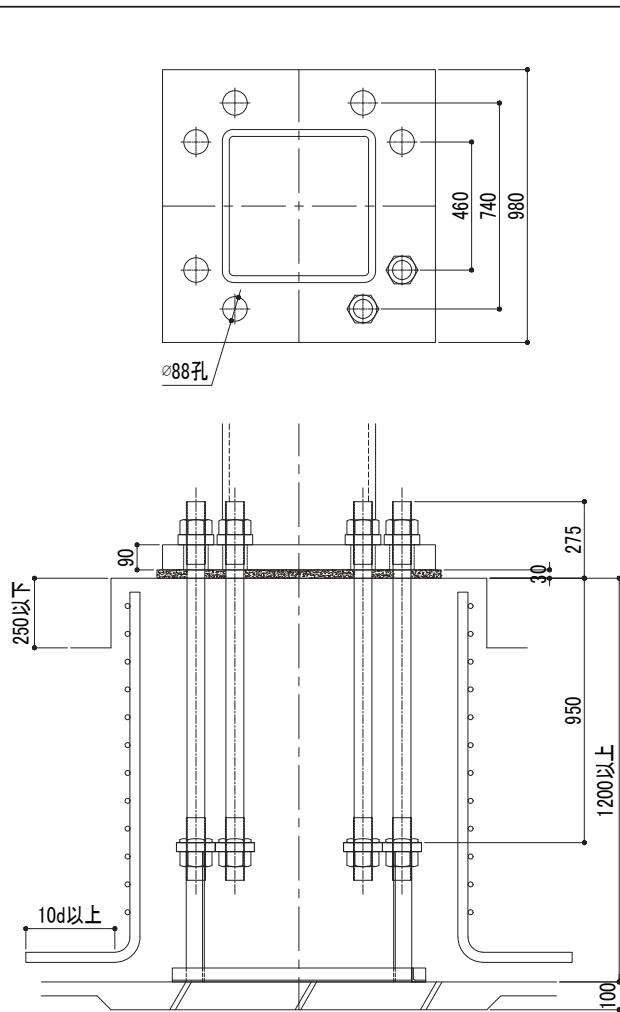
(単位:kN)

下限軸力	-6,569	BOPせん断耐力	825
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、36-D32の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 600		
適用鋼管	F値=235	12≦t≦40	
	F値=275	16≦t≦40	
	F値=295	*	
	F値=325	9≦t≦32	
アンカーボルト	8-M42		
ベースプレート	840×840×45		
柱形断面	1100×1100 (1240×1240)※ ¹		
主 筋※ ²	36-D25	28-D29	24-D32
帯 筋	D13@100		
最小コンクリート強度	★24N/mm ²		
回転剛性	435,000kN・m/rad※ ³		

※1：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※2：主筋に記載の本数－径の中から選択できます。

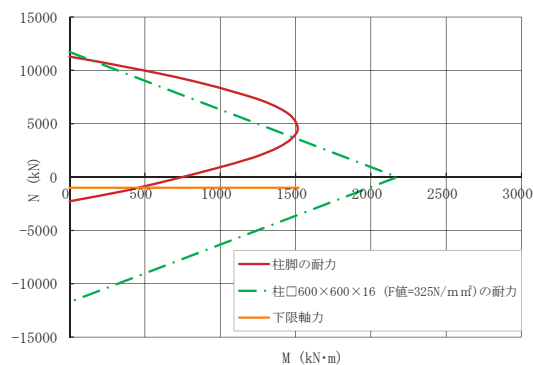
※3：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-1,002	BOPせん断耐力	341
------	--------	----------	-----

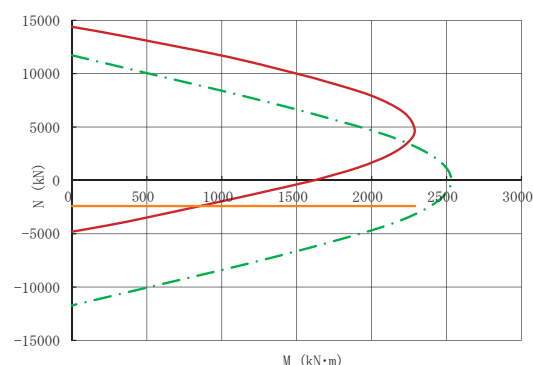


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

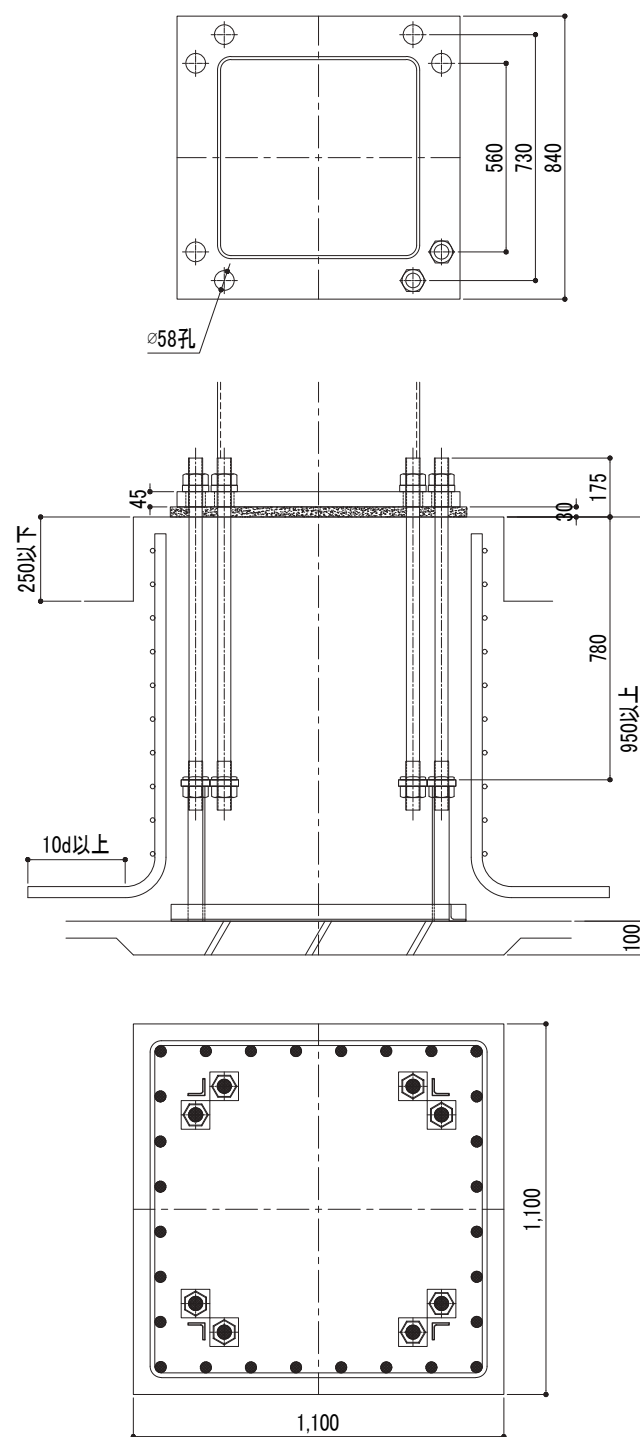
(単位:kN)

下限軸力	-2,405	BOPせん断耐力	455
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、28-D29の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

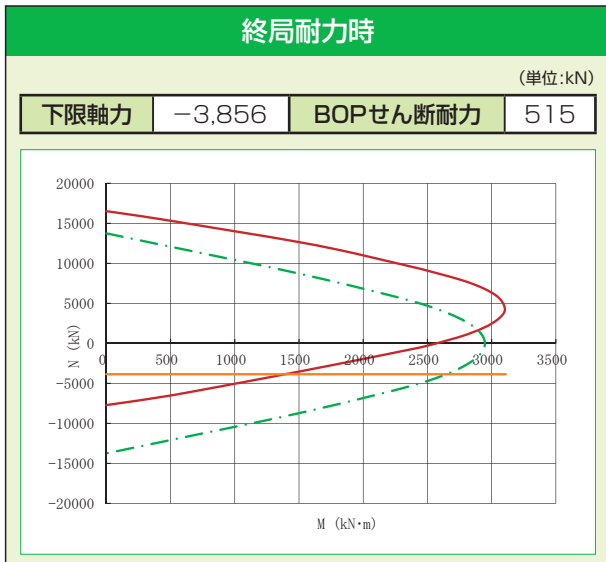
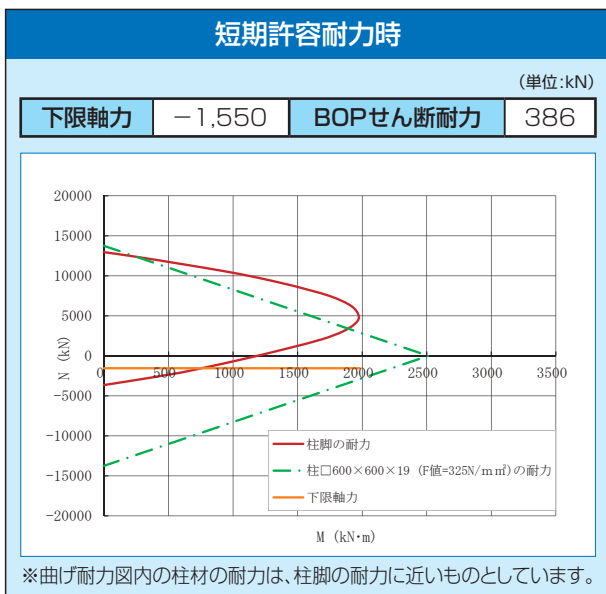
鋼管サイズ	□ 600	
適用鋼管	F値=235	19≤t≤40
	F値=275	16≤t≤40
	F値=295	*
	F値=325	16≤t≤40
アンカーボルト	8-M52	
ベースプレート	900×900×55	
柱形断面	1180×1180 (1780×1780)*1	
主筋※2	40-D29	32-D32
帯筋	D16@100	
最小コンクリート強度	★24N/mm ²	
回転剛性	528,000kN・m/rad※3	

※1：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※2：主筋に記載の本数一径の中から選択できます。

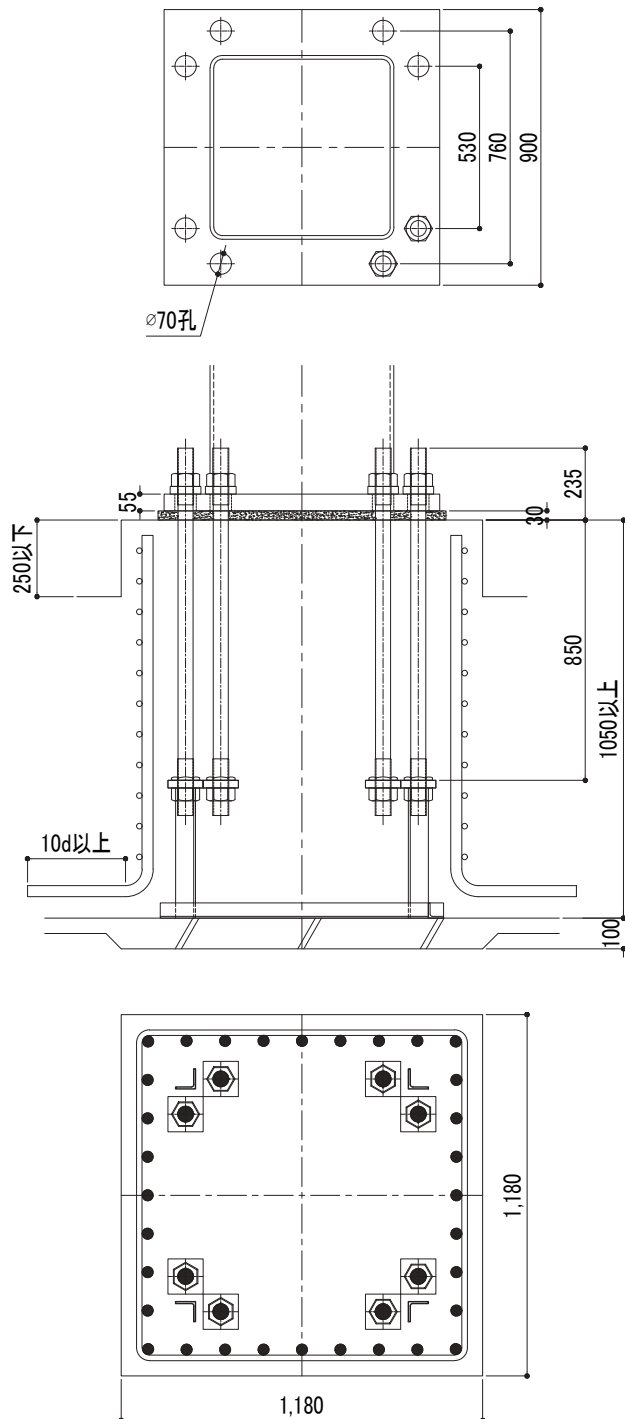
※3：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、32-D32の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 600	
適用鋼管	F値=235	25≤t≤40
	F値=275	19≤t≤40
	F値=295	*
	F値=325	19≤t≤40
アンカーボルト	8-M60	
ベースプレート	940×940×65	
柱形断面	1230×1230 (1790×1790)※ ¹	
主筋※ ²	40-D29	36-D32
帯筋	D16@100	
最小コンクリート強度	★24N/mm ²	
回転剛性	630,000kN・m/rad※ ³	

※¹：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※²：主筋に記載の本数－径の中から選択できます。

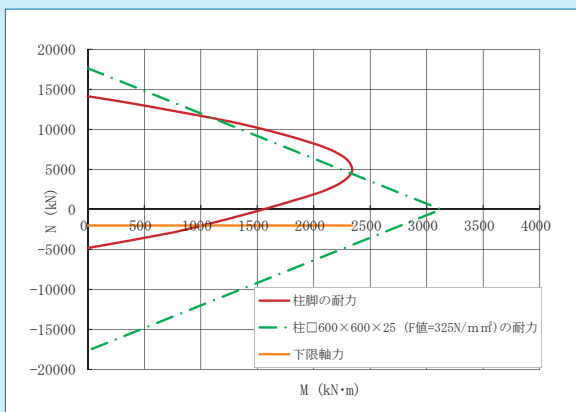
※³：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-2,006	BOPせん断耐力	475
------	--------	----------	-----

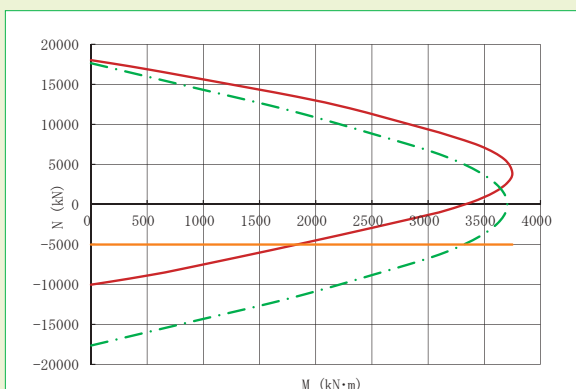


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

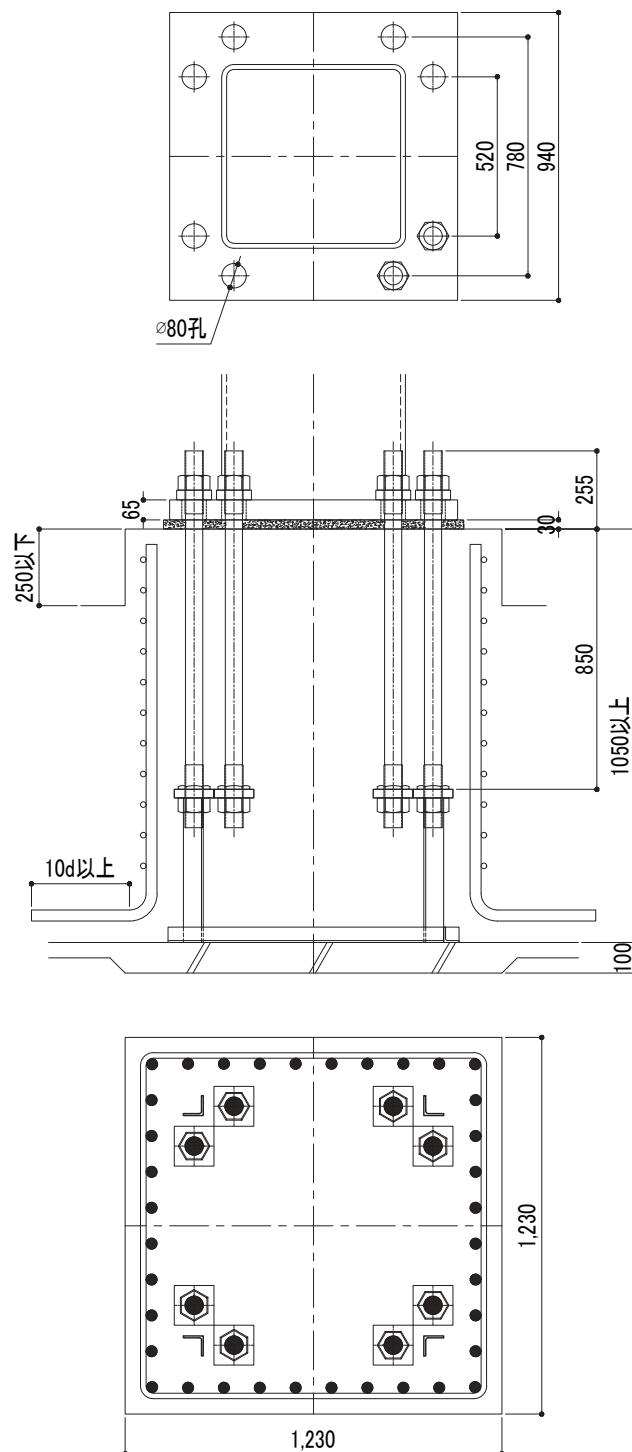
(単位:kN)

下限軸力	-5,018	BOPせん断耐力	633
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、36-D32の場合を示す。

注意事項

- 杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- 下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- 柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 600	
適用鋼管	F値=235	32≤t≤40
	F値=275	25≤t≤40
	F値=295	*
	F値=325	25≤t≤40
アンカーボルト	8-M68	
ベースプレート	970×970×70	
柱形断面	1330×1330 (1870×1870)※ ¹	
主筋※ ²	44-D29	36-D32
帯筋	D16@100	
最小コンクリート強度	★24N/mm ²	
回転剛性	680,000kN・m/rad※ ³	

※¹：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※²：主筋に記載の本数一径の中から選択できます。

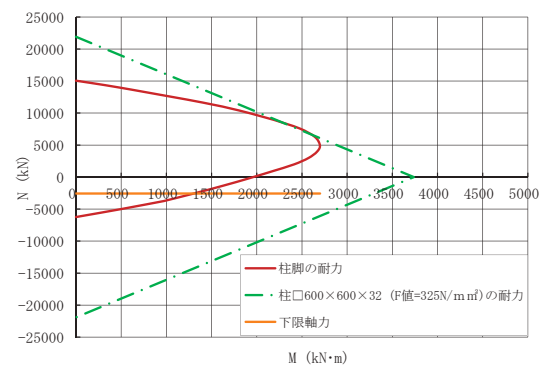
※³：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-2,568	BOPせん断耐力	501
------	--------	----------	-----

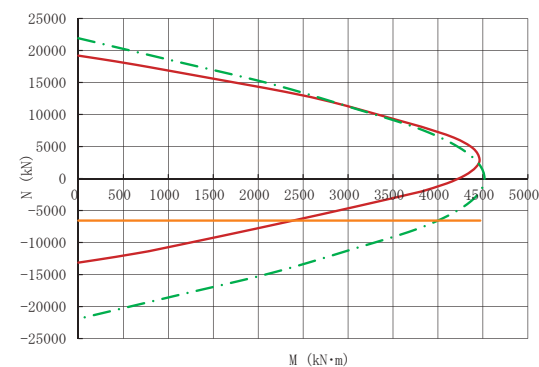


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

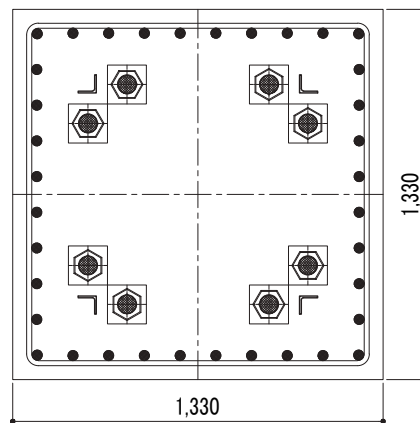
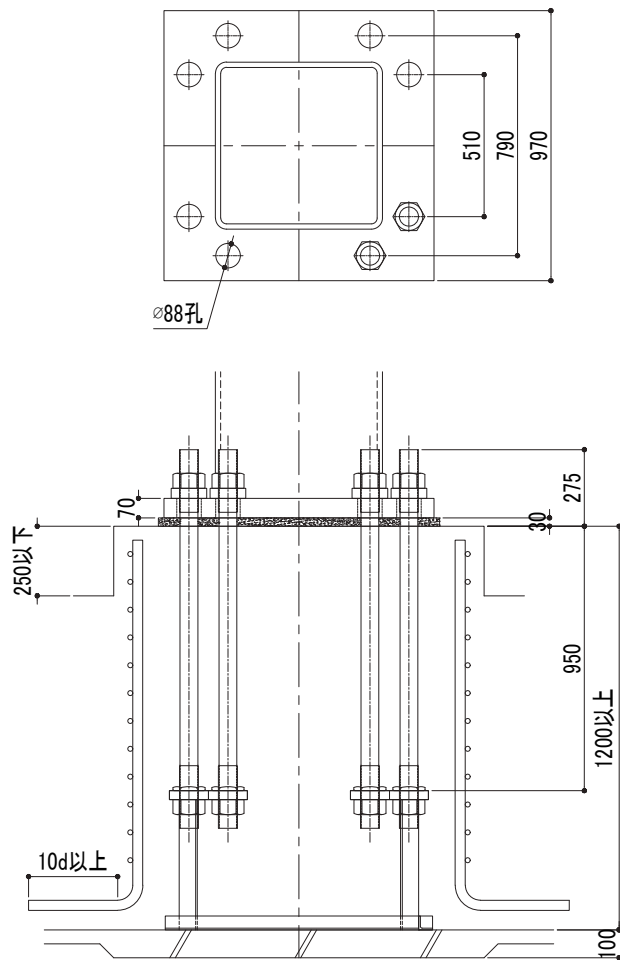
(単位:kN)

下限軸力	-6,569	BOPせん断耐力	667
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、36-D32の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 600	
適用鋼管	F値=235	$38 \leq t \leq 40$
	F値=275	$32 \leq t \leq 40$
	F値=295	*
	F値=325	$28 \leq t \leq 40$
アンカーボルト	8-M68	
ベースプレート	1060×1060×85	
柱形断面	1460×1460 (1960×1960)※ ¹	
主筋※ ²	52-D29	44-D32
帯筋	D16@100	
最小コンクリート強度	★24N/mm ²	
回転剛性	875,000kN・m/rad※ ³	

※1：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※2：主筋に記載の本数－径の中から選択できます。

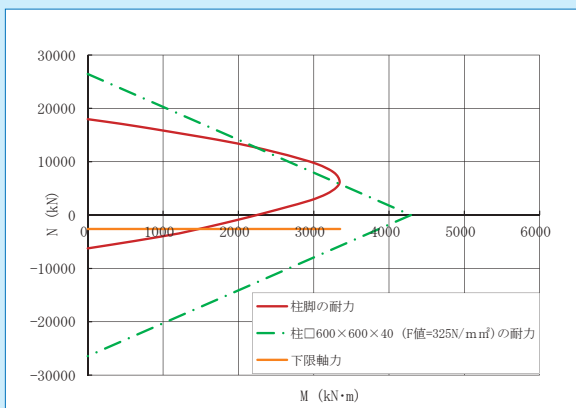
※3：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-2,607	BOPせん断耐力	619
------	--------	----------	-----

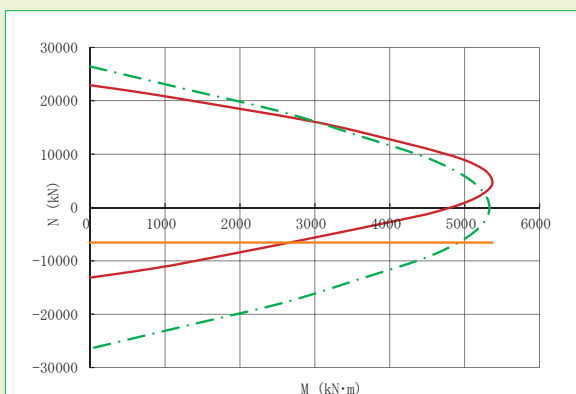


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

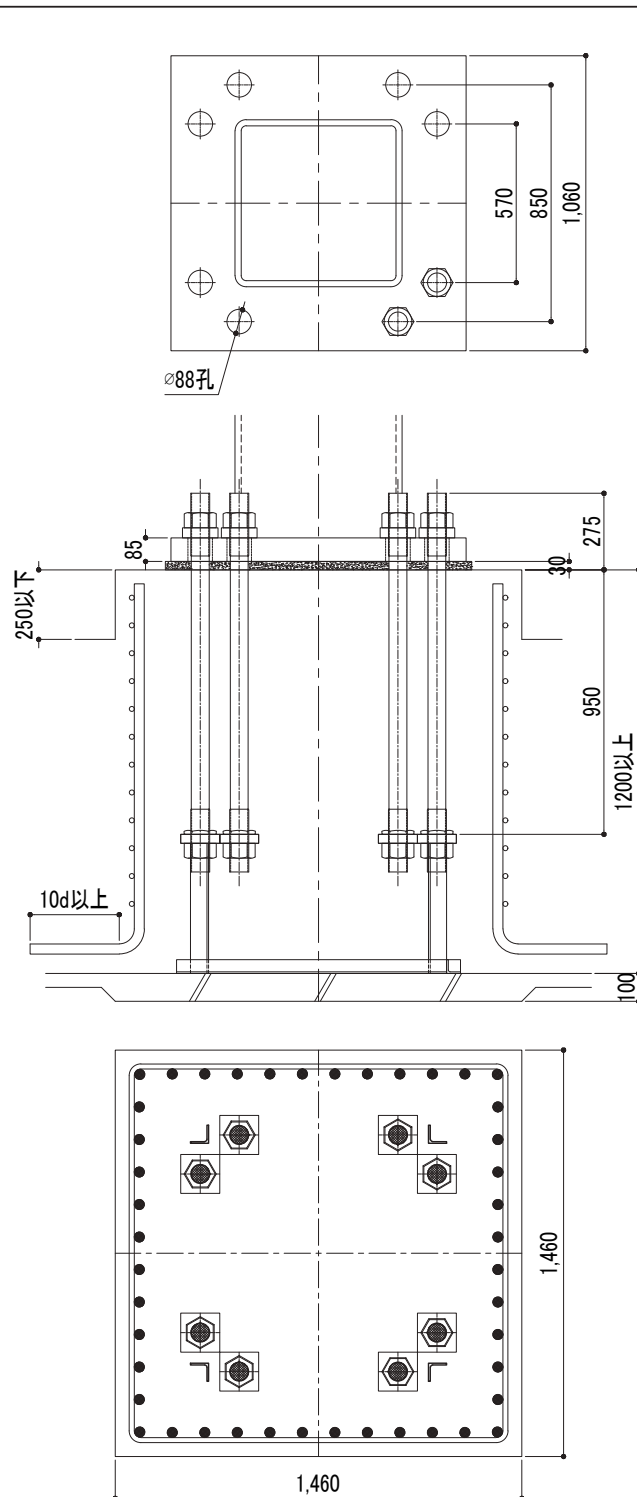
(単位:kN)

下限軸力	-6,569	BOPせん断耐力	825
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、44-D32の場合を示す。

注意事項

- 杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- 下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- 柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工用の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 600	
適用鋼管	F値=235	*
	F値=275	32≤t≤40
	F値=295	*
	F値=325	32≤t≤40
アンカーボルト	8-M72	
ベースプレート	1060×1060×95	
柱形断面	1460×1460 (1960×1960)※ ¹	
主筋※ ²	52-D29	44-D32
帯筋	D16@100	
最小コンクリート強度	★24N/mm ²	
回転剛性	808,000kN・m/rad※ ³	

※¹：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※²：主筋に記載の本数一径の中から選択できます。

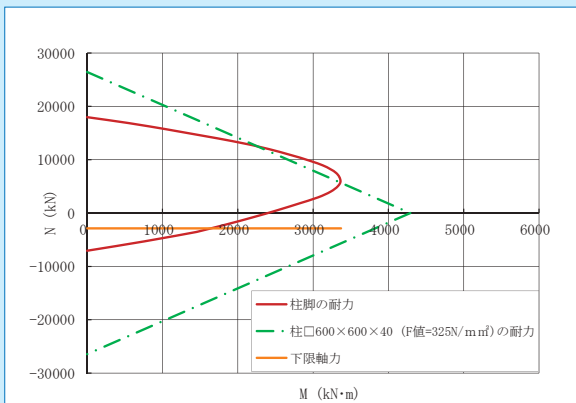
※³：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-2,867	BOPせん断耐力	619
------	--------	----------	-----

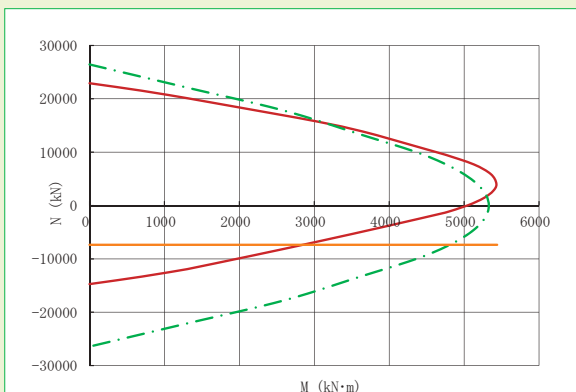


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

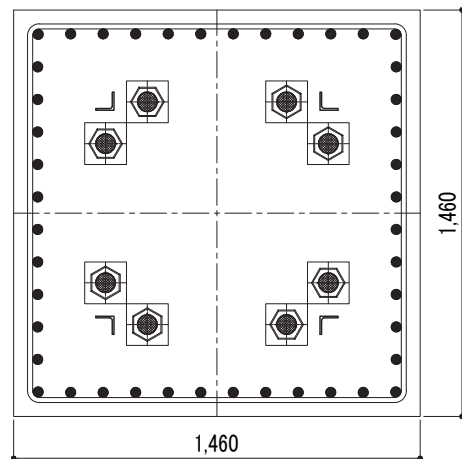
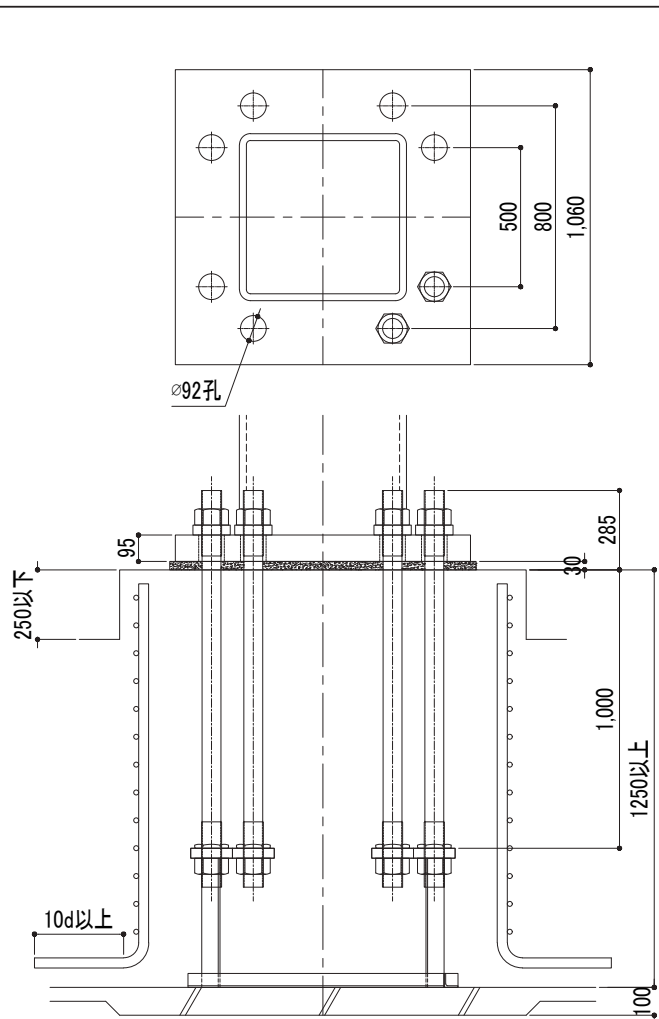
(単位:kN)

下限軸力	-7,364	BOPせん断耐力	825
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、44-D32の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 650	
適用鋼管	F値=235	16≤t≤40
	F値=275	16≤t≤40
	F値=295	*
	F値=325	12≤t≤38
アンカーボルト	8-M48	
ベースプレート	930×930×55	
柱形断面	1220×1220 (1780×1780)※ ¹	
主 筋※ ²	40-D29	32-D32
帯 筋	D16@100	
最小コンクリート強度	★24N/mm ²	
回転剛性	612,000kN・m/rad※ ³	

※¹：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※²：主筋に記載の本数－径の中から選択できます。

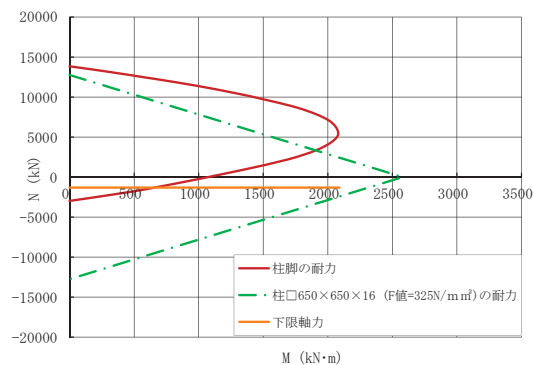
※³：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-1,314	BOPせん断耐力	467
------	--------	----------	-----

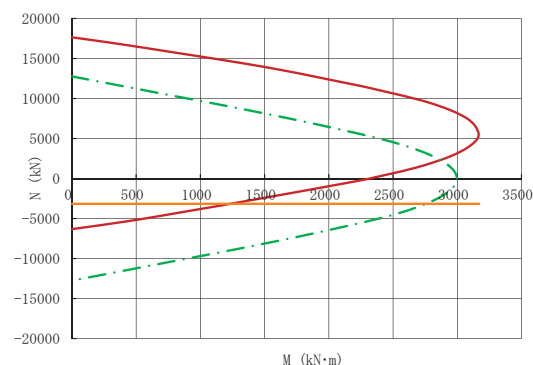


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

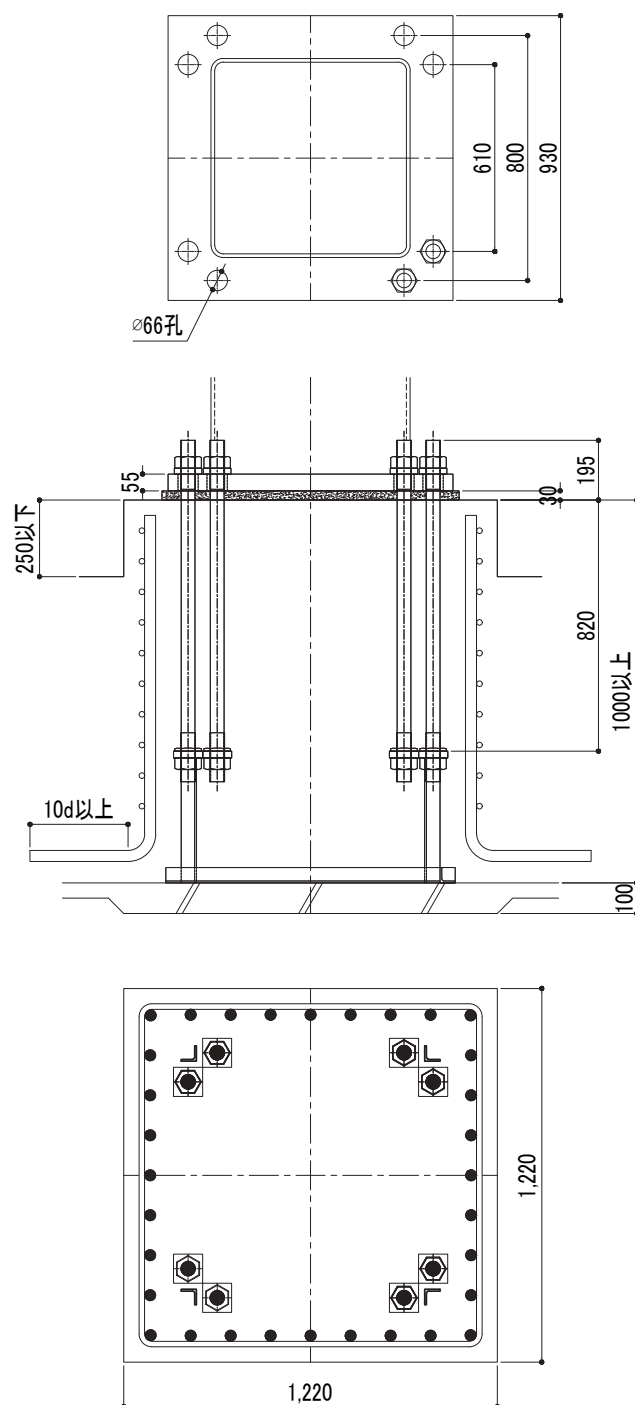
(単位:kN)

下限軸力	-3,161	BOPせん断耐力	622
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、32-D32の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 650	
適用鋼管	F値=235	19≤t≤40
	F値=275	16≤t≤40
	F値=295	*
	F値=325	16≤t≤40
アンカーボルト	8-M56	
ベースプレート	970×970×60	
柱形断面	1270×1270 (1780×1780)※ ¹	
主筋※ ²	40-D29	32-D32
帯筋	D16@100	
最小コンクリート強度	★24N/mm ²	
回転剛性	662,000kN・m/rad※ ³	

※¹：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※²：主筋に記載の本数一径の中から選択できます。

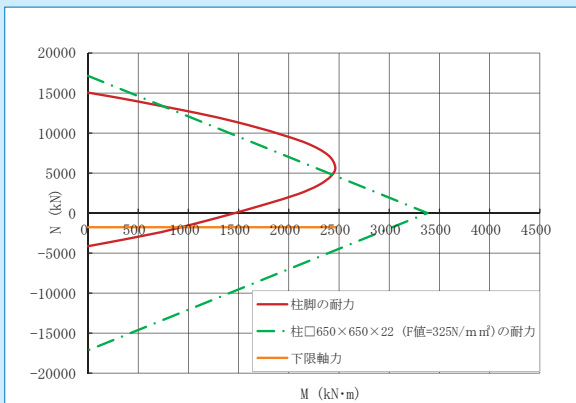
※³：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-1,768	BOPせん断耐力	501
------	--------	----------	-----

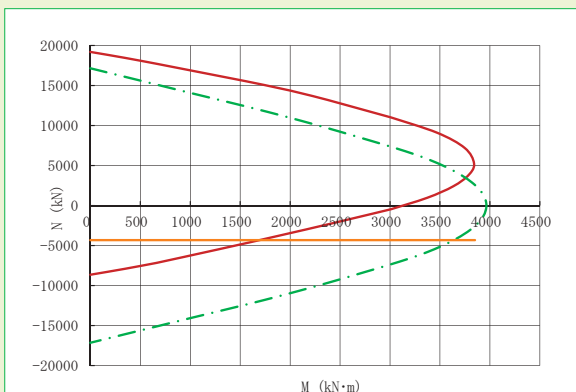


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

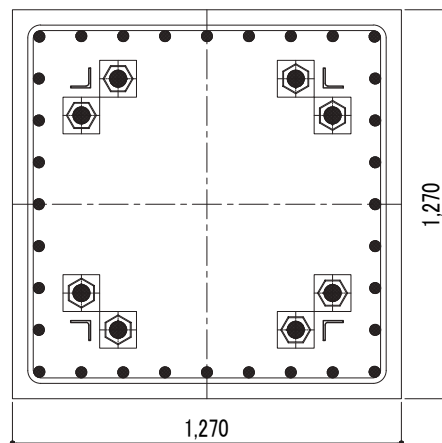
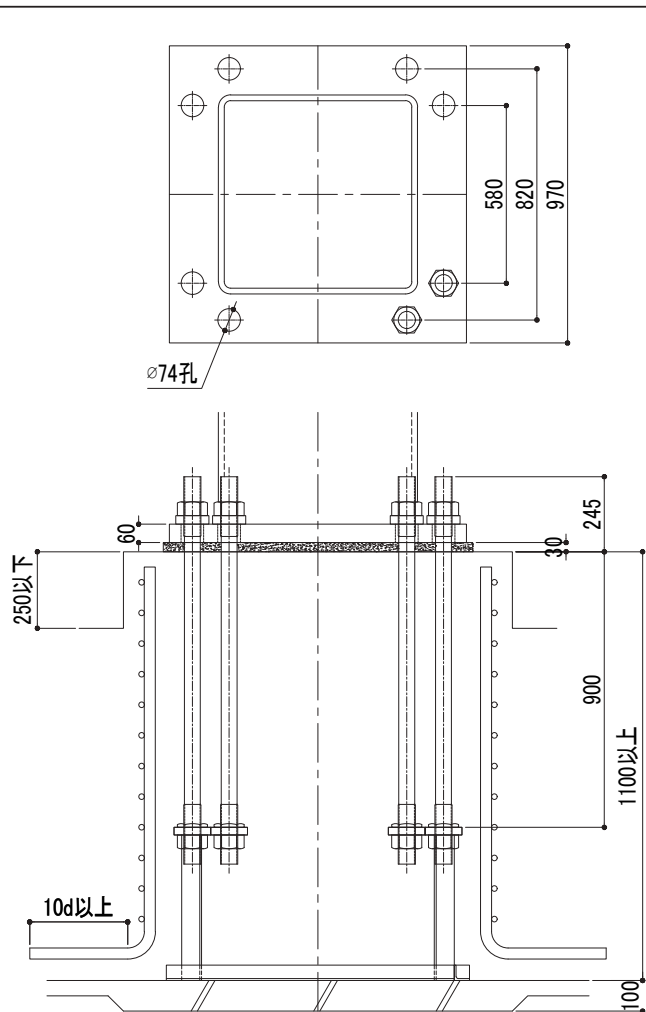
(単位:kN)

下限軸力	-4,325	BOPせん断耐力	667
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、32-D32の場合を示す。

注意事項

- 杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- 下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- 柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 650	
適用鋼管	F値=235	25≤t≤40
	F値=275	22≤t≤40
	F値=295	*
	F値=325	19≤t≤40
アンカーボルト	8-M64	
ベースプレート	1000×1000×65	
柱形断面	1380×1380 (1870×1870)※ ¹	
主筋※ ²	44-D29	40-D32
帯筋	D16@100	
最小コンクリート強度	★24N/mm ²	
回転剛性	778,000kN・m/rad※ ³	

※1：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※2：主筋に記載の本数－径の中から選択できます。

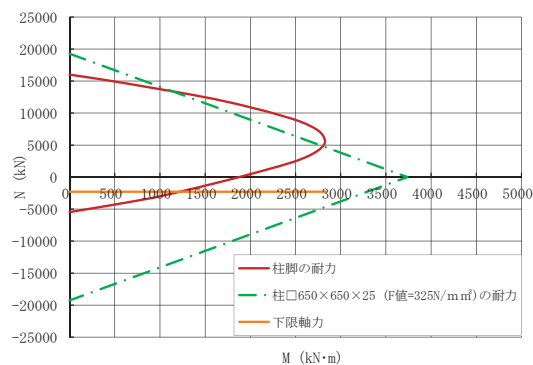
※3：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-2,289	BOPせん断耐力	619
------	--------	----------	-----

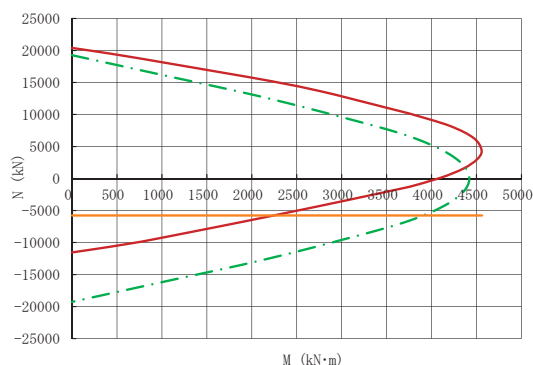


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

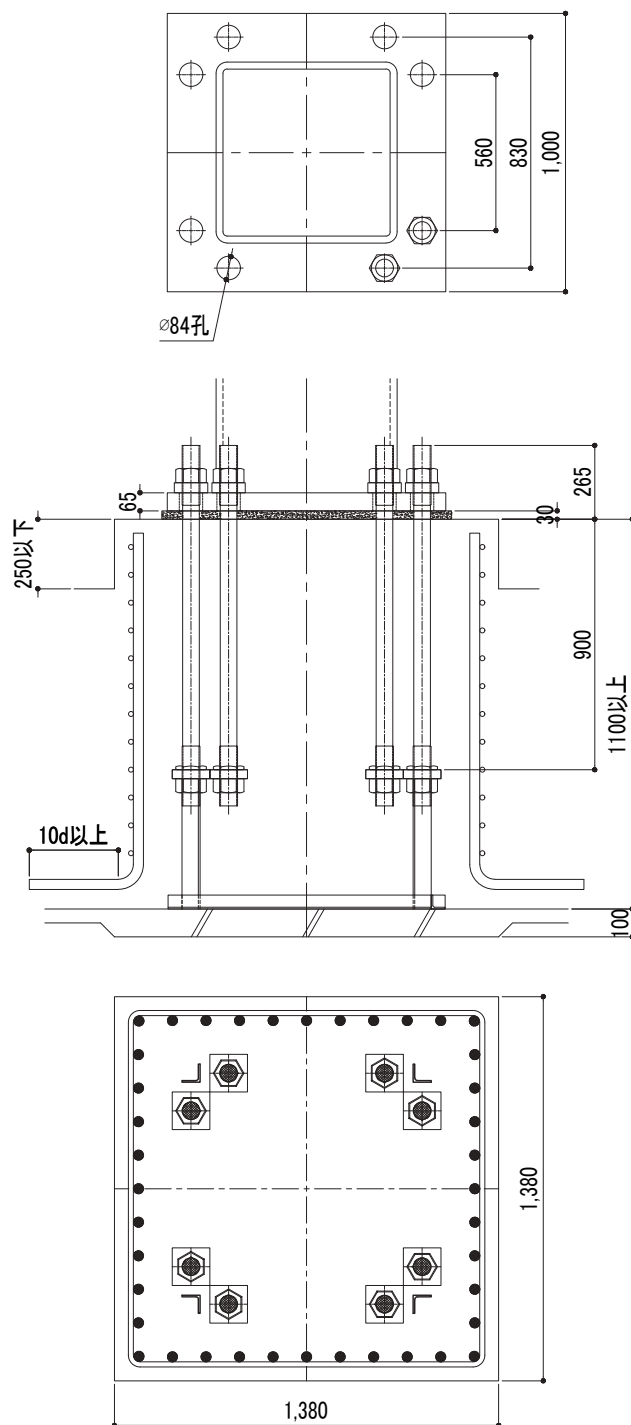
(単位:kN)

下限軸力	-5,773	BOPせん断耐力	825
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、40-D32の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 650		
適用鋼管	F値=235	32≦t≦40	
	F値=275	25≦t≦40	
	F値=295	*	
	F値=325	22≦t≦40	
アンカーボルト	8-M68		
ベースプレート	1020×1020×70		
柱形断面	1440×1440 (1940×1940)※ ¹		
主 筋※ ²	60-D25	48-D29	40-D32
帯 筋	D16@100		
最小コンクリート強度	★24N/mm ²		
回転剛性	816,000kN・m/rad※ ³		

※¹：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※²：主筋に記載の本数一径の中から選択できます。

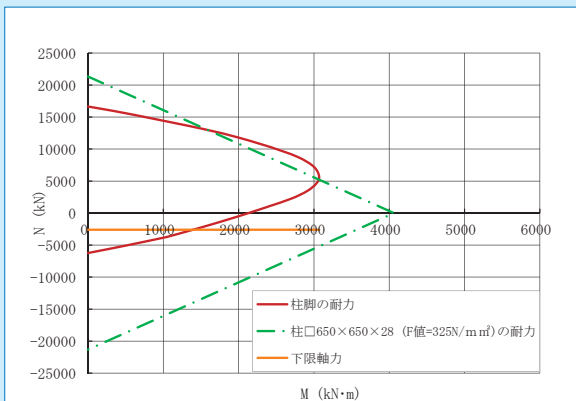
※³：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-2,601	BOPせん断耐力	619
------	--------	----------	-----

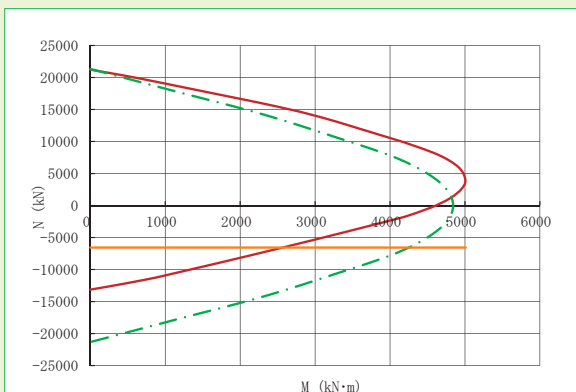


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

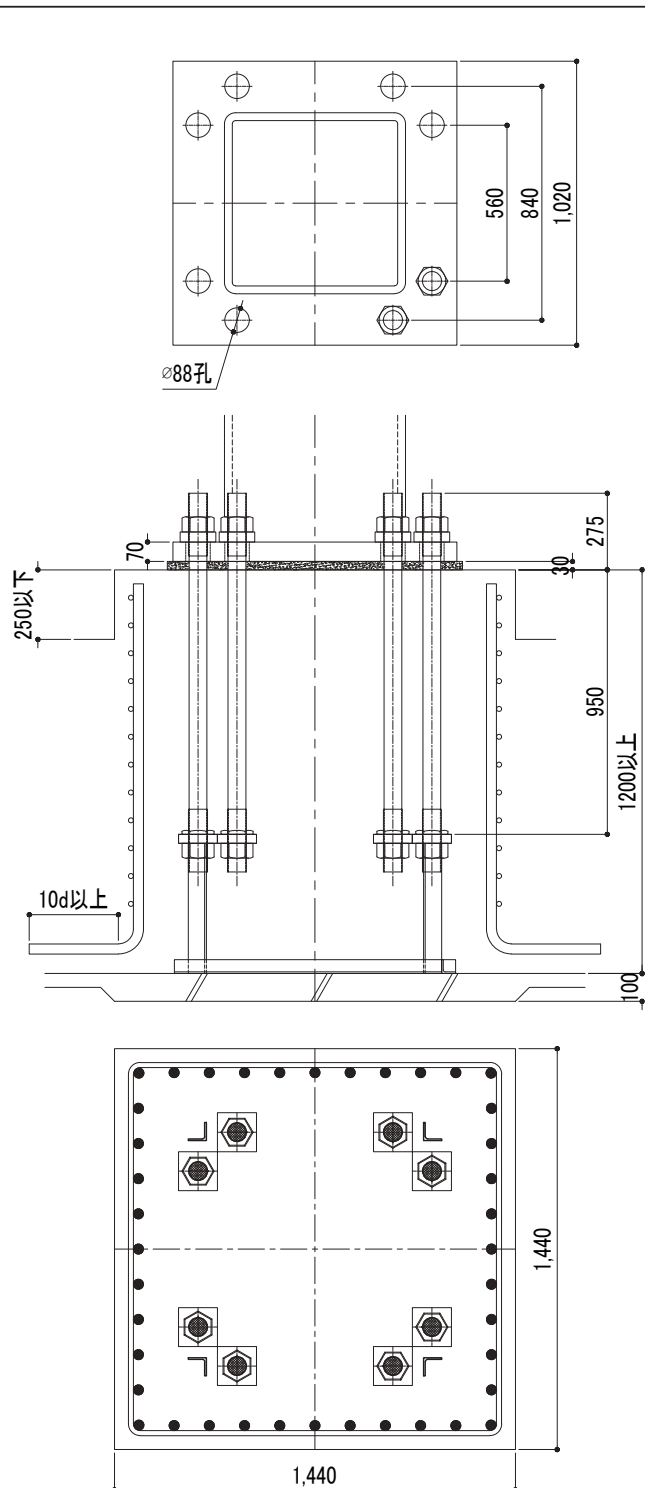
(単位:kN)

下限軸力	-6,569	BOPせん断耐力	825
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、40-D32の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工用の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 650	
適用鋼管	F値=235	36≤t≤40
	F値=275	28≤t≤40
	F値=295	*
	F値=325	25≤t≤40
アンカーボルト	8-M68	
ベースプレート	1120×1120×85	
柱形断面	1570×1570 (1940×1940)※ ¹	
主 筋※ ²	52-D29	44-D32
帯 筋	D16@100	
最小コンクリート強度	★24N/mm ²	
回転剛性	979,000kN・m/rad※ ³	

※¹：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※²：主筋に記載の本数－径の中から選択できます。

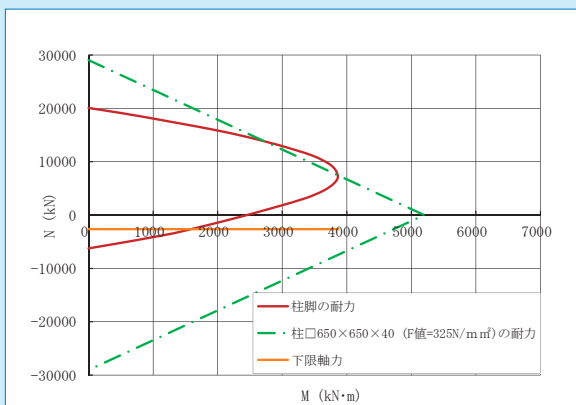
※³：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-2,641	BOPせん断耐力	619
------	--------	----------	-----

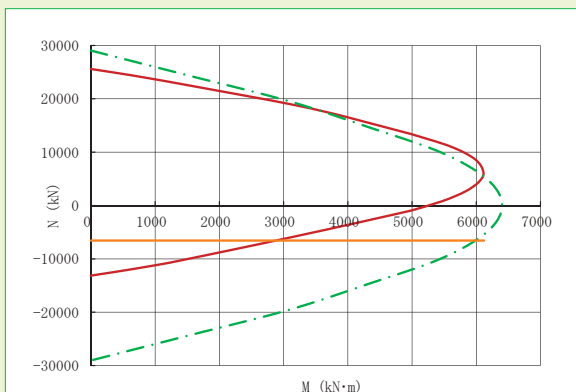


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

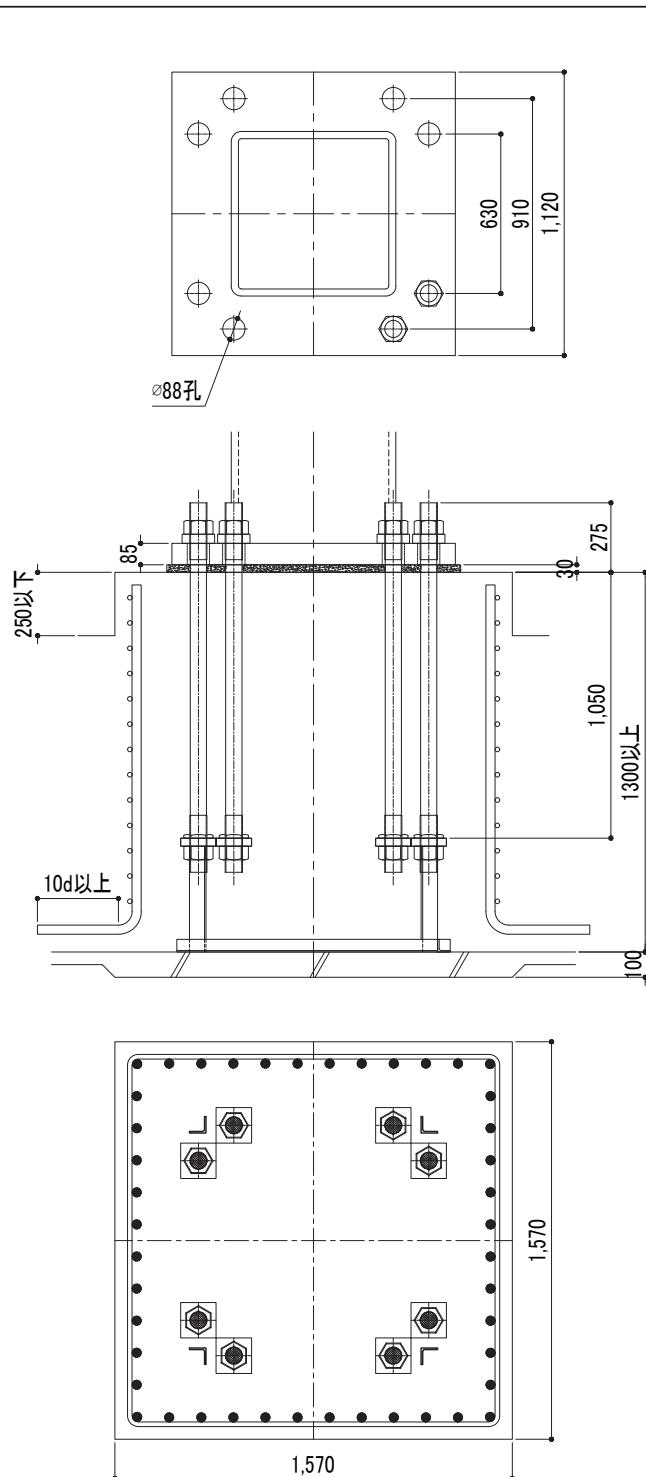
(単位:kN)

下限軸力	-6,569	BOPせん断耐力	825
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、44-D32の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 650	
適用鋼管	F値=235	$36 \leq t \leq 40$
	F値=275	$28 \leq t \leq 40$
	F値=295	*
	F値=325	$28 \leq t \leq 40$
アンカーボルト	8-M72	
ベースプレート	1120×1120×95	
柱形断面	1560×1560 (1890×1890)※ ¹	
主筋※ ²	56-D29	44-D32
帯筋	D16@100	
最小コンクリート強度	★24N/mm ²	
回転剛性	978,000kN・m/rad※ ³	

※¹：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※²：主筋に記載の本数一径の中から選択できます。

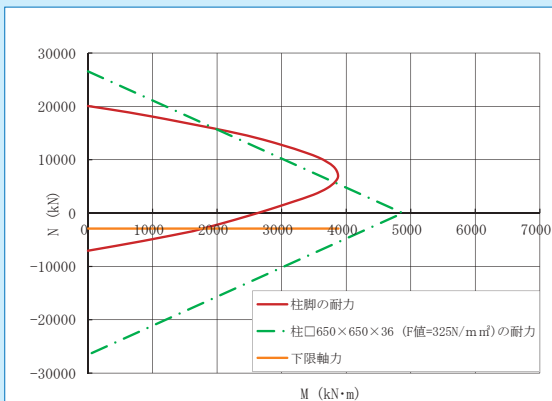
※³：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-2,906	BOPせん断耐力	619
------	--------	----------	-----

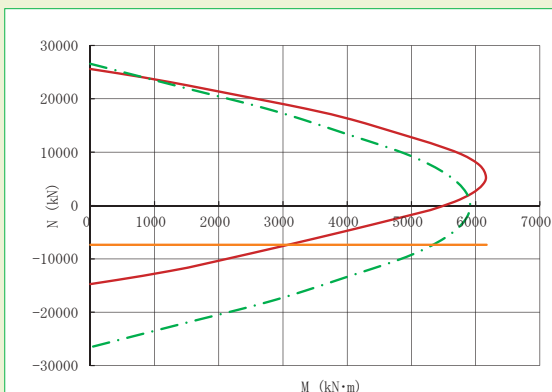


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

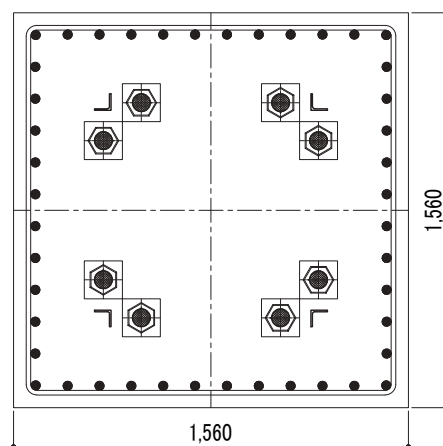
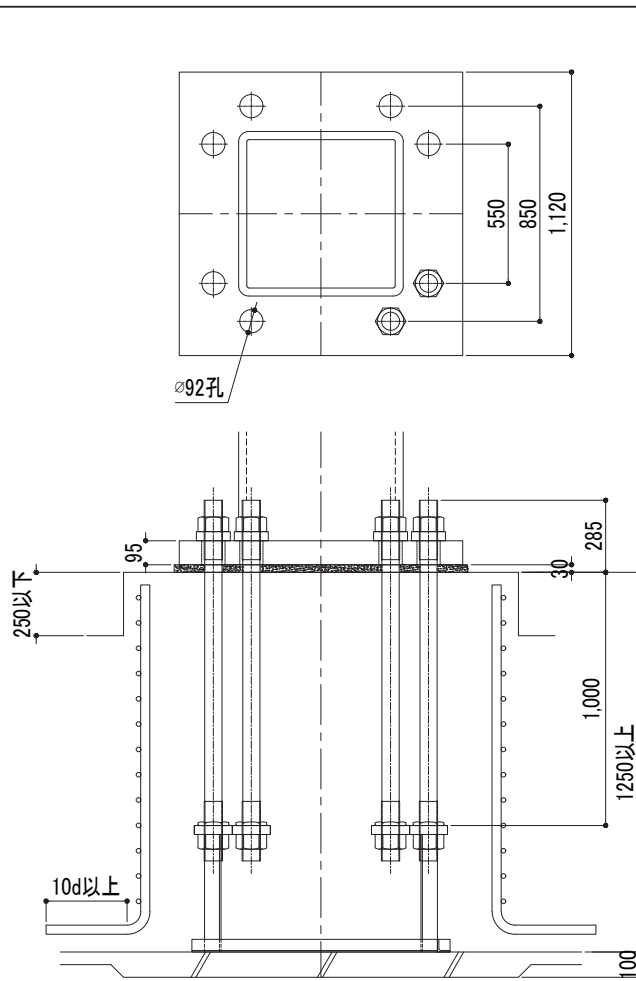
(単位:kN)

下限軸力	-7,364	BOPせん断耐力	825
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、44-D32の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工用の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 700	
適用鋼管	F値=235	12≤t≤40
	F値=275	16≤t≤40
	F値=295	*
	F値=325	12≤t≤36
アンカーボルト	8-M48	
ベースプレート	980×980×55	
柱形断面	1280×1280 (1600×1600)※ ¹	
主筋※ ²	40-D29	32-D32
帯筋	D16@100	
最小コンクリート強度	★24N/mm ²	
回転剛性	736,000kN・m/rad※ ³	

※1：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※2：主筋に記載の本数－径の中から選択できます。

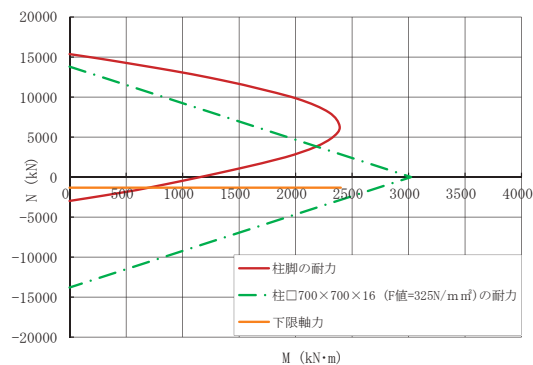
※3：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-1,324	BOPせん断耐力	475
------	--------	----------	-----

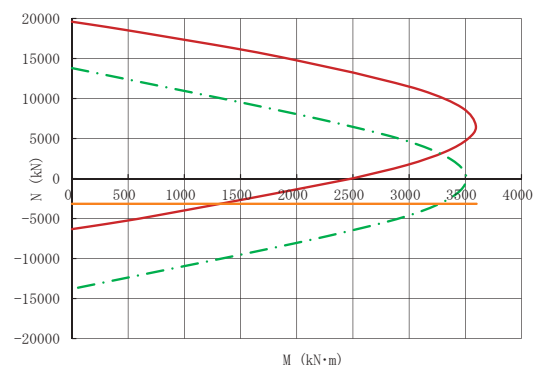


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

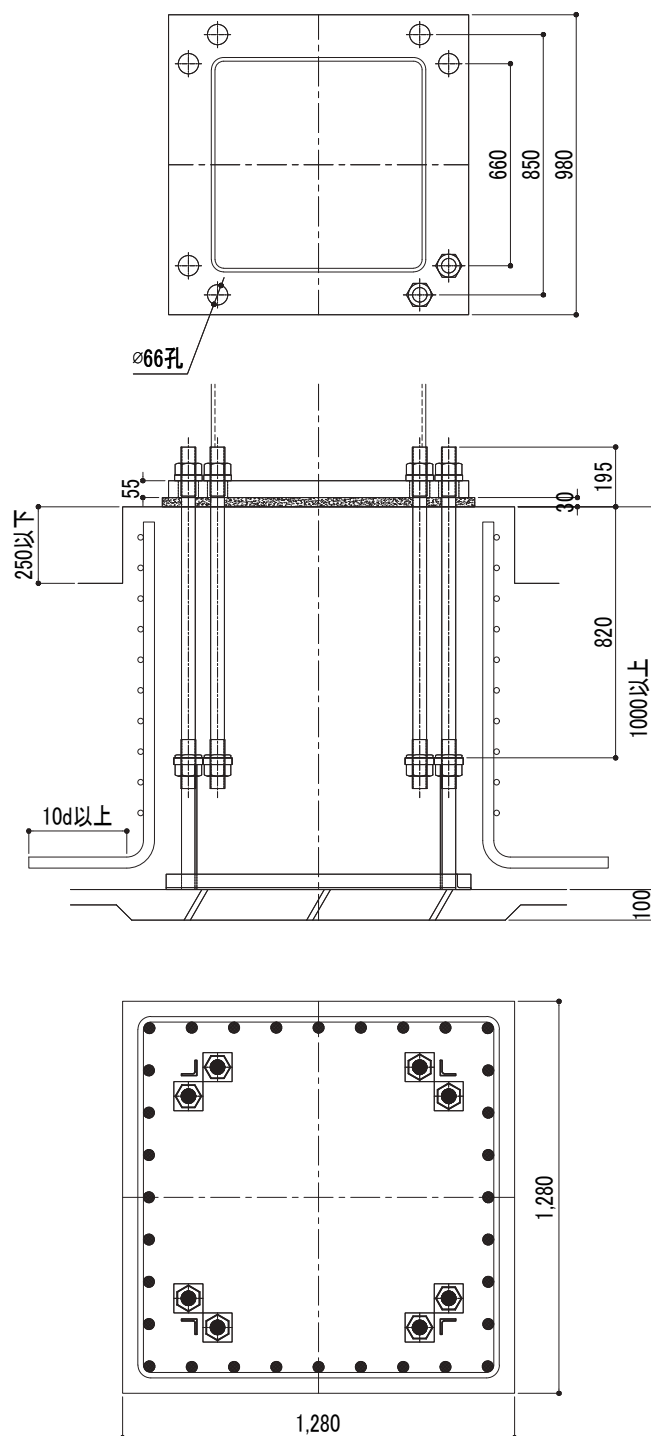
(単位:kN)

下限軸力	-3,161	BOPせん断耐力	633
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は32-D32の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 700	
適用鋼管	F値=235	16≤t≤40
	F値=275	16≤t≤40
	F値=295	*
	F値=325	12≤t≤40
アンカーボルト	8-M52	
ベースプレート	1000×1000×55	
柱形断面	1310×1310 (1790×1790)※ ¹	
主筋※ ²	40-D29	36-D32
帯筋	D16@100	
最小コンクリート強度	★24N/mm ²	
回転剛性	773,000kN・m/rad※ ³	

※¹：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※²：主筋に記載の本数一径の中から選択できます。

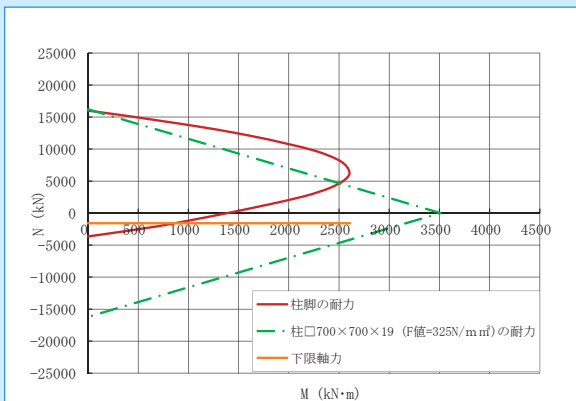
※³：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-1,582	BOPせん断耐力	492
------	--------	----------	-----

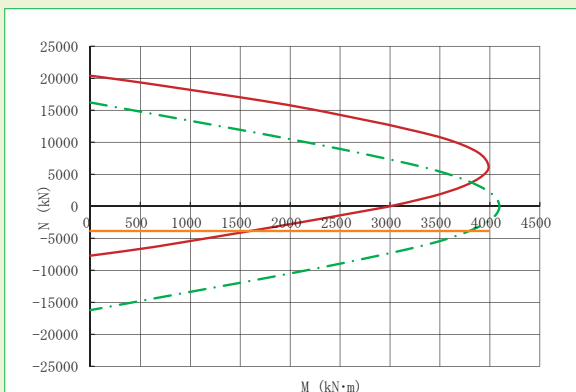


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

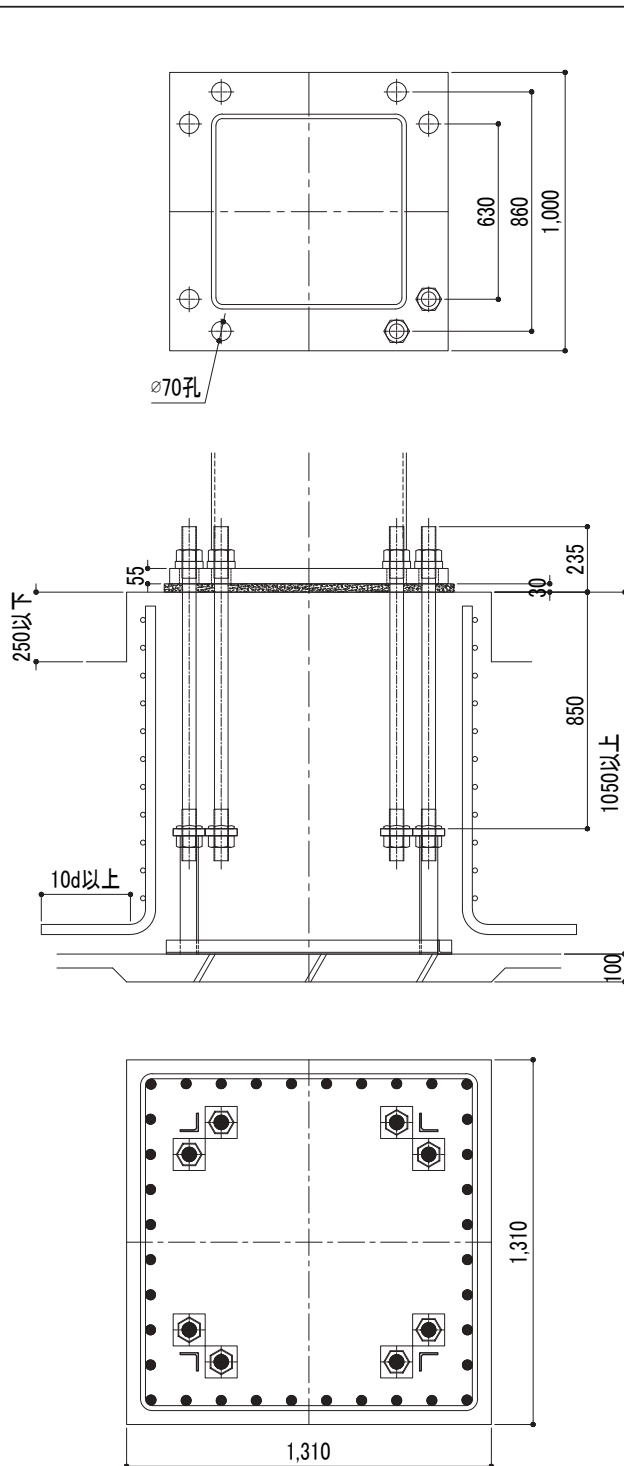
(単位:kN)

下限軸力	-3,856	BOPせん断耐力	656
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、36-D32の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 700	
適用鋼管	F値=235	22≤t≤40
	F値=275	16≤t≤40
	F値=295	*
	F値=325	16≤t≤40
アンカーボルト	8-M60	
ベースプレート	1040×1040×65	
柱形断面	1390×1390 (1550×1550)※ ¹	
主筋※ ²	44-D29	40-D32
帯筋	D16@100	
最小コンクリート強度	★24N/mm ²	
回転剛性	905,000kN・m/rad※ ³	

※¹：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※²：主筋に記載の本数－径の中から選択できます。

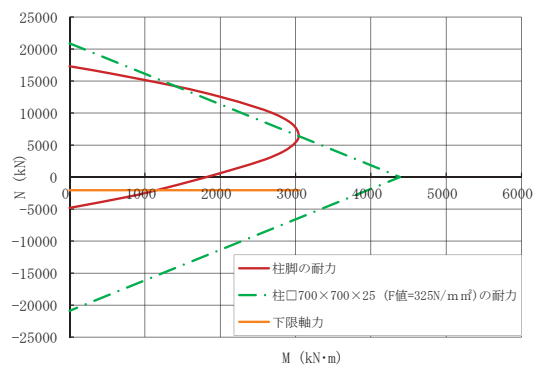
※³：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-2,052	BOPせん断耐力	619
------	--------	----------	-----

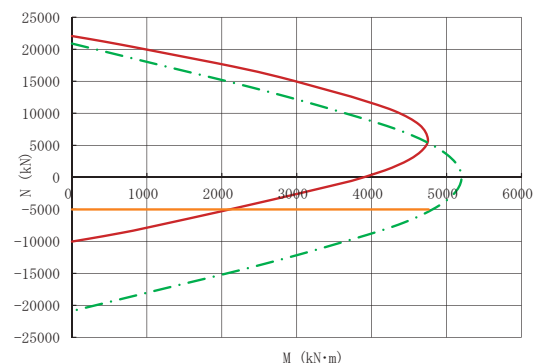


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

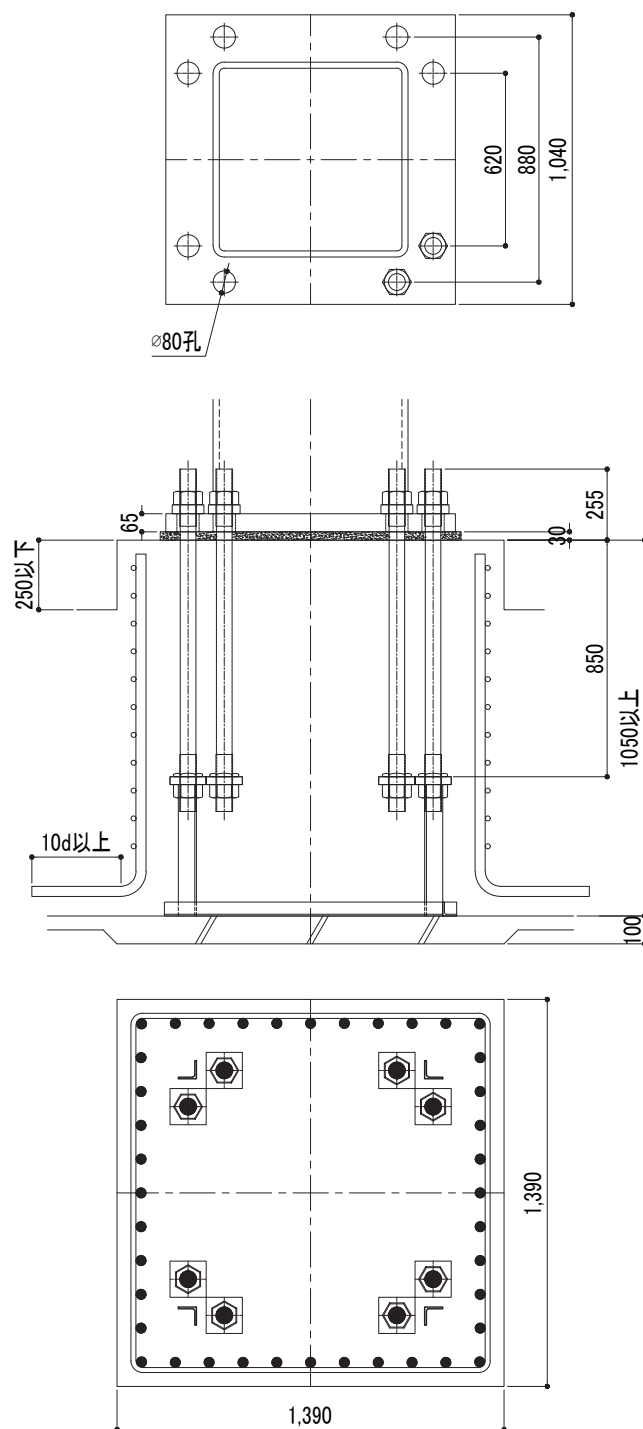
(単位:kN)

下限軸力	-5,018	BOPせん断耐力	825
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、40-D32の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

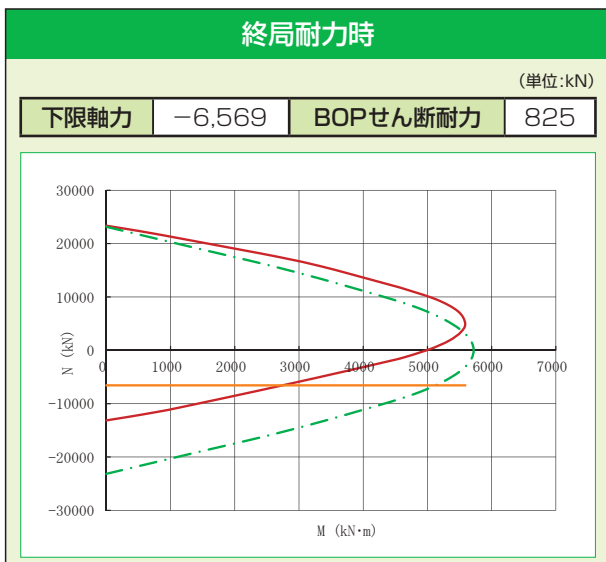
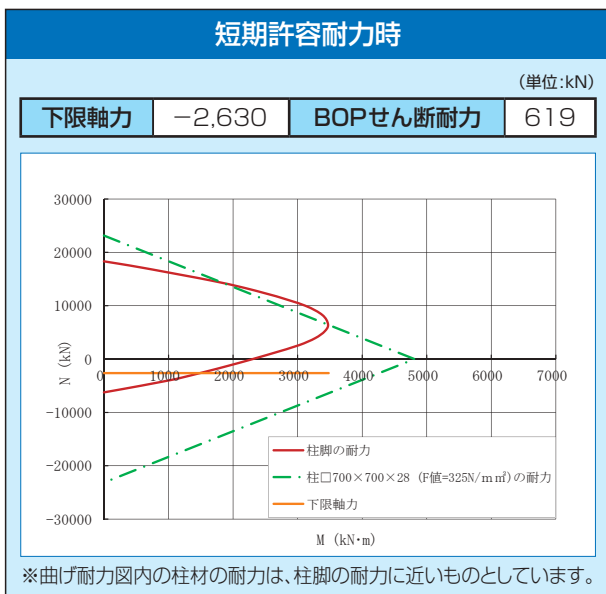
鋼管サイズ	□ 700	
適用鋼管	F値=235	28≤t≤40
	F値=275	22≤t≤40
	F値=295	*
	F値=325	22≤t≤40
アンカーボルト	8-M68	
ベースプレート	1070×1070×70	
柱形断面	1520×1520 (1780×1780)※ ¹	
主 筋※ ²	48-D29	40-D32
帯 筋	D16@100	
最小コンクリート強度	★24N/mm ²	
回転剛性	966,000kN・m/rad※ ³	

※¹：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※²：主筋に記載の本数一径の中から選択できます。

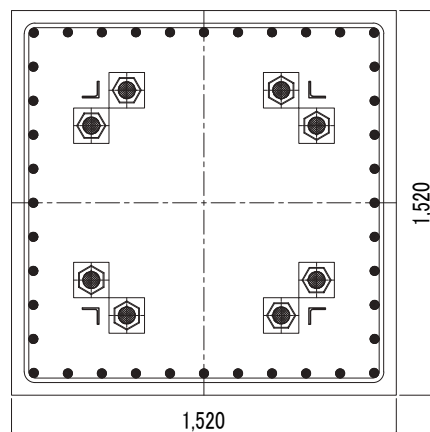
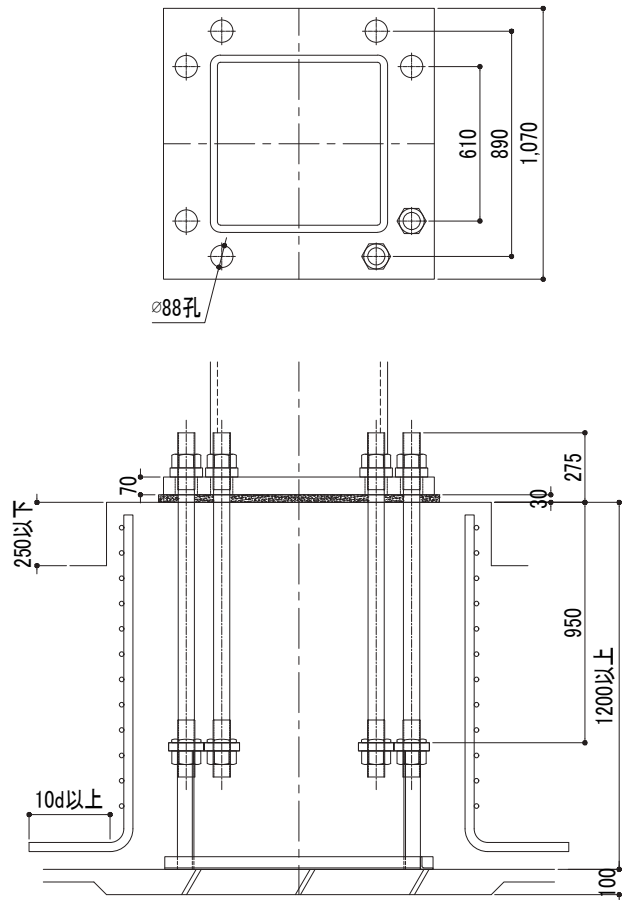
※³：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、40-D32の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工用の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 700	
適用鋼管	F値=235	32≤t≤40
	F値=275	25≤t≤40
	F値=295	*
	F値=325	22≤t≤40
アンカーボルト	8-M68	
ベースプレート	1160×1160×85	
柱形断面	1630×1630 (1860×1860)※ ¹	
主 筋※ ²	56-D29	48-D32
帯 筋	D16@100	
最小コンクリート強度	★24N/mm ²	
回転剛性	1,205,000kN・m/rad※ ³	

※1：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※2：主筋に記載の本数－径の中から選択できます。

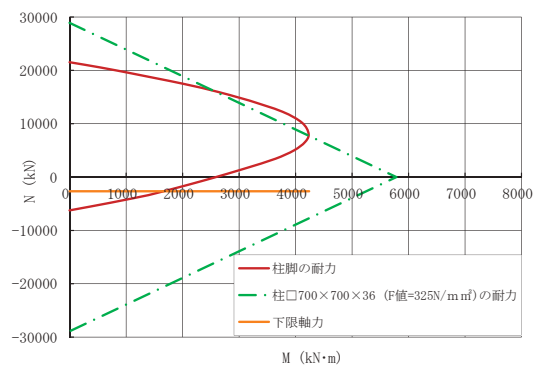
※3：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-2,661	BOPせん断耐力	619
------	--------	----------	-----

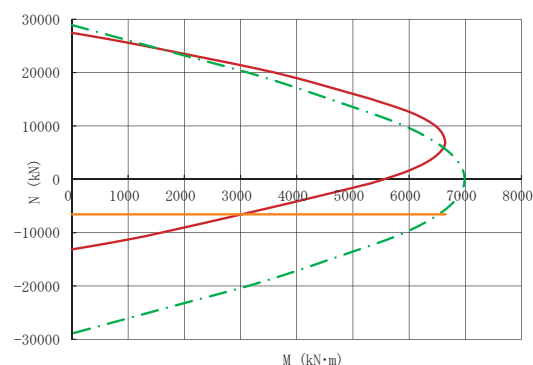


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

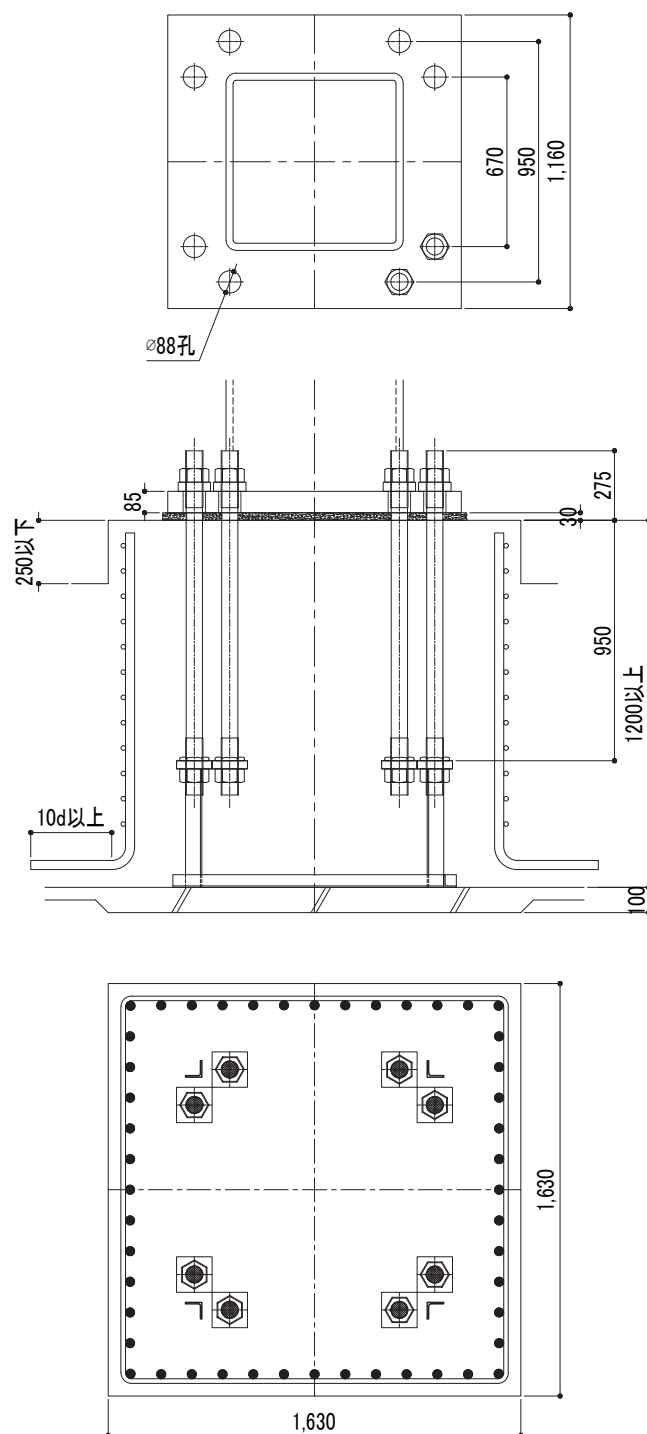
(単位:kN)

下限軸力	-6,569	BOPせん断耐力	825
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は48-D32の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 700	
適用鋼管	F値=235	36≤t≤40
	F値=275	28≤t≤40
	F値=295	*
	F値=325	28≤t≤40
アンカーボルト	8-M76	
ベースプレート	1170×1170×90	
柱形断面	1700×1700 (1950×1950)※ ¹	
主筋※ ²	56-D29	48-D32
帯筋	D16@100	
最小コンクリート強度	★24N/mm ²	
回転剛性	1,174,000kN・m/rad※ ³	

※¹：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※²：主筋に記載の本数・径の中から選択できます。

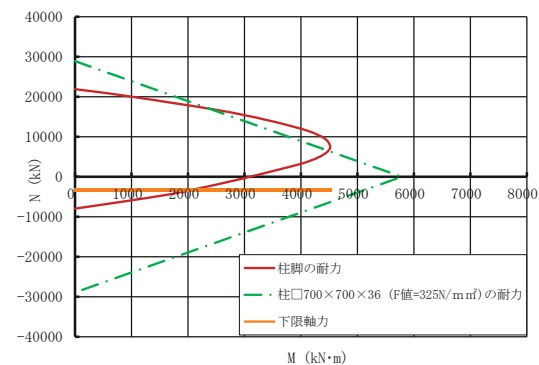
※³：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

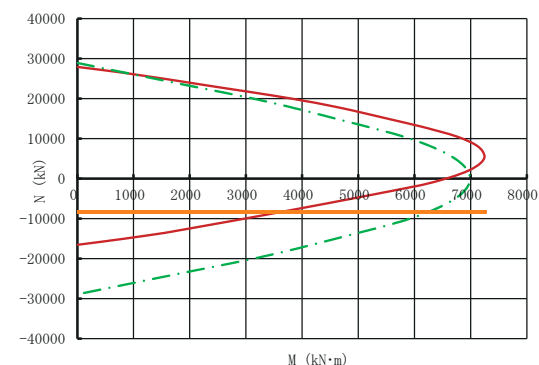
下限軸力	-3,299	BOPせん断耐力	619
------	--------	----------	-----



終局耐力時

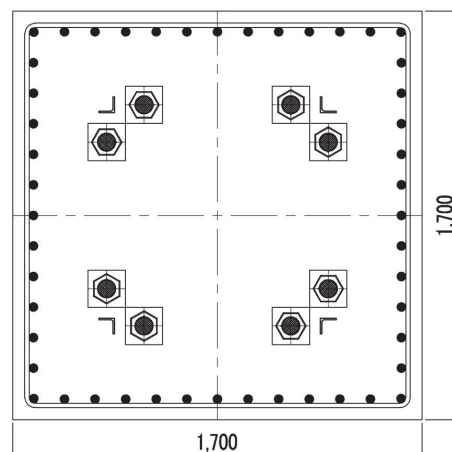
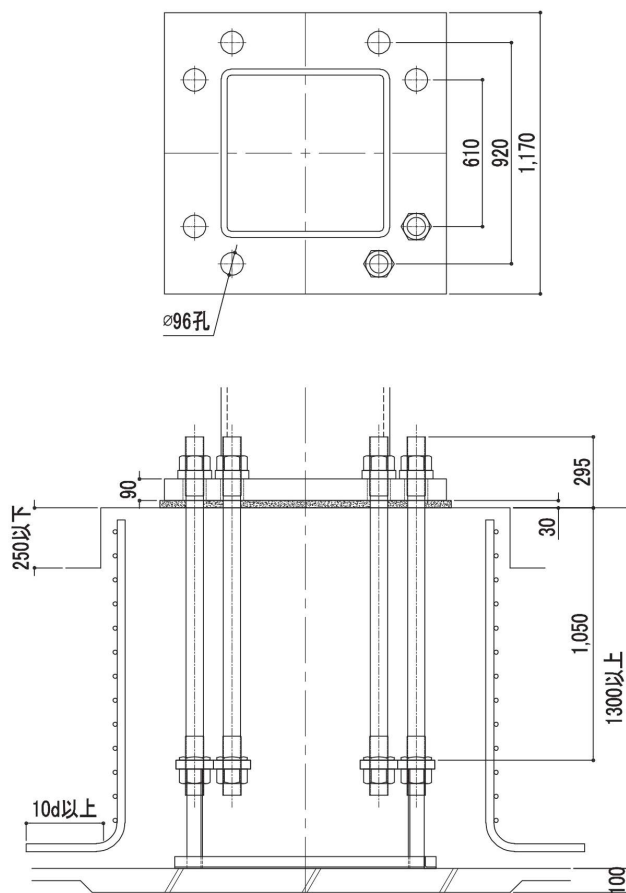
(単位:kN)

下限軸力	-8,262	BOPせん断耐力	825
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、48-D32の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 750	
適用鋼管	F値=235	16≤t≤40
	F値=275	16≤t≤40
	F値=295	*
	F値=325	16≤t≤40
アンカーボルト	8-M52	
ベースプレート	1050×1050×55	
柱形断面	1370×1370 (1580×1580)※ ¹	
主 筋※ ²	44-D29	36-D32
帯 筋	D16@100	
最小コンクリート強度	★24N/mm ²	
回転剛性	932,000kN・m/rad※ ³	

※1：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※2：主筋に記載の本数－径の中から選択できます。

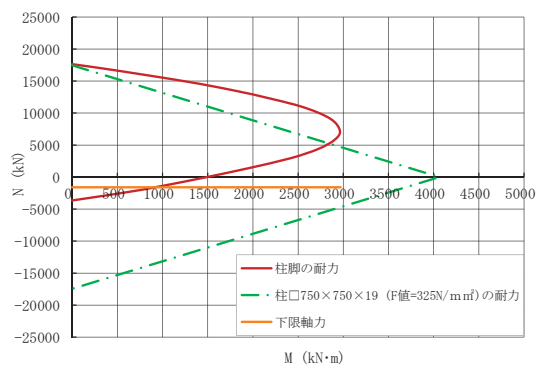
※3：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-1,595	BOPせん断耐力	619
------	--------	----------	-----

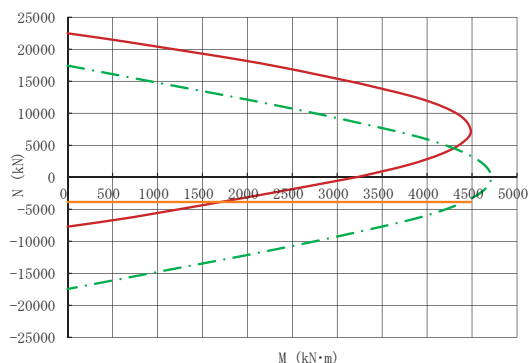


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

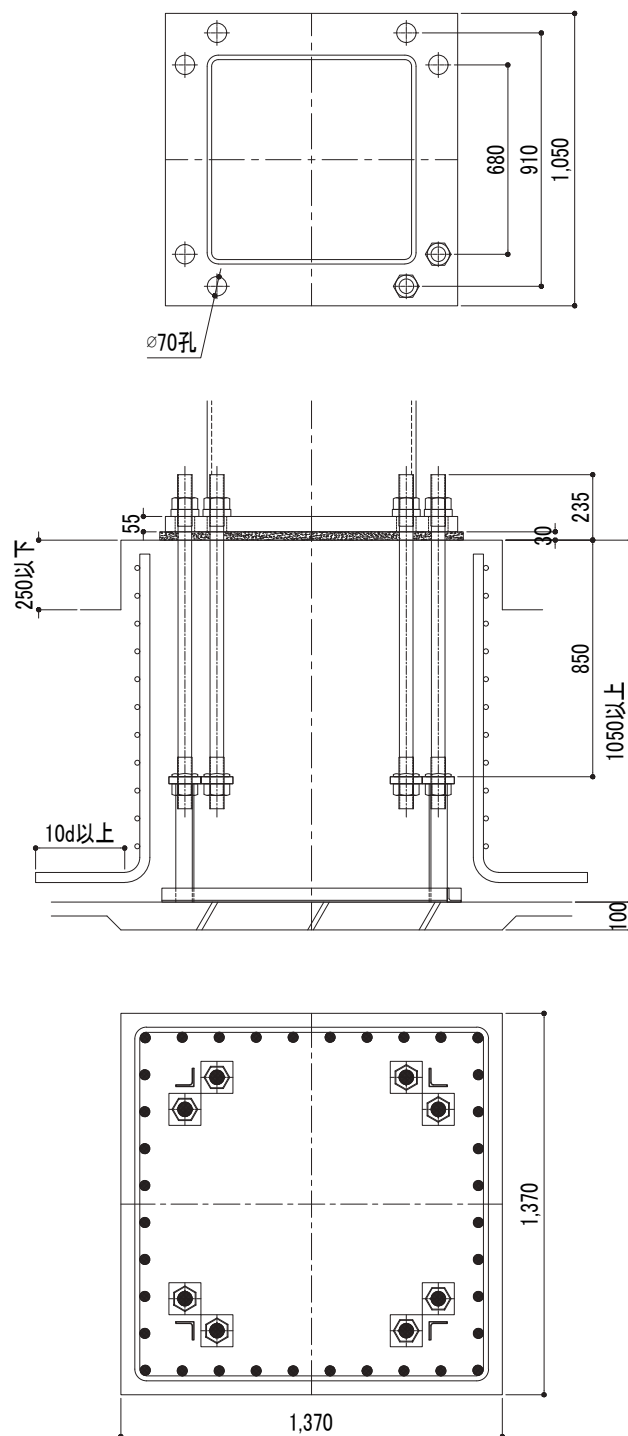
(単位:kN)

下限軸力	-3,856	BOPせん断耐力	825
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、36-D32の場合を示す。

注意事項

- 杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- 下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- 柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 750		
適用鋼管	F値=235	22≦t≦40	
	F値=275	19≦t≦40	
	F値=295	*	
	F値=325	16≦t≦40	
アンカーボルト	8-M64		
ベースプレート	1100×1100×65		
柱形断面	1530×1530 (1940×1940)※ ¹		
主 筋※ ²	64-D25	52-D29	40-D32
帯 筋	D16@100		
最小コンクリート強度	★24N/mm ²		
回転剛性	1,000,000kN・m/rad※ ³		

※¹：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※²：主筋に記載の本数一径の中から選択できます。

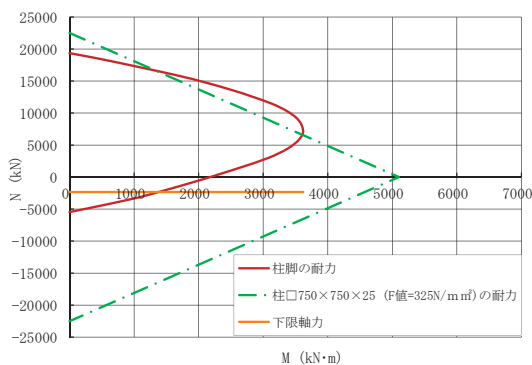
※³：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-2,337	BOPせん断耐力	619
------	--------	----------	-----

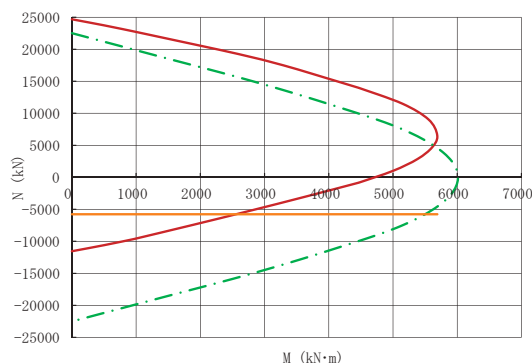


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

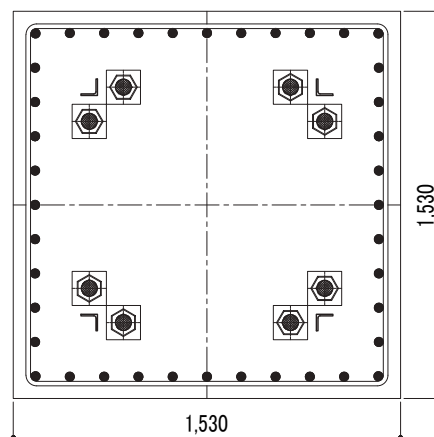
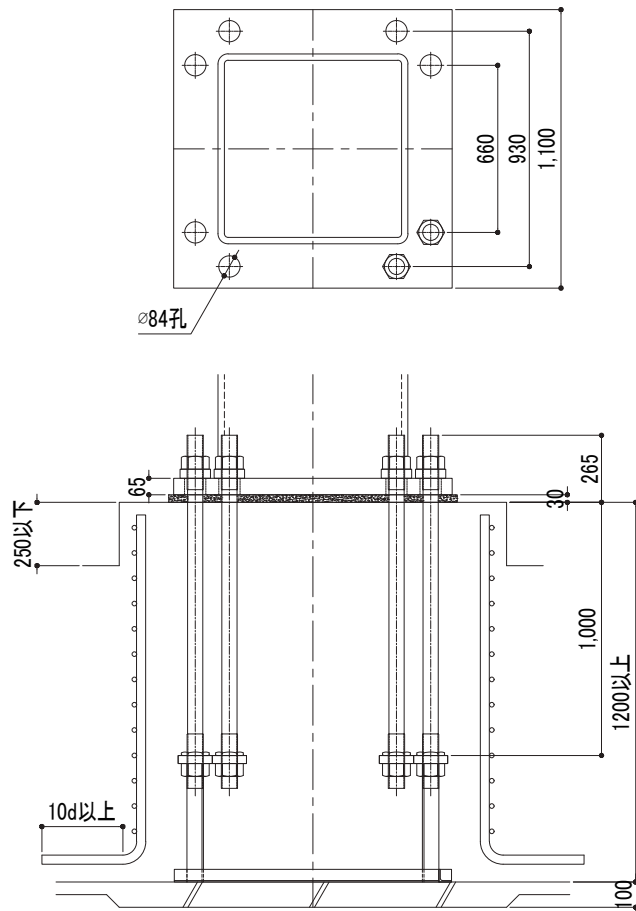
(単位:kN)

下限軸力	-5,773	BOPせん断耐力	825
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、40-D32の場合を示す。

注意事項

- 杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- 下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- 柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工用の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 750		
適用鋼管	F値=235	28≦t≦40	
	F値=275	22≦t≦40	
	F値=295	*	
	F値=325	22≦t≦40	
アンカーボルト	8-M72		
ベースプレート	1140×1140×70		
柱形断面	1650×1650 (1940×1940)※ ¹		
主 筋※ ²	68-D25	56-D29	44-D32
帯 筋	D16@100		
最小コンクリート強度	★24N/mm ²		
回転剛性	1,178,000kN・m/rad※ ³		

※¹：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※²：主筋に記載の本数－径の中から選択できます。

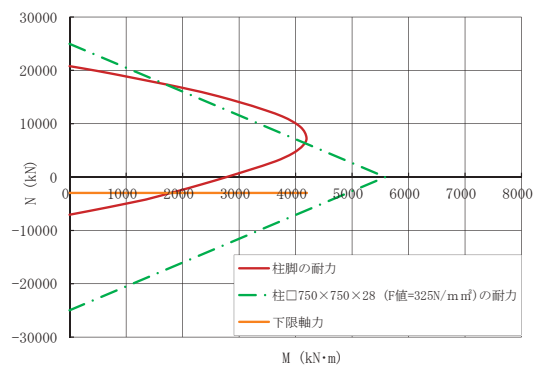
※³：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-2,972	BOPせん断耐力	619
------	--------	----------	-----

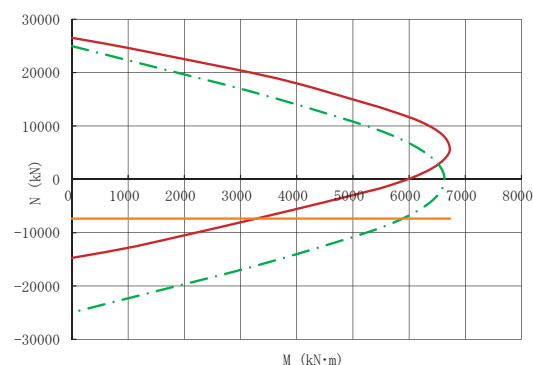


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

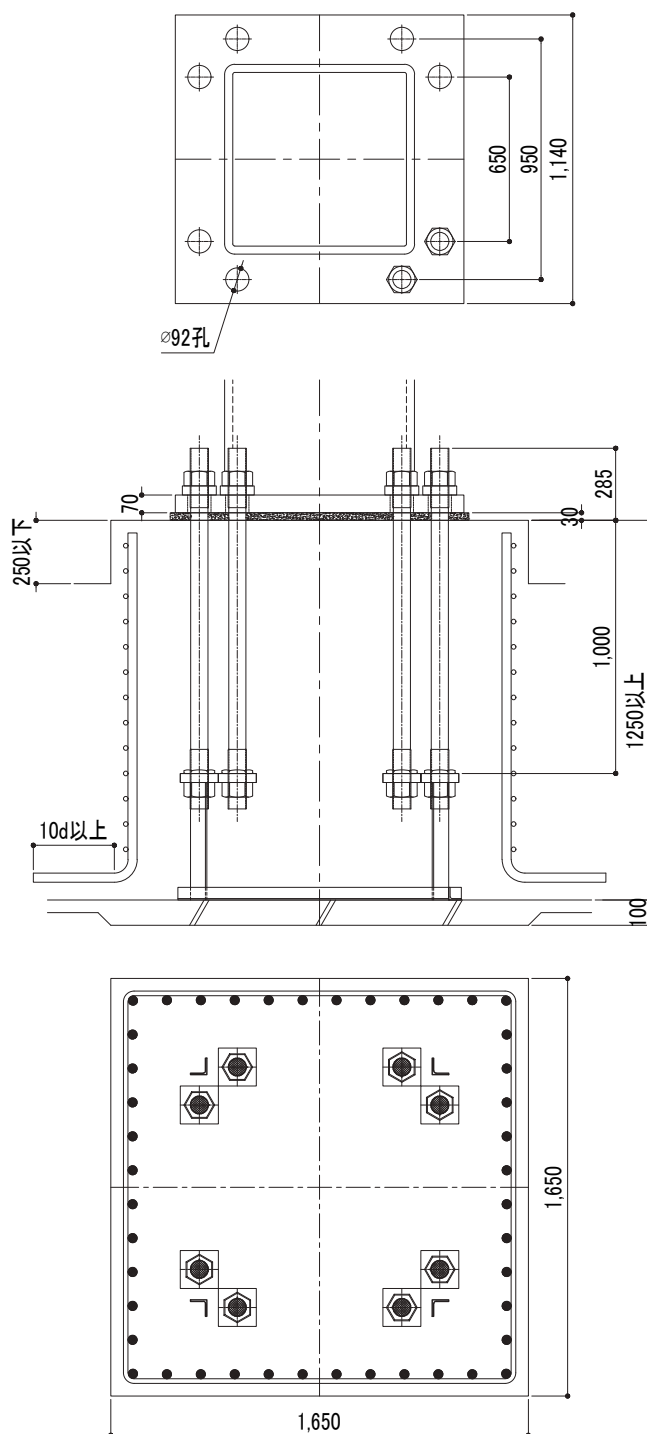
(単位:kN)

下限軸力	-7,364	BOPせん断耐力	825
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、44-D32の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 750	
適用鋼管	F値=235	28≤t≤40
	F値=275	22≤t≤40
	F値=295	*
	F値=325	22≤t≤40
アンカーボルト	8-M68	
ベースプレート	1220×1220×85	
柱形断面	1720×1720 (1940×1940)※ ¹	
主 筋※ ²	60-D29	48-D32
帯 筋	D16@100	
最小コンクリート強度	★24N/mm ²	
回転剛性	1,326,000kN・m/rad※ ³	

※¹：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※²：主筋に記載の本数一径の中から選択できます。

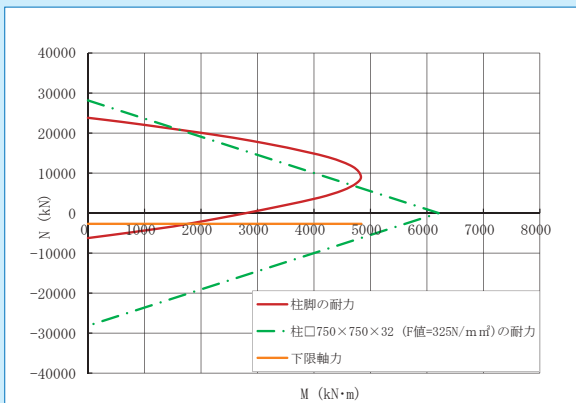
※³：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-2,689	BOPせん断耐力	619
------	--------	----------	-----

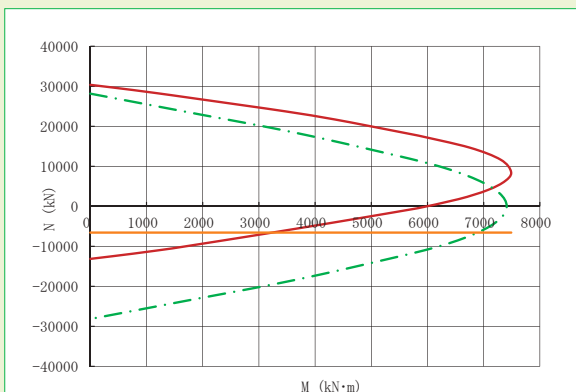


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

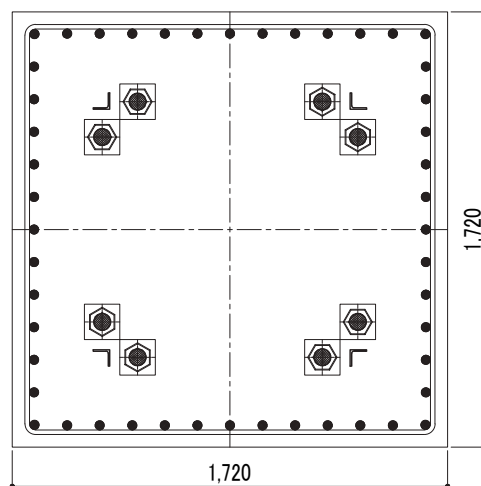
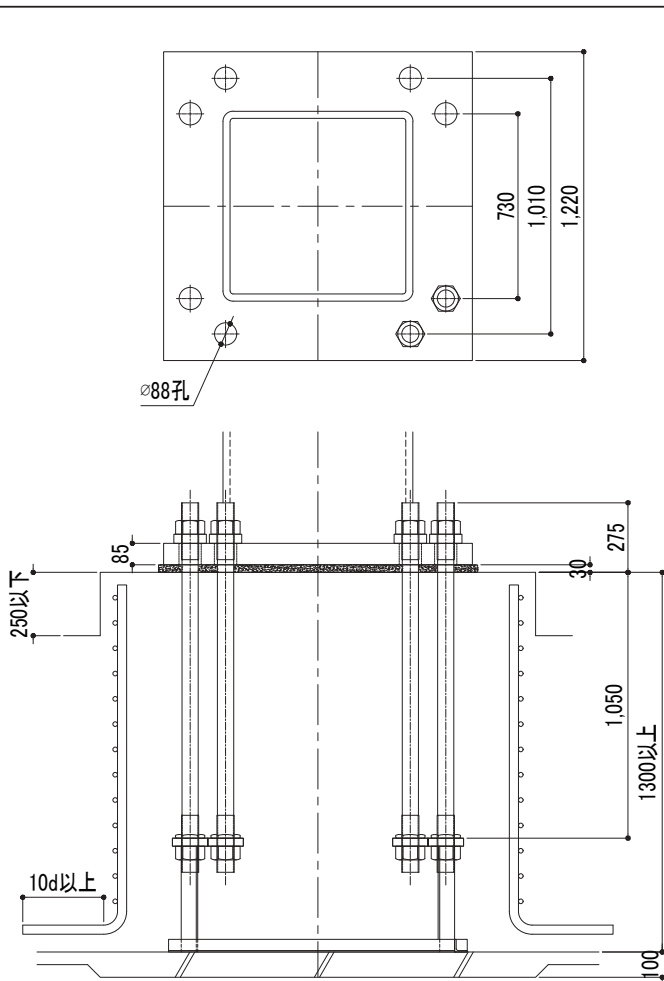
(単位:kN)

下限軸力	-6,569	BOPせん断耐力	825
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、48-D32の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 750	
適用鋼管	F値=235	36≤t≤40
	F値=275	28≤t≤40
	F値=295	*
	F値=325	28≤t≤40
アンカーボルト	8-M76	
ベースプレート	1250×1250×100	
柱形断面	1820×1820 (1940×1940)※ ¹	
主 筋※ ²	64-D29	52-D32
帯 筋	D16@100	
最小コンクリート強度	★24N/mm ²	
回転剛性	1,443,000kN・m/rad※ ³	

※¹：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※²：主筋に記載の本数－径の中から選択できます。

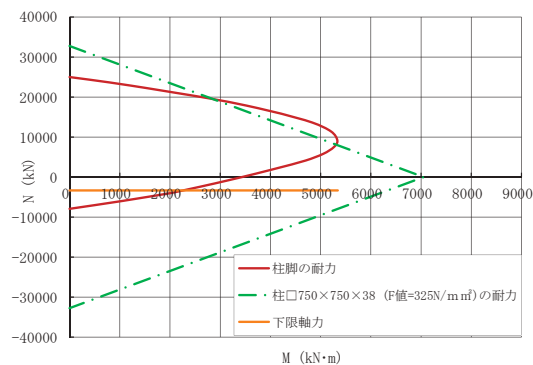
※³：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-3,340	BOPせん断耐力	619
------	--------	----------	-----

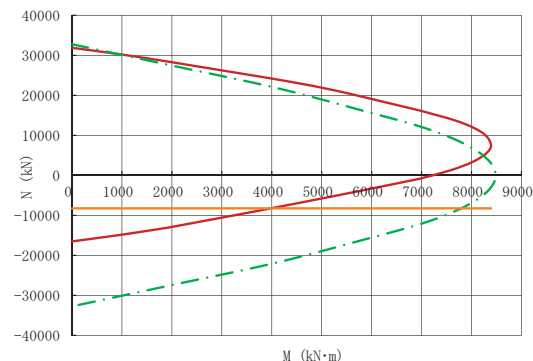


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

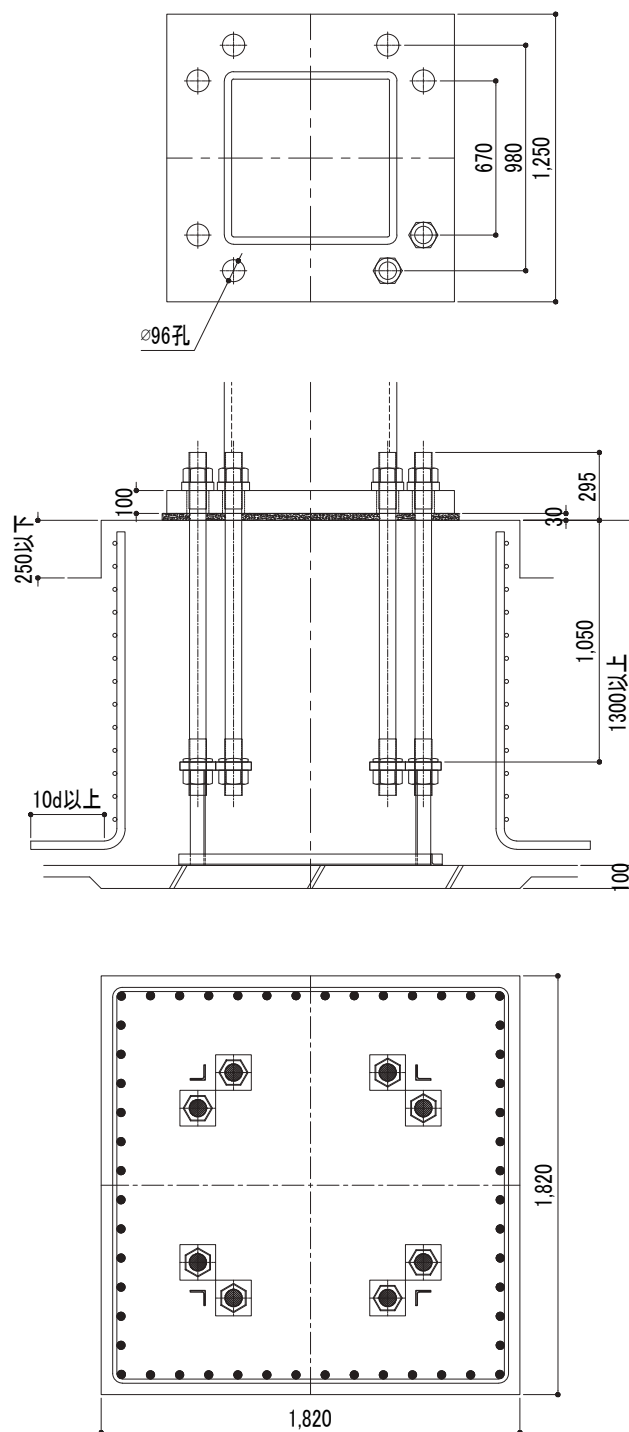
(単位:kN)

下限軸力	-8,262	BOPせん断耐力	825
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、52-D32の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工用の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 800	
適用鋼管	F値=235	16≤t≤40
	F値=275	16≤t≤40
	F値=295	*
	F値=325	16≤t≤40
アンカーボルト	8-M56	
ベースプレート	1120×1120×60	
柱形断面	1470×1470 (1820×1820)※ ¹	
主筋※ ²	52-D29	40-D32
帯筋	D16@100	
最小コンクリート強度	★24N/mm ²	
回転剛性	1,108,000kN・m/rad※ ³	

※¹：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※²：主筋に記載の本数一径の中から選択できます。

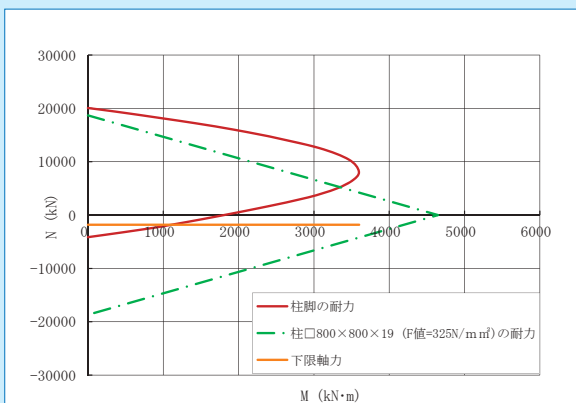
※³：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-1,814	BOPせん断耐力	619
------	--------	----------	-----

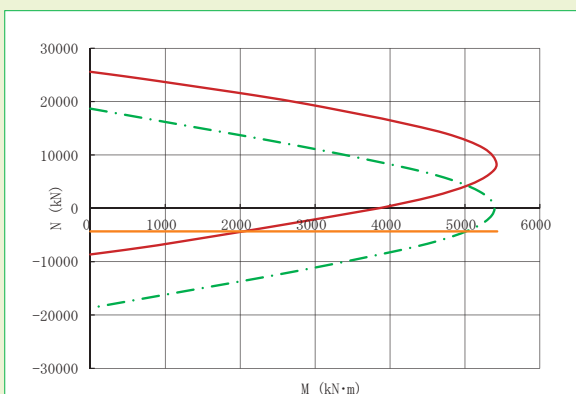


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

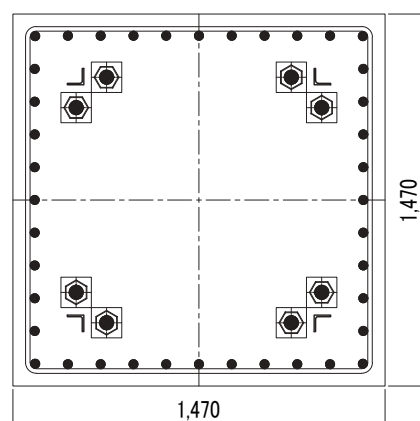
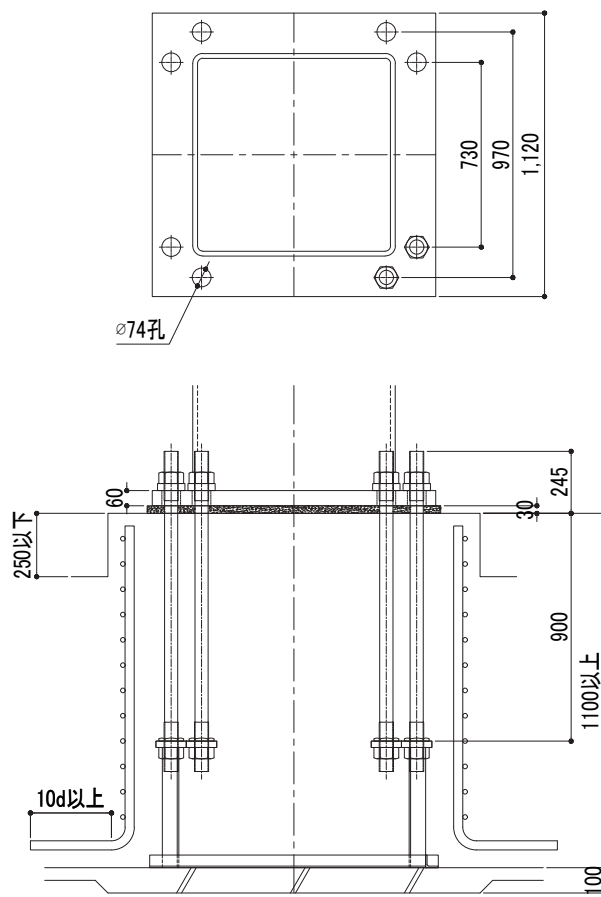
(単位:kN)

下限軸力	-4,325	BOPせん断耐力	825
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、40-D32の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 800		
適用鋼管	F値=235	22≦t≦40	
	F値=275	19≦t≦40	
	F値=295	*	
	F値=325	19≦t≦40	
アンカーボルト	8-M68		
ベースプレート	1170×1170×70		
柱形断面	1680×1680 (1940×1940)※ ¹		
主 筋※ ²	68-D25	56-D29	44-D32
帯 筋	D16@100		
最小コンクリート強度	★24N/mm ²		
回転剛性	1,218,000kN・m/rad※ ³		

※1：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※2：主筋に記載の本数－径の中から選択できます。

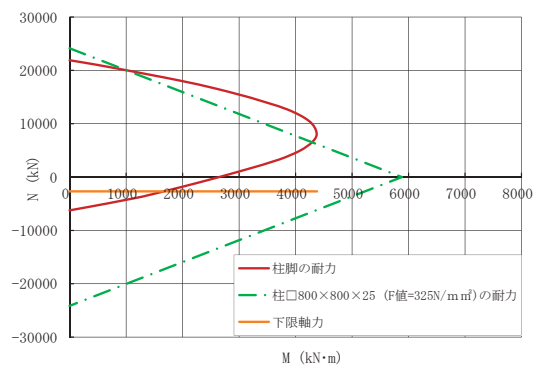
※3：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-2,680	BOPせん断耐力	619
------	--------	----------	-----

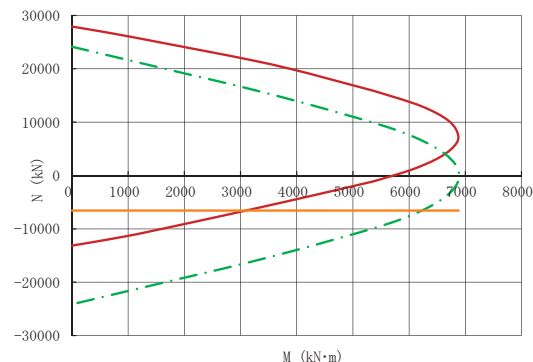


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

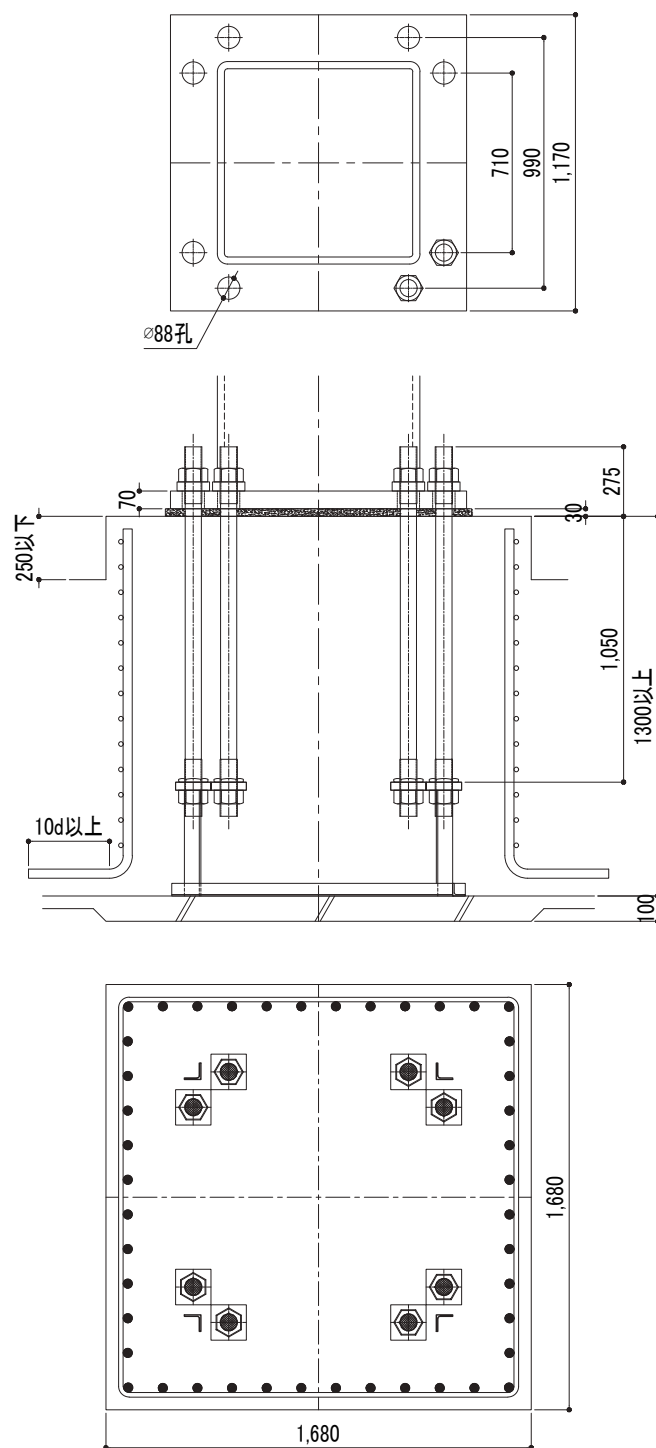
(単位:kN)

下限軸力	-6,569	BOPせん断耐力	825
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、44-D32の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 800		
適用鋼管	F値=235	28≦t≦40	
	F値=275	25≦t≦40	
	F値=295	*	
	F値=325	22≦t≦40	
アンカーボルト	8-M76		
ベースプレート	1200×1200×75		
柱形断面	1790×1790 (2130×2130)※ ¹		
主 筋※ ²	72-D25	60-D29	48-D32
帯 筋	D16@75		
最小コンクリート強度	★24N/mm ²		
回転剛性	1,386,000kN・m/rad※ ³		

※¹：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※²：主筋に記載の本数一径の中から選択できます。

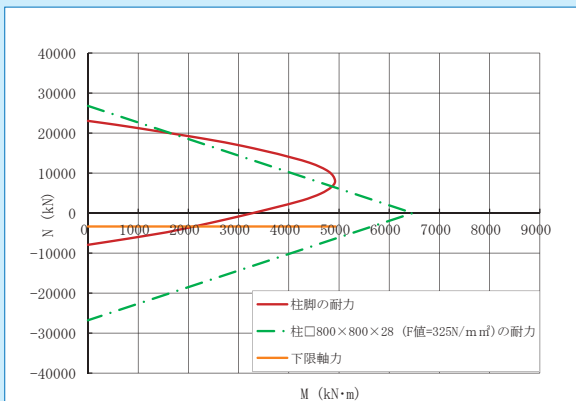
※³：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-3,353	BOPせん断耐力	619
------	--------	----------	-----



※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

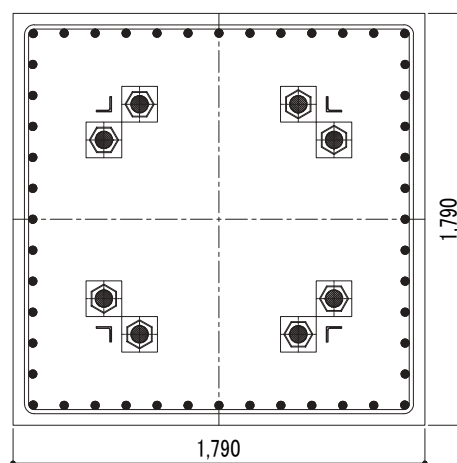
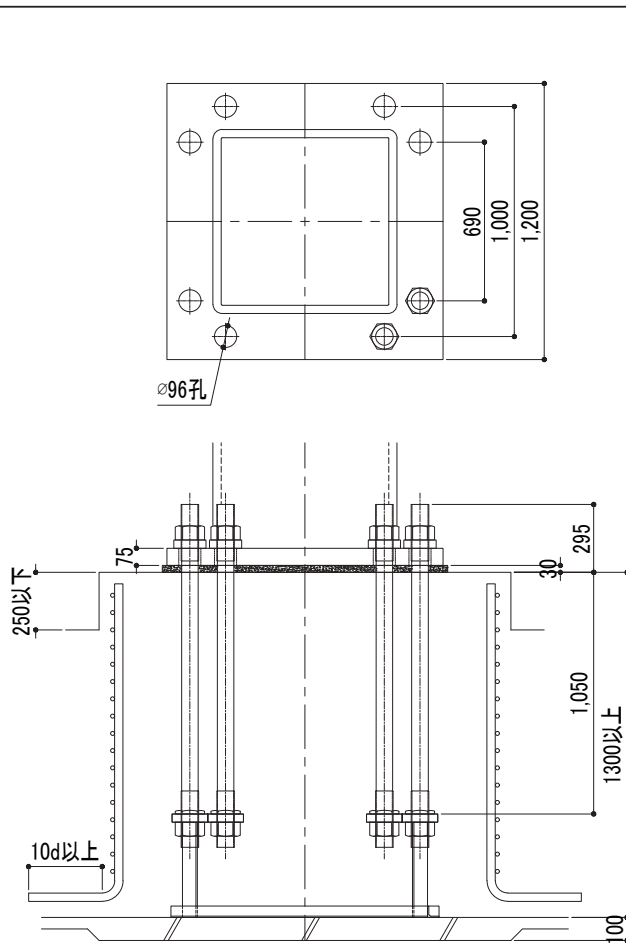
(単位:kN)

下限軸力	-8,262	BOPせん断耐力	825
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、48-D32の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工の貫通孔を加工した柱脚です。

鋼管サイズ	□ 800	
適用鋼管	F値=235	28≤t≤40
	F値=275	22≤t≤40
	F値=295	*
	F値=325	22≤t≤40
アンカーボルト	8-M72	
ベースプレート	1270×1270×85	
柱形断面	1840×1840 (1950×1950)※ ¹	
主 筋※ ²	64-D29	52-D32
帯 筋	D16@75	
最小コンクリート強度	★24N/mm ²	
回転剛性	1,638,000kN・m/rad※ ³	

※¹：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※²：主筋に記載の本数－径の中から選択できます。

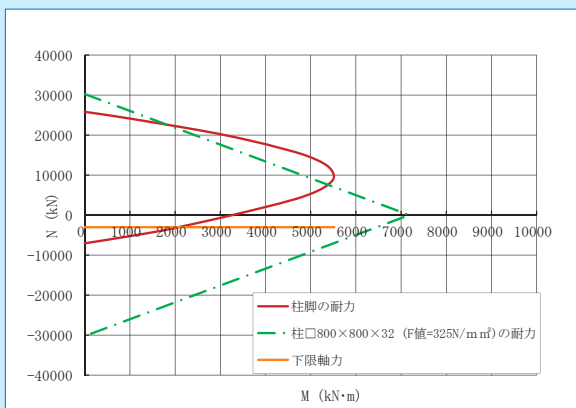
※³：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図

短期許容耐力時

(単位:kN)

下限軸力	-3,030	BOPせん断耐力	619
------	--------	----------	-----

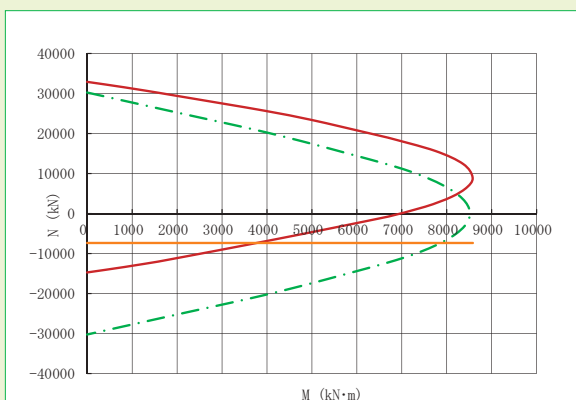


※曲げ耐力図内の柱材の耐力は、柱脚の耐力に近いものとしています。

終局耐力時

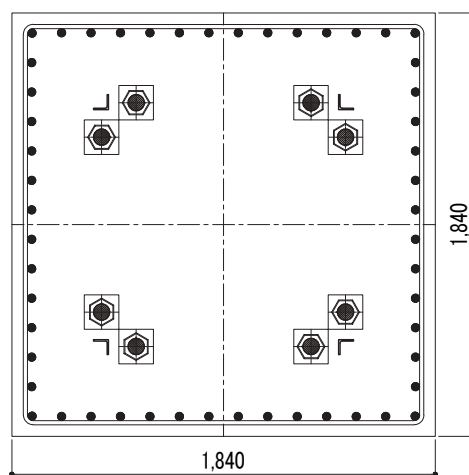
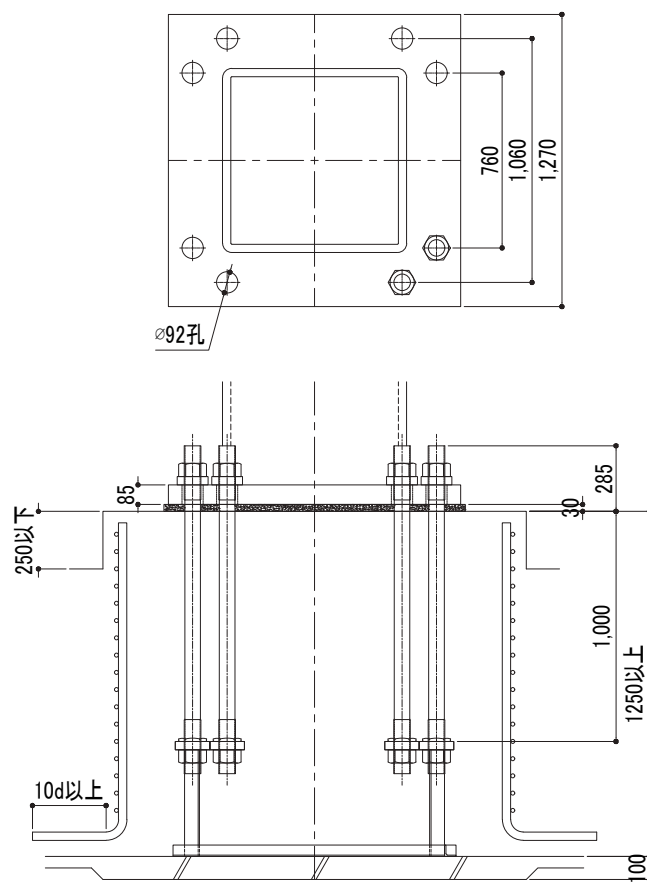
(単位:kN)

下限軸力	-7,364	BOPせん断耐力	825
------	--------	----------	-----



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、52-D32の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。



※Gシリーズはベースプレートにめっき施工用の貫通孔を加工した柱脚です。

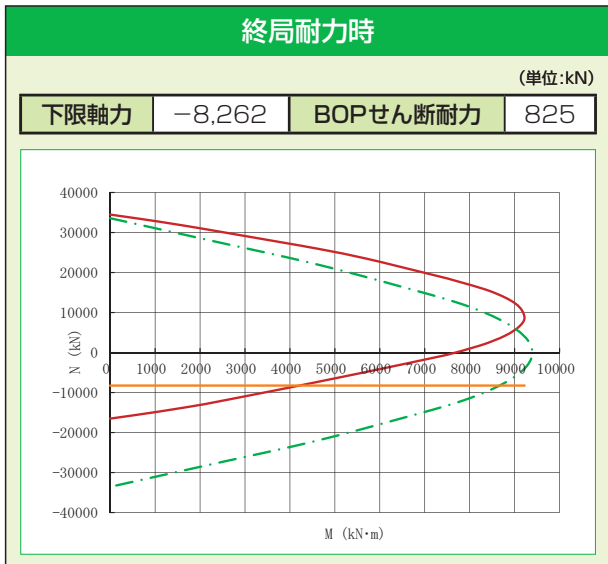
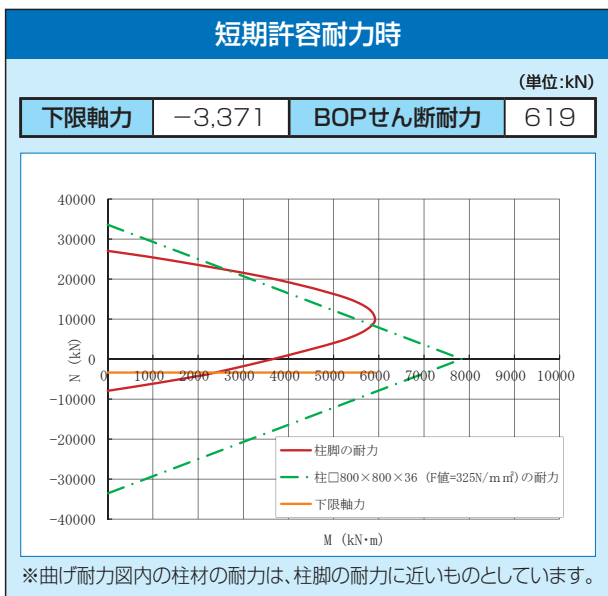
鋼管サイズ	□ 800	
適用鋼管	F値=235	32≤t≤40
	F値=275	25≤t≤40
	F値=295	*
	F値=325	25≤t≤40
アンカーボルト	8-M76	
ベースプレート	1300×1300×100	
柱形断面	1900×1900 (2270×2270)※ ¹	
主 筋※ ²	68-D29	56-D32
帯 筋	D16@75	
最小コンクリート強度	★24N/mm ²	
回転剛性	1,656,000kN・m/rad※ ³	

※¹：柱形断面の()内寸法は、最大寸法を示します。

※²：主筋に記載の本数一径の中から選択できます。

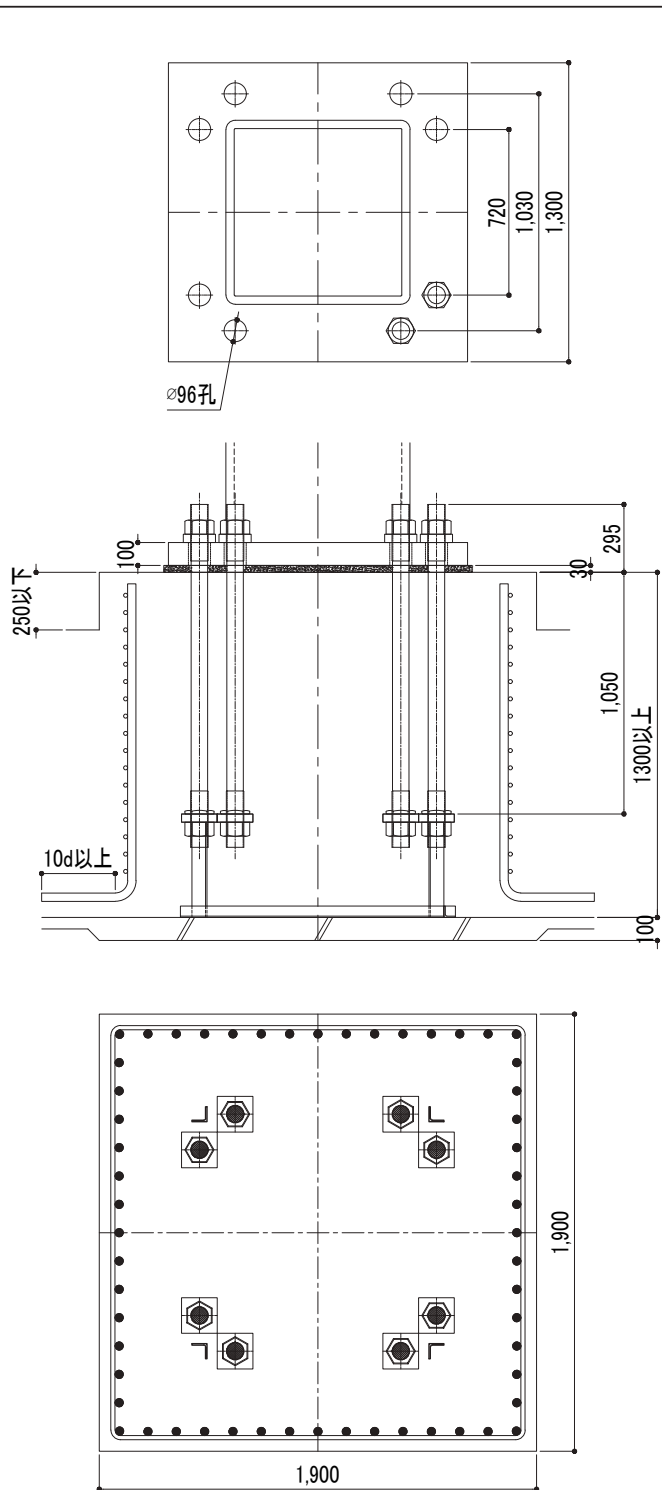
※³：Gシリーズの回転剛性は、P82のGシリーズ回転剛性一覧表を参照してください。

曲げ耐力図



標準形状

(単位:mm)



※ 柱主筋は、56-D32の場合を示す。

注意事項

- ・杭基礎の場合の基礎高さは、最低高さに杭出寸法を加算して下さい。
- ・下限軸力、BOPせん断耐力の運用については、設計ハンドブックを参照して下さい。
- ・柱脚運用に際して、その他の注意事項については、P2を参照して下さい。

SH-HGシリーズ 回転剛性一覧表

溶融亜鉛めっき対応品 [ベースプレートにめっき施工用の貫通孔を加工した柱脚]

非保有耐力接合タイプ

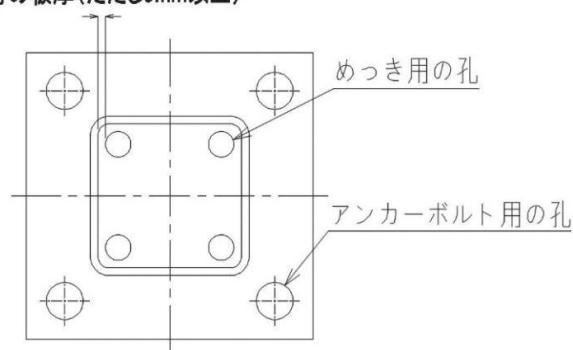
柱脚記号	回転剛性 kN・m/rad	柱脚記号	回転剛性 kN・m/rad	柱脚記号	回転剛性 kN・m/rad	柱脚記号	回転剛性 kN・m/rad
SH151HG	9,000	SH401HG	82,000	SH601HG	392,000	SH801HG	997,000
SH171HG	12,000	SH402HG	117,000	SH602HG	475,000	SH802HG	1,096,000
SH172HG	13,000	SH403HG	121,000	SH603HG	567,000	SH803HG	1,247,000
SH201HG	16,000	SH404HG	130,000	SH604HG	612,000	SH804HG	1,474,000
SH202HG	18,000	SH405HG	161,000	SH605HG	787,000	SH805HG	1,490,000
SH203HG	21,000	SH406HG	258,000	SH606HG	727,000		
SH204HG	24,000	SH451HG	112,000	SH651HG	551,000		
SH251HG	27,000	SH452HG	157,000	SH652HG	596,000		
SH252HG	29,000	SH453HG	160,000	SH653HG	700,000		
SH253HG	32,000	SH454HG	171,000	SH654HG	734,000		
SH254HG	40,000	SH455HG	208,000	SH655HG	881,000		
SH255HG	46,000	SH456HG	254,000	SH656HG	880,000		
SH301HG	37,000	SH501HG	211,000	SH701HG	663,000		
SH302HG	46,000	SH502HG	222,000	SH702HG	696,000		
SH303HG	56,000	SH503HG	285,000	SH703HG	814,000		
SH304HG	56,000	SH504HG	342,000	SH704HG	870,000		
SH305HG	80,000	SH505HG	465,000	SH705HG	1,085,000		
SH351HG	56,000	SH506HG	428,000	SH706HG	1,057,000		
SH352HG	85,000	SH551HG	284,000	SH751HG	839,000		
SH353HG	89,000	SH552HG	332,000	SH752HG	900,000		
SH354HG	110,000	SH553HG	384,000	SH753HG	1,060,000		
SH355HG	136,000	SH554HG	473,000	SH754HG	1,194,000		
SH356HG	134,000	SH555HG	559,000	SH755HG	1,299,000		
		SH556HG	527,000				

- 角形鋼管用柱脚のベースプレートにめっき施工用貫通孔をあける事で、ベースプレートと柱材を接合した状態でめっき施工が可能です。
- 上記一覧表の通り、ベースプレートにめっき施工用貫通孔を加工した場合、標準型式のSH-H（ベースプレートにめっき施工用貫通孔無し）の回転剛性に比べ10%剛性が低下します。
- 孔加工を追加した柱脚の型式は、標準型式の末尾にGがついたものとなります。（例：SH301HG）
孔加工を追加した柱脚（Gタイプ）の仕様は、回転剛性を除き全て標準型式の仕様と同じです。
（寸法、柱形の仕様、曲げ耐力、せん断耐力などの仕様は、全て標準型式と同じです。）

SH-HG シリーズ めっき施工用貫通孔の位置と孔径一覧表

柱サイズ	めっき用の 孔径 (mm)	柱サイズ	めっき用の 孔径 (mm)
□ 150	25	□ 500	80
□ 175	30	□ 550	90
□ 200	35	□ 600	100
□ 250	40	□ 650	105
□ 300	45	□ 700	115
□ 350	55	□ 750	125
□ 400	65	□ 800	135
□ 450	70		

柱材の板厚(ただし9mm以上)



●めっき施工用貫通孔の位置と孔径

めっき施工用貫通孔の位置は角形鋼管柱の四隅の4か所とし、柱材内面と孔の端部は柱材板厚の隙間をあけます。ただし、隙間は9mm以上とします。

※めっき後のベースプレート裏面の摩擦係数(0.4以上)を確保するため、ベースプレート裏面はリン酸処理またはブラスト処理等を行うようにしてください。



アイエスケー株式会社

本社 (ISベース事業部)

〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-4-11
金鳥土佐堀ビル2F
TEL.06-6449-0881 FAX.06-6449-0877

東京支店 (ISベース事業部)

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1丁目3番6号
AIC共同ビル人形町 301号
TEL.03-6661-6925 FAX.03-6661-6926

URL <https://www.isbase.jp>
E-mail info@isbase.jp

中島工場

〒555-0041 大阪市西淀川区中島2-4-140
TEL.06-6475-0163 FAX.06-6475-0190

泉佐野工場

〒598-0071 泉佐野市鶴原3-12-52
TEL.072-462-6571 FAX.072-462-6572

渋川工場

〒377-0061 群馬県渋川市北橘町下箱田626-18
TEL.027-289-8225 FAX.027-289-8227